

令和7年度第2回川崎市地域自立支援協議会全体会議 次 第

日 時：令和8年2月26日（木）9時00分～11時30分
開催方法：対面
会 場：川崎市役所本庁舎 復元棟 201 会議室

開会

委員・事務局紹介

議事

【協議事項】

- 1 区協議会の取組状況について
- 2 市協議会の取組状況及び川崎市地域課題整理表について

【報告事項】

- 1 第6次ノーマライゼーションプラン策定について

その他

【配布資料】

委員名簿・事務局名簿

座席表

資料1-1 区協議会の取組状況

資料1-2 区協議会の取組状況に係る参考資料

資料2-1 市協議会の取組状況

資料2-2 川崎市地域課題整理表

資料3 第6次ノーマライゼーションプラン策定について

参考資料

川崎市地域自立支援協議会の体制

川崎市地域自立支援協議会設置要綱

川崎市地域自立支援協議会全体会議 委員名簿
(任期：令和7年5月1日～令和9年4月30日 2年間)

	所 属	氏 名	出 欠
1	社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 川崎市あんしんセンター 成年後見支援センター	雨宮 徹	出席
2	北部リハビリテーションセンター 館長	浦 雄司	出席
3	社会福祉法人 川崎聖風福祉会 たじま家庭支援センター センター長	江良 泰成	出席
4	木下・大石法律事務所	大石 剛一郎	出席
5	社会福祉法人アピエ 地域生活支援センターオリオン	大窪 俊雄	出席
6	川崎市育成会手をむすぶ親の会 会長	加藤 敦子	出席
7	夢見ヶ崎地域包括支援センター センター長	川田 歩	出席
8	特定非営利活動法人川崎市障害福祉施設事業協会生活介護分科会 (社会福祉法人ともかわさき生活介護事業所ひらま管理者)	高嶋 直美	出席
9	神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部社会福祉学科 教授	行實 志都子	出席
10	日本相談支援専門員協会 事務局長	吉田 展章	出席

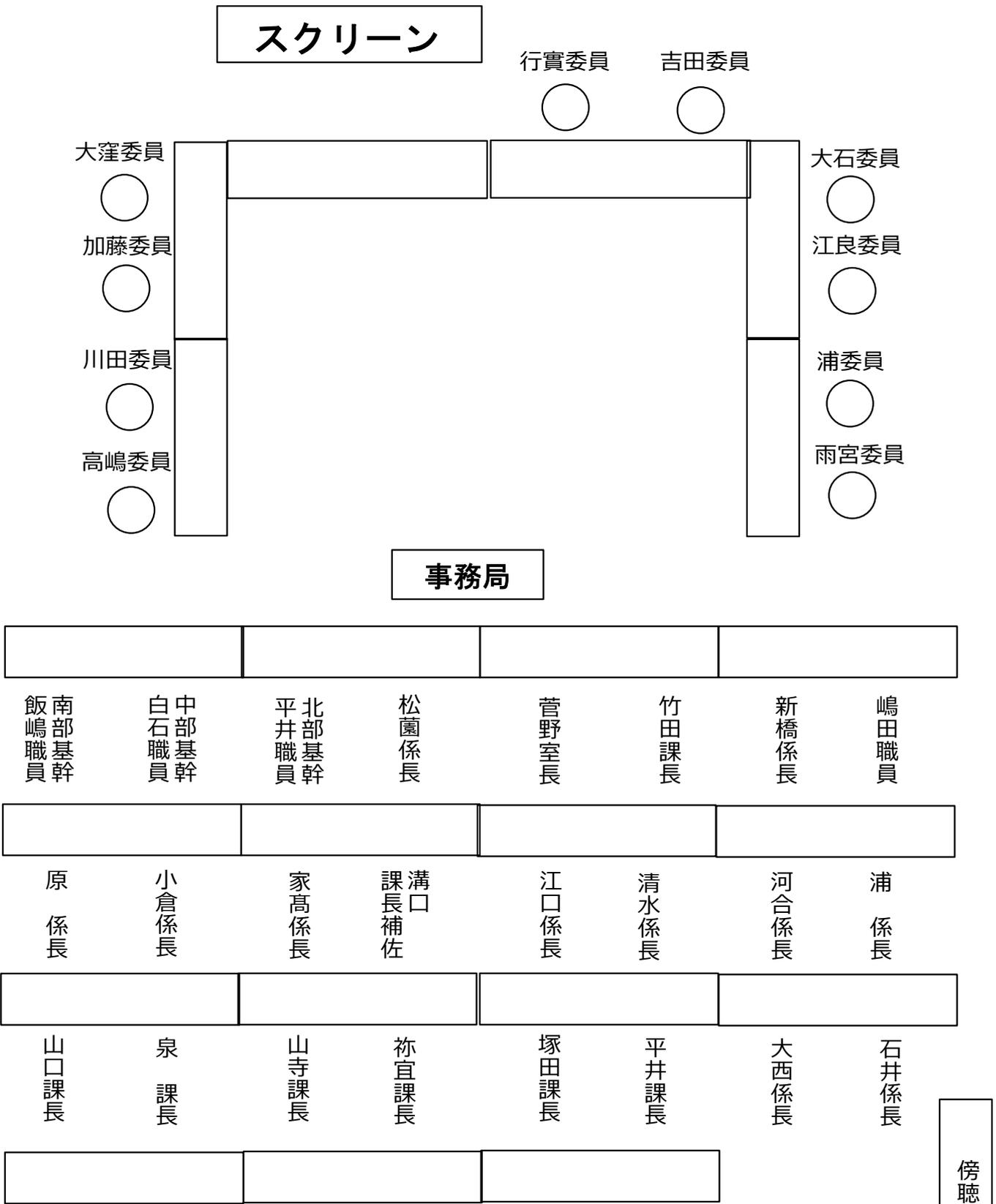
(50音順、敬称略)

【事務局】

所属	氏名	市地域自立支援協議会 (企画運営会議)	庁内関係部署
川崎市役所高齢・障害課 精神保健係 係長	原 和広	○	○
幸区役所高齢・障害課 障害者支援係 係長	小倉 紀子	○	○
中原区役所高齢・障害課 障害者支援係 係長	高橋 直樹	○	○
中原区役所高齢・障害課 精神保健係 係長	家高 克行	○	○
高津区役所高齢・障害課 精神保健係 課長補佐	溝口 昌子	○	○
宮前区役所高齢・障害課 精神保健係 係長	江口 健太郎	○	○
多摩区役所高齢・障害課 精神保健係 係長	清水 寛之	○	○
麻生区役所高齢・障害課 障害者支援係 係長	河合 顕宏	○	○
健康福祉局総合リハビリテーション推進センター企画・連携推進課 障害者支援 担当係長	浦 雅紀	○	○
健康福祉局総合リハビリテーション推進センター中部地域支援室相談判定 担当係長	松菌 康平	○	○
川崎市南部基幹相談支援センター	飯嶋 礼子	○	
川崎市中部基幹相談支援センター	白石 大樹	○	
川崎市北部基幹相談支援センター	平井 祐樹	○	
健康福祉局障害保健福祉部障害計画課 課長	平井 恭順		○
健康福祉局障害保健福祉部障害者施設指導課 課長	山口 晴生		○
健康福祉局障害保健福祉部障害福祉課 課長	泉 基広		○
健康福祉局障害保健福祉部精神保健課 課長	山寺 啓一		○
健康福祉局障害保健福祉部障害者社会参加・就労支援課 課長	祢宜 正太郎		○
健康福祉局総合リハビリテーション推進センター企画・連携推進課 課長	塚田 和広		○
健康福祉局障害保健福祉部障害計画課計画推進担当 担当係長	石井 孝典		○
健康福祉局障害保健福祉部障害計画課地域支援担当 担当係長	大西 祐輔		○
健康福祉局地域包括ケア推進室 室長	菅野 智宏		○
健康福祉局地域包括ケア推進室専門支援担当 担当課長	竹田 幹雄		○
健康福祉局地域包括ケア推進室障害者相談支援担当 係長	新橋 さち子	○	○
健康福祉局地域包括ケア推進室障害者相談支援担当 主任	嶋田 真帆	○	○

令和7年度第2回川崎市地域自立支援協議会全体会議
座席表

(本庁舎201会議室)



※事務局・関係者席（座席指定なし）

出入口

川崎区活動報告	
課題	<p>【ワーキング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に障害者の生活が十分に知られていない、伝わっていない。地域で暮らす方々にお互いの存在を理解してもらい、障害者がより暮らしやすい地域をつくる。 <p>【定例会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区内の関係者と地域課題の共有及び相互の連携強化等を図る。 <p>【事業所連絡会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区内の相談支援事業所の連携強化及び人材育成を図る。
取組	<p>【ワーキング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域で暮らす区民がお互いを知るワーキング」（令和7年6月から令和8年12月まで設置し、令和7年は準備期間とする） <p>【定例会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月開催「障がいをおもちの方や家族が地域で暮らしやすくするために～地域生活をどのように支えられるか～」(GW) 39名参加 <p>【事業所連絡会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月開催『高次脳機能障害の方への支援について』（講義・ディスカッション） 18名参加 ・10月開催『事例をもとにした相談支援に関する意見交換・情報共有』（GW） 16名参加
成果、評価	<p>【ワーキング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年は準備期間と位置づけ、当事者の作品（ポスター）作成に向けて、委員選定、スケジュール調整、印刷業者選定等を進めた。 ・身体障害・知的障害・精神障害者を対象とする各事業所から委員を選出し、当事者が参画した取り組みについて検討を進めた。 <p>【定例会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い分野から多数の参加があり、移行期の話題が出る等意見交換も活発で地域の関係機関の連携が強化された。 ・取り上げている地域課題に関連するテーマで議論できたほか、当事者参加があり、多様な視点での議論ができた。 ・ライフステージの変化や分野をまたぐ等の移行期の連携については共通した課題として認識されたため、更に議論を深めることが期待できる。 <p>【事業所連絡会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区内事業所に限定し顔の見える関係性があることから自然に支えあう場になっている。 ・10月開催の意見交換で児童期の支援について情報の少ない事業所が多く、ライフステージの変化や分野をまたぐ時のつながりに課題があることが分かった。
令和8年に向けて	<p>【ワーキング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当事者や委員と協議・検討を行いながら当事者の作品（ポスター）を作成し、障害者週間を中心に多くの区民の目に触れる場に掲示を行う等啓発活動を進める。 <p>【定例会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会のテーマを「ライフステージの変化や分野をまたぐ移行期の連携」に設定し、継続的に議論を深めながら地域でできることを検討する。 ・参加機関同士の交流する時間を十分に確保するほか、参加機関が双方向に発信できる場にする等、連携をさらに強化していく。 <p>【事業所連絡会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じたテーマとして「ライフステージ」を取り上げ、各時期に合わせた話題提供や意見交換を企画する。 ・1～3月に各事業所を訪問し、事業所の現状と相談支援事業所連絡会に期待すること等のヒアリングを実施し、取組につなげる。

幸区活動報告

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・車いす利用者が利用することのできる障害福祉サービス事業所の情報を得づらい（情報が集約されていない）→【ワーキング】 ・事業所同士の横のつながりの希薄 ・協議会活動の周知（当事者や関係機関に知られていない） ・地域課題の抽出、精査方法の共通理解
取組	<p>【定例会】 「事業所の横のつながり」（講義+GW）</p> <p>【事業所連絡会】 「今年度の活動について」（意見聴取） 「加算について」（GW） 「課題意識の低い方への支援」（事例検討） 「ちょっと聞きたい、相談したいこと」（GW）</p> <p>【ワーキング】 「バリアフリーワーキング」</p>
成果、評価	<p>【定例会・事業所連絡会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会には、協議会について知らない人や初参加者が多数。協議会活動の発信方法についてはさらなる検討が必要。 ・普段関わりのない職種と話せる機会がほしいとの意見もあり、分野を超えた多職種・多機関との連携を意識する必要がある。 ・地域課題スクリーニングについて、令和6年度に作成しているものを再度洗い出し、企画運営会議の中で複数回に分けて全構成員で検討。地域課題の精査方法について、他区が作成した課題整理シートを参考にしつつ、共通理解を図った。新たに課題整理グループをつくり、令和7年の地域課題について精査を実施した。 ・事業所連絡会では事例検討会やケース支援に関する意見交換を中心に開催した。事例検討会は特に参加者が多く関心の高さがうかがえた。 <p>【ワーキング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区内の通所事業所について、車いす利用者の受け入れ状況や環境整備状況等の情報を収集するため、聞き取りやアンケート調査を実施し、定例会ではGWで実情について意見聴取した。 それらで得た事業所情報を幸区のホームページに掲載し、当事者自身が情報にアクセスできる環境を整えた。
令和8年に向けて	<p>【定例会・事業所連絡会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会や事業所連絡会を通して事業所同士の「横のつながりの希薄さ」を再認識したため、事業所同士で困りごとを聞き合える支援体制を構築するための取組を行う。 ・分野を超えた多職種・多機関との連携を意識したい。 ・協議会を知らない人への発信方法について検討する。 ・次回事業所連絡会は1月27日（火）に開催。

中原区活動報告

課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和5、6年度の取組みにより、地域のネットワーク強化と支援機関同士の役割を知ることを通して、地域課題に働きかけを行っていく必要が見えた。複数年単位での連続性ある取り組みとする。「知ろう、考えよう、やってみよう」をキーワードに設定し複数年計画とした。 障害児から障害者への移行期およびその後の支援についての課題が見えた。教育分野と障害福祉分野の相互理解の促進を目的に、前年度に引き続き設置した。支援方法、制度、社会資源等について理解を深め合う。 →【ワーキング】（「学校de移行ワーキング」）
取組	<p>【定例会・事業所連絡会】</p> <p>「令和6年度報告および7年度の取組みについて」「意見交換会・交流会」（グループワーク）</p> <p>「障害サービスと介護保険サービスの違いについて」の講義＋グループワーク</p> <p>「地域資源を知る」をテーマとして、井田地域の施設説明・見学会（中央療育センター、桜の風もみの木、桜の丘）</p> <p>「専門機関を知る」をテーマとして、中部リハビリテーションセンター機能の講義・見学会</p> <p>「成年後見制度・区あんしんセンター金銭管理について」の講義＋グループワーク</p> <p>【ワーキング】（～令和8年3月）</p> <p>会議 令和7年12月までに6回開催</p> <p>座談会（委員以外の教員も参加）1回開催 令和7年7月30日「川崎市相談支援体制及び中原支援学校内の相談体制について」の講義＋グループワーク</p>
成果、評価	<p>【定例会・事業所連絡会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 前年度までに挙げた地域の意見をもとに、「知ろう、考えよう、やってみよう」の「知ろう」を今年度は取り組んだ。地域資源、専門機関、制度の活用方法等の理解を深め、支援力向上につながった。 地域の意見から複数年テーマを設定したことで取り組む方向が明確になり、企画・検討がブレることなく実施することができた。 支援者のネットワークを広げるため定例会と相談支援事業所連絡会を合同開催にしたことによって、参加者が集まりやすく、また多機関・多職種が知り合う機会と連携強化につながった。 <p>【ワーキング】</p> <ul style="list-style-type: none"> いわゆる児童期から成人期の移行期支援の課題解決のため、中原支援学校に協力していただき、引き続き取り組んだ。教育分野と障害福祉分野の相互理解の促進と連携の重要性の再確認等につながり、これらにより、移行期の当事者およびご家族の支援の強化につながった。
令和8年に向けて	<p>【定例会・事業所連絡会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数年計画「知ろう、考えよう、やってみよう」の中の「考えよう」をメインに活動を展開していく。 令和8年2月24日に第1回定例会・相談支援事業所連絡会を開催。①令和7年度活動報告、②①から見えてきた地域の困りごとを出席者と共有し、今年度の取組みを一緒に考える機会を設ける。→具体的な今年度の取り組み内容を決める。 指定特定相談支援事業所がより参加しやすい環境を設定することにより、事業所同士のネットワーク構築を支えることができるため、高津区と宮前区と連携して「3区合同による相談支援事業所連絡会」開催を検討する。 相談支援専門員や各種事業所の持つ地域の困りごとが表面化されやすいように、今年度も働きかけを行っていく。 <p>【ワーキング】（～令和8年3月）</p> <ul style="list-style-type: none"> 1月28日 座談会実施 「計画相談支援について」の講義＋グループワーク 2月 会議 会議7回と座談会2回の振返りを行い、課題解決の達成度を確認し、今後の取組みを検討する。

高津区活動報告

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・複合的な生活課題や家族を含めた世帯支援を必要とするケースが多くあり、分野を超えた事業所の連携が必要 → 【高齢分野と障害分野の連携ワーキング】 ・協議会活動の周知（当事者や関係機関に知られていない） → 協議会の委員が地域に足を運ぶ周知活動【定例会】 ・地域の相談員が困りごとを抱え込まないように → 相談員同士のミニお悩み相談会【事業所連絡会】
取組	<p>【定例会】 区役所による高津区役所を知るミニ講座（講義）＋「日々の支援で工夫して上手くいったことの共有」（GW：ワールドカフェ形式）＋高津区情報共有ツール「あんど」紹介</p> <p>【事業所連絡会】 「地域の社会資源情報の意見交換会」（GW）＋「事業所ミニお悩み相談会」（事例検討GW）</p> <p>【高齢分野と障害分野の連携ワーキング】（～令和8年3月） 「高次脳機能障害ミニ講座（高齢期の事例を通して）」＋高齢期の高次脳機能障害者の支援についての意見交換会（GW）</p>
成果、評価	<p>【定例会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会開催前に、協議会の周知活動を兼ねて全構成員が手分けして区内の事業所を直接訪問し、協議会の説明と定例会のチラシを配布した結果、参加者が増加。 ・ワールドカフェ形式のGWを取り入れ2セッション実施したことで、色々な参加者と話すことができたという好評だった。また、高津区役所を知るミニ講座も好評だった。 ・高津区情報共有ツール「メーリングリストあんど」について紹介、広報した結果、登録は微増。事務局側としては、「あんど」の管理運営できる人材を増やすことができた。 <p>【事業所連絡会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設的な意見交換ができるよう、GW時に「題材カード」を作成しGW進行に工夫を取り入れて実施。 ・各事業所の最新情報や地域の最新情報を紹介する時間を設けるなどグループワークが活発になるような工夫も取り入れた。 ・地域の社会資源情報の意見交換会もミニお悩み相談会（事例検討）の両方のGWとも活発だった。 <p>【高齢分野と障害分野の連携ワーキング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果をもとに高齢、障害分野で関心度の高い共通テーマとして、高次脳機能障害をテーマとし事例を通してのミニ講座と、それぞれの分野での専門機関との連携や支援した実際の体験談などについてGW実施。高次脳機能障害の支援、移行期支援での制度の切り替えなどについて活発に意見交換がされた。
令和8年に向けて	<p>【定例会・事業所連絡会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会および事業所連絡会の開催時期や内容について、他区と差別化できるよう、事前に検討が必要。状況に応じて合同開催も検討する。 ・定例会等で、地ケア室をゲストとして呼び、市協議会や他区の取組について説明してもらい、参加者の理解を促進する。 ・「メーリングリストあんど」の登録者数を伸ばせるように、活性化に向けた意見を収集できるよう定例会等で意見交換の場を設ける。 ・次回定例会は1月19日（月）に開催。 ・次回事業所連絡会は、他区合同での開催に向け動いている。まずは、宮前区と高津区との2区合同で2月24日（火）に開催予定。 ・宮前区・高津区の双方で関心の高いテーマでの研修と、区を超えての意見交換や交流ができるGWといった企画を進めている。 <p>【高齢分野と障害分野の連携ワーキング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢分野との連携については何らかの形で継続していくことについて検討が必要。 ・令和8年3月までが設置期間であるため、1月に振り返りを実施し、取組成果を確認する。

宮前区活動報告

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・公営住宅に支援を必要とする障害者がおり、地域で支える必要がある → 【民生委員・児童委員ワーキング】 ・精神科医療機関とGH等の社会資源との円滑な支援の移行 → 【医療連携ワーキング】 ・協議会活動の周知（当事者や関係機関に知られていない） → 【定例会】 【事業所連絡会】 【民生委員・児童委員ワーキング】 【医療連携ワーキング】
取組	<p>【定例会】 第1回「依存症支援って何するの？」（講義+GW） 第2回「防災について考える」（講義+GW）</p> <p>【事業所連絡会】 第1回「相談支援なんでも相談会」（GW） 第2回「宮前区の相談支援体制紹介、活動報告」（講義） 第3回「事例検討会」（GW）</p> <p>【ワーキング】 「民生委員・児童委員連携ワーキング」・偶数月（水）に有馬第二団地ネットワーク会議に出席 ・9月に第1回障がいのことを知る・聞く・話す会を開催 「医療連携ワーキング」・新光会早期地域対応部の活動報告、事例紹介、意見交換 ・東横恵愛病院との地域連携に向けた話し合い</p>
成果、評価	<p>【定例会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・依存症支援について関心のある事業所に多く参加していただき講義やGWで学びを深めることが出来た。 ・防災について阪神淡路大震災の被災当事者からの体験談やGWでシミュレーションを行い参加事業所の防災対策の現状共有や意識を高めることが出来た。 <p>【事業所連絡会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援なんでも相談会ではビギナーからベテランの指定特定の相談員がそれぞれ抱える悩みをグループワークで地域の課題として共有することが出来た。 ・宮前区の相談支援体制紹介、活動報告を行い指定特定の相談員が宮前区の相談支援体制の仕組みを理解し後方支援や連携の促進をはかれるよう取り組んだ。 ・指定特定の相談員が単身高齢療育手帳所持ケースの事例を提供。地域包括支援センターにも出席していただき高齢と障害で親和性の高い事例で支援力の向上をはかった。 <p>【ワーキング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員・児童委員ワーキングでは、「第1回障がいのことを知る・聞く・話す会」を開催。20名の住人が参加。主に精神障害についての講義を行い、ミニGWも実施した。地域住民と顔の見える関係を築き、住民が相談しやすい環境を整え、課題を共有する土台づくりを図ることが出来た。 ・医療連携ワーキングでは、新光会早期地域対応部（生田病院、みのり訪問看護ステーション）の活動や事例を紹介してもらうことで連携のイメージができた。東横恵愛病院を訪問し、地域貢献に向けた考え方や連携に伴うすり合わせを実施。
令和8年に向けて	<p>【定例会・事業所連絡会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他区の定例会や事業所連絡会と開催日が被ってしまったため、同月や同日での開催とならないよう事前に調整したり、状況に応じて共催を検討する。 ・事業所連絡会では、企画の段階から指定特定事業所にも参加してもらい、希望を開催内容に反映させる。 ・高齢への移行期は複雑で学びが多い。地域包括に参加してもらったため、高齢側の企画にも積極的に参加する。 ・次回事業所連絡会は2月24日（火）に高津、宮前区共催で「障がいの働くを考える」をテーマに就労選択支援についての講義や相談支援専門員の視点でGWを予定。 <p>【ワーキング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員・児童委員ワーキングでは、1月に第2回を開催。地域住民の生活状況を鑑みて、勉強会の開催時間の妥当性を判断する必要がある。今後、有馬第二団地での取組をモデルケースとして横展開していく。他のエリアではどのように繋がりがもてるか、現在関わりがある民生委員への相談・聞き取りや市営住宅ごとの会議やイベントの情報収集をしていく。 ・医療連携ワーキングでは、有馬第二団地ネットワーク会議に東横恵愛病院SWに参加してもらい、病院の機能説明や退院支援の実情について説明してもらう。

多摩区活動報告

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットを飼っていると、飼い主が体調を崩して入院が必要となっても、無償の預け先がなく入院できない（しない） →【ワーキング】 ・これまで行っていた課題キャッチャーに代わる課題の吸い上げ方法の検討 ・事業所連絡会について、北部事業所連絡会として実施しているが、本来は区ごとに連絡会を行う、となっている。
取組	<p>【定例会】 令和7年は開催なし（令和8年1月に開催）</p> <p>【事業所連絡会】 区ごとに行う取り組みとして、多摩区主催で行う回と、麻生区主催で行う回を設け、その後の連絡会をどのように実施してくかの検討を行った。 「地域自立支援協議会について」「今後の連絡会の内容について」（講義+GW） 「児童から成人 移行期について」（講義+GW） 「高齢期への移行について（介護保険ミニ講座、生涯恒例（障害高齢）連携について、川崎市の相談支援体制について）」（講義+GW）</p> <p>【ワーキング】 「ペット問題ワーキング」（～令和8年3月）</p>
成果、評価	<p>【定例会・事業所連絡会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで採用していた課題キャッチャーでは課題が整理しきれなかったため、これに代わる課題の吸い上げ方法を検討した。他都市の協議会について情報収集し、新たに「課題発見シート」を作成。ネット上でも入力可能なものとし、定例会や事業所連絡会で参加者に案内した。容易に課題が一覧化でき、事務局の中で共有しやすくなった。 ・事業所連絡会では、参加者が被ることから、麻生区と合同で北部相談支援事業所連絡会として開催することで、参加者数の確保と区の垣根を超えての連携につながった。GWの中で指定特定の主任相談支援専門員にも一部役割を担ってもらった。区ごとに主催を分けたが、参加事業所に変化はなかった。 <p>【ワーキング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実情の把握、現時点での社会資源の確認を目標とした。ペット問題ケースの詳細を医療機関より聞き取り、動物愛護センターアニマモール、多摩区衛生課、区内の動物を扱う3事業所に聞き取りを行った。その後、それらの機関についての情報をまとめたリーフレットを作成し、飼っているペット情報も記入できる様式にした。無償で預かってくれる場所は現状なかったが、事前に一緒に考えてくれる機関はあったことが確認できた。今回のワーキングで関わった関係機関とネットワークをつくることができ、ワーキングメンバー以外とも共有することができた。
令和8年に向けて	<p>【定例会・事業所連絡会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回定例会は1月26日（月）、事業所連絡会は2月12日（木）に開催。 <p>【ワーキング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年3月までが設置期間。預け先情報、動物に関わる多摩区内の事業所等を掲載したリーフレットを作成したため、3月までに印刷、配布を行う。

麻生区活動報告

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題に対して、関係機関の活動や取組が十分に把握できておらず、ワーキング活動を行う際の優先順位をつけづらい等支障があったため、ワーキング活動の土台づくりとして、現在ある地域活動や取組を整理・可視化する必要がある →【ワーキング（部会）】 ・移送支援について、移動時の支援ニーズが高まっているにも関わらず、サービス提供事業所や人材・車輛が不足している →【次年ワーキング】 ・定例会等への当事者の参加 ・事業所連絡会について、北部事業所連絡会として実施しているが、本来は区ごとに連絡会を行う、となっている。
取組	<p>【定例会】 「障害のある方の送迎を確保するために、移送サービスの地域での取り組みについて」（講義+GW）</p> <p>【事業所連絡会】 区ごとに行う取り組みとして、多摩区主催で行う回と、麻生区主催で行う回を設け、その後の連絡会をどのように実施していくかの検討を行った。 「地域自立支援協議会について」「今後の連絡会の内容について」（講義+GW）、「児童から成人 移行期について」（講義+GW） 「高齢期への移行について（『介護保険ミニ講座』、『生涯恒例（障害高齢）連携について』、『川崎市の相談支援体制について』）」（講義+GW）</p> <p>【ワーキング（部会）】 「課題活動整理部会」</p>
成果、評価	<p>【定例会・事業所連絡会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会では、これまで地域で移送サービスを実施してきた2つの事業所にこれまでの活動や課題について説明してもらい、地域課題を参加者と共有した。また、GWで意見交換を行い、ピアサポーターの活用やボランティア講座、移送サービスについての周知活動等、協議会で行えることの意味を募ることができた。当事者の方が1名参加し、意見聴取できた。 ・事業所連絡会では、参加者が被ることから、麻生区と合同で北部相談支援事業所連絡会として開催することで、参加者数の確保と区の垣根を超えての連携につながった。GWの中で指定特定の主任相談支援専門員にも一部役割を担ってもらった。区ごとに主催を分けたが、参加事業所に変化はなかった。 ・事業所連絡会は児童や高齢分野の支援者との意見交換ができ、特に高齢分野との継続的な連携が必要との機運が高まった。 <p>【ワーキング（部会）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題活動整理部会の中で、「課題整理シート」を作成し、課題を可視化した。その中で、移動支援について地域の実情を確認することとし、麻生区社協に福祉有償運送や事業全般の説明をしてもらったり、定例会で移送サービスについて取り上げたりした。また、区内生活介護事業所（9事業所）に送迎に関するアンケート調査を実施し、送迎対応の人員確保に苦慮している実態を確認した。
令和8年に向けて	<p>【定例会・事業所連絡会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顔の見える関係性の構築として開催するために、今後もひろく関係機関の参加を呼びかける。 ・令和7年は当事者が1名参加したが、当事者の方の参加を促す工夫を実施する。 ・事業所連絡会では、今後も引き続き、指定特定の主任相談支援専門員に一部役割を担ってもらい、参画を促していく。 ・次回定例会は2月2日（月）、事業所連絡会は2月12日（木）に開催。 <p>【ワーキング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題活動整理部会での検討により、学校や通所先、病院への外出等移動の支援ニーズが高まっているものの、サービス提供事業所や人材、車輛が不足している現状があることを再確認したため、「移送ワーキング」を立ち上げ、課題解決に向けて取組む。事業所連絡会の繋がりから「生涯恒例（障害高齢）連携ワーキング」を立ち上げ、障害と介護保険のサービスの違いについて利用者に分かりやすく伝えられることを目標に活動する。

令和7年（4～12月）区協議会活動報告（課題と取組）

【共通の課題について、マークおよび赤字記載】

- ▲・・・障害者理解
- ★・・・協議会活動の周知、協議会への当事者参加
- ◆・・・障害児から障害者への移行
- ・・・高齢期（介護保険サービス）への移行

	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区
課題	<p>▲地域に障害者の生活が十分に知られていない、伝わっていない。地域で暮らす方々お互いの存在を理解してもらい、障害者がより暮らしやすい地域をつくる→【ワーキング】</p> <p>○区内の関係者と地域課題の共有及び相互の連携強化等を図る。→【定例会】</p> <p>○区内の相談支援事業所の連携強化及び人材育成を図る→【事業所連絡会】</p>	<p>○車いす利用者が利用することのできる障害福祉サービス事業所の情報を得づらい（情報が集約されていない）→【ワーキング】</p> <p>○事業所同士の横のつながりの希薄</p> <p>★協議会活動の周知（当事者や関係機関に知られていない）</p> <p>○地域課題の抽出、精査方法の共通理解</p>	<p>◆障害児から障害者への移行期およびその後の支援についての課題が見えた。教育分野と障害福祉分野の相互理解の促進を目的に、前年度に引き続き設置した。支援方法、制度、社会資源等について理解を深め合う→【ワーキング】</p> <p>○令和5、6年度の取組みにより、地域のネットワーク強化と支援機関同士の役割を知ることを通して、地域課題に働きかけを行っていく必要が見えた。「知ろう、考えよう、やってみよう」をキーワードに設定し。複数年計画とし、連続性ある取り組みとする→【ワーキング】【定例会】【事業所連絡会】</p>	<p>○複合的な生活課題や家族を含めた世帯支援を必要とするケースが多くあり、分野を超えた事業所の連携が必要 →【ワーキング】</p> <p>★協議会活動の周知（当事者や関係機関に知られていない）→【定例会】</p> <p>○地域の相談員が困りごとを抱え込まないように→【事業所連絡会】</p>	<p>▲公営住宅に支援を必要とする障害者があり、地域で支える必要がある→【ワーキング】</p> <p>○精神科医療機関とGH等の社会資源との円滑な支援の移行 →【ワーキング】</p> <p>★協議会活動の周知（当事者や関係機関に知られていない）→【ワーキング】【定例会】【事業所連絡会】</p>	<p>○ペットを飼っていると、飼い主が体調を崩して入院が必要となっても、無償の預け先がなく入院できない（しない） →【ワーキング】</p> <p>○課題キャッチャーに代わる課題の吸い上げ方法の検討</p> <p>○北部事業所連絡会として実施しているが、本来は区ごとに連絡会を行う、となっている。→【事業所連絡会】</p>	<p>○地域課題に対して、関係機関の活動や取組が十分に把握できておらず、ワーキング活動を行う際の優先順位をつけづらい等支障があったため、ワーキング活動の土台づくりとして、現在ある地域活動や取組を整理・可視化する必要がある →【ワーキング（部会）】</p> <p>○移送支援について、移動時の支援ニーズが高まっているにも関わらず、サービス提供事業所や人材・車輛が不足している →【次年ワーキング】</p> <p>★定例会等への当事者の参加</p> <p>○北部事業所連絡会として実施しているが、本来は区ごとに連絡会を行う、となっている。→【事業所連絡会】</p>
取組	<p>【ワーキング】</p> <p>「地域で暮らす区民がお互いを知るワーキング」（～令和8年12月）</p> <p>【定例会】</p> <p>「障がいをおもちの方や家族が地域で暮らしやすくするために～地域生活をどのように支えられるか～」(GW)</p> <p>【事業所連絡会】</p> <p>「高次脳機能障害の方への支援について」（講義＋ディスカッション）</p> <p>「事例をもとにした相談支援に関する意見交換・情報共有」（GW）</p>	<p>【ワーキング】</p> <p>「バリアフリーワーキング」</p> <p>【定例会】</p> <p>「事業所の横のつながり」（講義＋GW）</p> <p>【事業所連絡会】</p> <p>「加算について」（GW）</p> <p>「課題意識の低い方への支援」（事例検討）</p> <p>「ちょっと聞きたい、相談したいこと」（GW）</p>	<p>【ワーキング】</p> <p>「学校de移行ワーキング」（～令和8年3月）</p> <p>【定例会・事業所連絡会】</p> <p>「令和6年度報告および7年度の取組みについて」（GW）</p> <p>■「障害サービスと介護保険サービスの違いについて」（講義＋GW）</p> <p>「地域資源を知る『井田山ツアー』」（施設見学）</p> <p>「専門機関を知る」（講義）</p> <p>「成年後見制度・区あんしんセンター金銭管理について」（講義）</p>	<p>【ワーキング】</p> <p>「高齢分野との連携ワーキング」（～令和8年3月）</p> <p>【定例会】</p> <p>「区役所による高津区役所を知るミニ講座」（講義）＋「日々の支援で工夫し上手にいったことの共有」（GW）</p> <p>【事業所連絡会】</p> <p>「地域の社会資源情報の意見交換会」（GW）＋「事業所ミニお悩み相談会」（事例検討GW）</p>	<p>【ワーキング】</p> <p>「民生委員・児童委員連携ワーキング」（次年継続）</p> <p>「医療連携ワーキング」（次年継続）</p> <p>【定例会】</p> <p>「依存症支援って何するの？」（講義＋GW）</p> <p>「防災について考える」（講義＋GW）</p> <p>【事業所連絡会】</p> <p>「相談支援なんでも相談会」（GW）</p> <p>「宮前区の相談支援体制紹介、活動報告」（講義）</p> <p>「事例検討会」（GW）</p>	<p>【ワーキング】</p> <p>「ペット問題ワーキング」（～令和8年3月）</p> <p>【定例会】</p> <p>令和7年は開催なし（令和8年1月に開催）</p> <p>【事業所連絡会】</p> <p>「地域自立支援協議会について、今後の連絡会の内容について」（講義＋GW）</p> <p>◆「児童から成人 移行期について」（講義＋GW）</p> <p>■「高齢期への移行について（介護保険ミニ講座、生涯恒例（障害高齢）連携について、川崎市の相談支援体制について）」（講義＋GW）</p>	<p>【ワーキング（部会）】</p> <p>「課題活動整理部会」</p> <p>【定例会】</p> <p>「障害のある方の送迎を確保するために、移送サービスの地域での取り組みについて」（講義＋GW）</p> <p>【事業所連絡会】</p> <p>「地域自立支援協議会について、今後の連絡会の内容について」（講義＋GW）</p> <p>◆「児童から成人 移行期について」（講義＋GW）</p> <p>■「高齢期への移行について（『介護保険ミニ講座』、『生涯恒例（障害高齢）連携について』、『川崎市の相談支援体制について』）」（講義＋GW）</p>

作成日：令和7年12月25日

川崎区

	実施日時	内容・まとめ等
区定例会	1回開催 9月9日	<p>【実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月9日14:00～16:00に開催 ・第1回(9/9) <ul style="list-style-type: none"> ・協議会の体制・目的説明 ・R7, 4～8の活動報告 ・交流会・意見交換 テーマ「障害をおもちの方や家族が地域で暮らしやすくなるために～地域生活をどのように支えられるか～」 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組期間の変更により、令和7年は1回の開催となったため、当初予定していた第2回目の時期を再検討した。 ・第1回目は幅広い分野から多数の参加者があった（39名）。移行期の話題が出る等意見交換も活発で地域の関係機関の連携が強化された。また、取り上げている地域課題に関連するテーマで議論できた点も良かった。加えて、当事者参加があり、多様な視点での議論ができた。 ・取組内容の広報（ホームページ等）が不十分であった。 <p>【改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年には年間2回開催できるようスケジュール調整を行う。 ・交流する時間（名刺交換等）を十分に確保するほか参加機関が双方向に発信できる場にする等、連携をさらに強化していく。また、ライフステージの変化や分野をまたぐ等の移行期の連携については共通した課題として認識されたため、更に議論を深めることが期待できる。 ・広く情報発信ができるよう広報の取組について検討していく。
区企画運営会議	7回開催 4月8日 5月13日 6月10日 8月12日 9月9日 11月11日 12月9日	<p>【実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月第2火曜日14:00～15:30で実施（事業所連絡会の実施月は休会とする） ・事業所連絡会の企画案を共有、意見交換 ・定例会の企画検討を実施 ・地域で暮らす障害者を区民に少しでも知ってもらうワーキングの進捗の管理 ・地域課題抽出の進め方検討、課題抽出スクリーニング表への落とし込み実施 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間スケジュールの変更があったが、大きな混乱なくスケジュールを修正し、取組を実施できた。また、担当制にすることで役割が明確になり活動しやすくなった一方、全体の情報を集約し調整する必要も感じた。 ・R6年度の地域課題（グループホーム）について、改めて市企画運営会議で報告を行い、市全体で共有することができた。 ・スクリーニングにかかる時間が少なかったため、地域課題の検討が十分にできなかった。

		<p>【改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画運営会議の事前打ち合わせには各担当の代表が出席し、これまで以上に情報が集約・調整できる体制を検討していく。 ・スクリーニングの検討手法について再度検討していく（さらなる取組時間の確保、担当制の導入等）。
<p>相談支援事業所連絡会</p>	<p>2回開催</p> <p>7月8日 10月14日</p>	<p>【実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回(7/8)：高次脳機能障害の方への支援について(6/全11事業所)在宅支援室より高次脳機能障害についての基礎知識の説明・質疑応答 ・第2回(10/14)：事例をもとに相談支援に関する意見交換・情報共有(5/全11事業所) <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区内事業所に限定し顔の見える関係性があることから自然に支えあう場になっている ・こじんまりとして話しやすさにつながった ・第2回の意見交換で児童期の支援について知らない事業所が多く、ライフステージの変化や分野をまたぐ時のつなぎには課題があることが分かった ・移行期の背景には多くの問題があり、そこをテーマにすることで表面化するのではない ・参加人数が毎回あまり多くない。要因としてご案内の時期が考えられる(1か月前ではすでに予定が入っている) ・幸区との合同開催は適当なテーマが見つからず実施しなかった。 <p>【改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間のテーマを設定して実施することで次回の会の具体的な案内になる ・参加者が内容をイメージできると求めるものが見えやすい ・それぞれの事業所の得意分野を強みとして各機関で共有できると良い ・関係機関が顔の見える関係になり相談しあえるようになると地域を支える力にもつながる ・第1回目の会で年間のスケジュールを提示することで年間の予定を確保する ・幸区との合同開催については担当者間で検討する
<p>地域で暮らす区民が お互いを知るワーキング</p>	<p>9回開催</p> <p>6月10日 7月8日 7月29日 8月12日 9月9日 10月14日 11月21日</p>	<p>【実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年8月～12月は本格的な活動の準備期間とする(ワーキング委員へ参加依頼、スケジュール調整、予算決め、印刷業者選定、進捗状況の確認等)。 ・地域で暮らす区民がお互いを知る機会を企画する(川崎区社協福祉まつり参加に向け、説明会に出席)。 ・身体障害・知的障害・精神障害者を対象とする各事業所から委員を選出し、取り組みについて検討、実施する。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年11月開催の川崎区社協 福祉まつりでの普及啓発活動を検討したが、準備期間が短く、過去のワーキングで同様の活動をした事例があった。福祉まつり来場者に限らず、さらに裾野を広げてもっと多くの方に知ってもらいたいということから参加を見送った。

	<p>12月9日 12月11</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷業者選定は、当初の見込みが甘く、ポスターの詳細を決めた後ではないと実施できないことが分かった。 ・進捗確認は参集やメール等で実施しており、継続が望ましい。 <p>【改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールを伝えた上で委員との調整が必要。 ・予算を共有し、発行部数等決める。 ・ポスターの詳細を決めて、印刷業者選定を行う。
--	------------------------	--

【その他、次年度に向けて】

・R7年3件の地域問題が提出され、内2件については、企画運営会議で既に協議検討を行っているが、引き続きR8年に協議・検討を進めていく予定。残りの1件についてはR8年から協議検討を進めていく予定。

川崎区地域自立支援協議会
令和7年「地域で暮らす区民がお互いを知るワーキング」実施報告書

地域課題	地域で暮らす障害者の方の日常の暮らし方を知る機会をつくり、抵抗感のある社会的なイメージを和らげる
目標	地域で暮らす方々がお互いの存在を理解する。
取組経過	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和7年8月～12月を付帯的な活動の準備期間とした。 (ワーキング委員へ参加依頼、スケジュール調整、予算決め、印刷業者選定、進捗状況の確認等) ・ 地域で暮らす区民がお互いを知る機会を企画した。 (川崎区社協 福祉まつり参加に向け、説明会に出席)
取組成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和7年11月開催の川崎区社協 福祉まつりでの普及啓発活動を検討したが、準備期間が少なく、過去のワーキングで同様の活動をした事例があったこと、福祉まつり来場者に限らずさらに裾野を広げてもっと多くの方に知ってもらいたいということから参加を見送った。 ・ 印刷業者選定は、当初の見込みが甘くポスターの詳細を決めた後でないと、実施できないことが分かった為、委員との会議を行いポスターの詳細を決めてから行う。 ・ 事務局メンバー間での進捗確認は参集やメール等で実施しており、継続が望ましい。 ・ 委員とのオンライン会議のスケジュールは、12月のオンライン会議にて委員と調整をする。 ・ 12月オンライン会議にて予算を共有し、発行部数等決める。
残された課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和8年1月以降のスケジュール調整や、スケジュールに沿った行動の実施 ・ 令和8年12月に当事者の作品（ポスター）を掲示し、効果検証は令和9年以降に実施

【令和7年 川崎区地域自立支援協議会 企画運営会議】

取組の目的・目標

区協議会の円滑な運営 一人一人が役割機能を認識して参加する

主な内容

区協議会全体の年間計画の作成、活動の実施、振り返り、評価、地域課題スクリーニング、区レベルで対応する地域課題に対する取組手法の決定、取組状況の進捗管理、ワーキングの設置・廃止の決定、各ワーキングにおける協議内容の進捗管理、取組を3グループ(全体・地域課題・ワーキング・連絡会定例会)にわけ少人数体制で集中して取組み、全体で共有、評価し、定例会、市協議会への報告、意見取りまとめ、その他協議会の運営に関すること

上記内容を各担当(全体・地域課題・ワーキング・連絡会定例会)をグループ体制で取組み、全体で共有、評価

- ・区事務局会議、区定例会の年間計画・日時・参加者を決定活動を実施、振り返り、評価
- ・地域課題スクリーニング
- ・区レベルで対応する地域課題に対する取組手法の決定、取組状況の進捗管理
- ・ワーキング設置の検討・進捗管理
- ・相談支援事業所連絡会の内容の共有、取り組みの報告、振り返り、評価
- ・グループでの取り組みを中心とし、企画運営会議は年9回を予定

Plan
(計画)

Do
(実施)

- ・毎月第2火曜日14:00～15:30で実施(事業所連絡会の実施月は休会とする)
- ・事業所連絡会の企画案を共有、意見交換
- ・定例会の企画検討を実施
- ・地域で暮らす障害者を区民に少しでも知ってもらおうワーキングの進捗の管理
- ・地域課題抽出の進め方検討、課題抽出スクリーニング表への落とし込み実施

- ・企画運営会議の事前打ち合わせには各担当の代表が出席し、これまで以上に情報を集約・調整できる体制を検討していく。
- ・スクリーニングの検討手法について再度検討していく(さらなる取組時間の確保、担当制の導入等)。

Act
(改善、修正)

Check
(評価、検証)

- ・年間スケジュールの変更があったが、大きな混乱なくスケジュールを修正し、取組を実施できた。また、担当制にすることで役割が明確になり活動しやすくなった一方、全体の情報を集約し調整する必要も感じた。
- ・R6年度の地域課題(グループホーム)について、改めて市企画運営会議で報告を行い、市全体で共有することができた。
- ・スクリーニングにかかる時間が少なかったため、地域課題の検討が十分にできなかった。

【令和7年 川崎区地域自立支援協議会 定例会】

取組の目的・目標

区の関係者と地域課題の共有及び相互の連携強化等を図る

主な内容

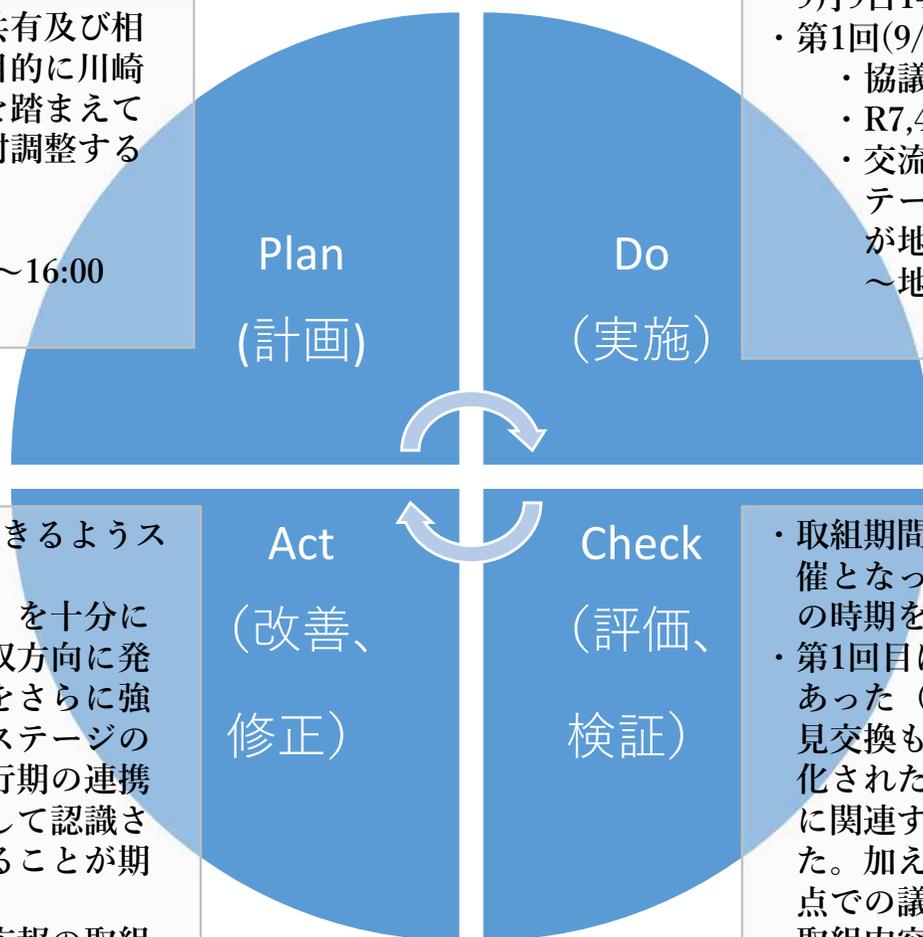
①区レベルで対応する地域課題のうち、必要な地域課題についての共有・意見聴取、②区企画運営会議、区ワーキングにおける協議事項について、相談支援事業所連絡会の報告・共有、③情報伝達・研修、④参加者間の交流・ネットワークづくり

- ・区内の関係者と地域課題の共有及び相互連携強化等を図ることを目的に川崎区で挙げられている地域課題を踏まえて企画運営会議にて内容を検討調整する
- ・頻度は年1～2回
- ・9月・2月(予定)第2火曜日
14:00～16:00
区役所会議室・本庁会議室

- ・9月9日14:00～16:00に開催
- ・第1回(9/9)
 - ・協議会の体制・目的説明
 - ・R7.4～8の活動報告
 - ・交流会・意見交換
 テーマ「障害をおもちの方や家族が地域で暮らしやすくなるために～地域生活をどのように支えられるか～」

- ・令和8年には年間2回開催できるようスケジュール調整を行う。
- ・交流する時間(名刺交換等)を十分に確保するほか、参加機関が双方向に発信できる場にする等、連携をさらに強化していく。また、ライフステージの変化や分野をまたぐ等の移行期の連携については共通した課題として認識されたため、更に議論を深めることが期待できる。
- ・広く情報発信ができるよう広報の取組について検討していく。

- ・取組期間の変更により、令和7年は1回の開催となったため、当初予定していた第2回目の時期を再検討した。
- ・第1回目は幅広い分野から多数の参加者があった(39名)。移行期の話題が出る等意見交換も活発で地域の関係機関の連携が強化された。また、取り上げている地域課題に関連するテーマで議論できた点も良かった。加えて、当事者参加があり、多様な視点での議論ができた。
- ・取組内容の広報(ホームページ等)が不十分であった。



取組の目的・目標

区内の相談支援事業所の連携強化及び人材育成を図る

主な内容

- ・事業所の支援状況等について共有し、事業所間の交流を深める
- ・障害福祉サービスの情報交換
- ・相談支援に関する意見交換
- ・事例検討 ・悩みごと、困りごと相談

昨年度アンケートより学びの場、交流の場を検討

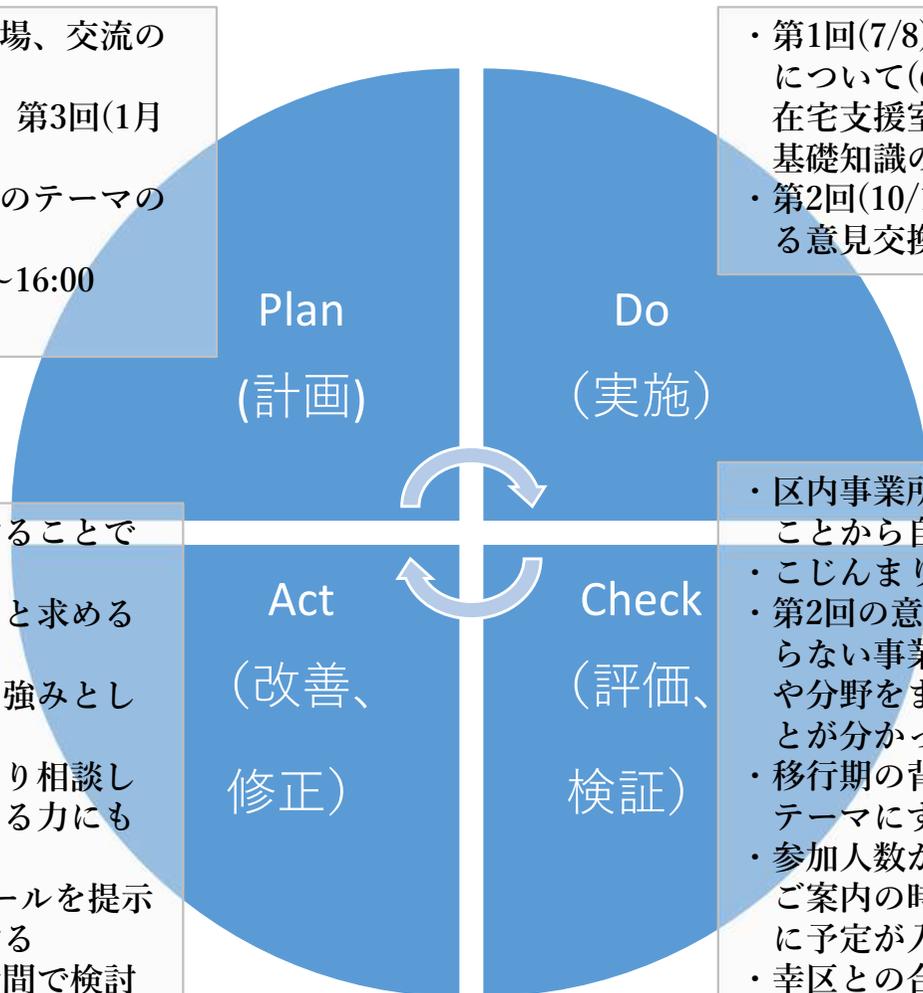
- ・第1回(7月)、第2回(10月)、第3回(1月予定)
- ・幸区との合同は調整し共通のテーマの実施を検討

第2または第4火曜日 14:00～16:00
区役所会議室

- ・第1回(7/8)：高次脳機能障害の方への支援について(6/全11事業所)
在宅支援室より高次脳機能障害についての基礎知識の説明・質疑応答
- ・第2回(10/14)：事例をもとに相談支援に関する意見交換・情報共有(5/全11事業所)

- ・区内事業所に限定し顔の見える関係性があることから自然に支えあう場になっている
- ・こじんまりとして話しやすさにつながった
- ・第2回の意見交換で児童期の支援について知らない事業所が多く、ライフステージの変化や分野をまたぐ時のつなぎには課題があることが分かった
- ・移行期の背景には多くの問題があり、そこをテーマにすることで表面化するのではないか
- ・参加人数が毎回あまり多くない。要因としてご案内の時期が考えられる(1か月前ではすでに予定が入っている)
- ・幸区との合同開催は適当なテーマが見つからず実施しなかった。

- ・年間のテーマを設定して実施することで次回の会の具体的な案内になる
- ・参加者が内容をイメージできると求めるものが見えやすい
- ・それぞれの事業所の得意分野を強みとして各機関で共有できると良い
- ・関係機関が顔の見える関係になり相談しあえるようになると地域を支える力にもつながる
- ・第1回目の会で年間のスケジュールを提示することで年間の予定を確保する
- ・幸区との合同については担当者間で検討する



取組の目的・目標

地域で暮らす方々がお互いの存在を理解する

主な内容

川崎区で暮らす人々が地域で共生する生活を続けるために、区民の皆さんが理解し合うきっかけを作る

- ・ 設置期間：令和7年6月～令和8年12月
- ・ 構成：障害関係事業所、地域相談支援センター、在宅支援室、区役所（障害支援）、基幹相談支援センター
- ・ 地域で暮らす人々がお互いを理解し合えるきっかけを考える。
- ・ 当事者の作品（ポスター）を多くの区民の目に触れる場所に掲示する。
- ・ 委員を交えての協議/検討。

Plan
(計画)

- ・ 令和7年8月～12月は本格的な活動の準備期間とする（ワーキング委員へ参加依頼、スケジュール調整、予算決め、印刷業者選定、進捗状況の確認等）。
- ・ 地域で暮らす区民がお互いを知る機会を企画する（川崎区社協 福祉まつり参加に向け、説明会に出席）。
- ・ 身体障害・知的障害・精神障害者を対象とする各事業所から委員を選出し、取り組みについて検討、実施する。

Do
(実施)

- ・ スケジュールを伝えた上で委員との調整が必要。
- ・ 予算を共有し、発行部数等決める。
- ・ ポスターの詳細を決めて、印刷業者選定を行う。

Act
(改善、
修正)

- ・ 令和7年11月開催の川崎区社協 福祉まつりでの普及啓発活動を検討したが、準備期間が短く、過去のワーキングで同様の活動をした事例があった。福祉まつり来場者に限らず、さらに裾野を広げてもっと多くの方に知ってもらいたいということから参加を見送った。
- ・ 印刷業者選定は、当初の見込みが甘く、ポスターの詳細を決めた後ではないと実施できないことが分かった。
- ・ 進捗確認は参集やメール等で実施しており、継続が望ましい。

Check
(評価、
検証)

作成日：令和7年12月25日

	予定日時	内容・計画等
区定例会	年2回程度 (6月・10月を 想定) 第2曜日 14:00 ～16:00	<p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 取組の目的、目標 区内の関係者と地域課題の共有を図り、相互の連携強化等を促進する 主な内容 テーマを「ライフステージの変化や分野をまたぐ移行期の連携」と設定する <ol style="list-style-type: none"> ①区レベルで対応する地域課題の共有及び意見聴取 ②企画運営会議・ワーキング・相談支援事業所連絡会等の各取組報告及び共有 ③双方向の情報発信、資質向上を図る研修の実施 ④参加者間の交流促進及びネットワークづくり
区企画運営会議	毎月 第2火曜日 14:00 ～15:30	<p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 取組の目的、目標 区協議会の円滑な運営（一人一人が役割を發揮しながら取組を連動させる） 主な内容 <ol style="list-style-type: none"> ①区協議会の年間計画の作成及び進行管理、事務局会議の開催、PDCAサイクルに基づいた振り返り及び評価 ②スクリーニングの実施及び区レベルで対応する地域課題への取組（ワーキングの取組を含む） ③取組を3グループ(企画運営会議・定例会、ワーキング、相談支援事業所連絡会)に分担して実施。
相談支援事業所連絡会	年2回程度 第2火曜日 14:00 ～16:00	<p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 取組の目的、目標 区内の相談支援事業所の連携強化及び人材育成を図る 主な内容 年間テーマを「ライフステージ」に設定し、各時期に合わせた話題提供や意見交換を企画する <ol style="list-style-type: none"> ①事業所の支援状況等について共有し、事業所間の交流を深める ②相談支援に関する意見交換、障害福祉サービスの情報交換 ③事例検討等
地域で暮らす区民が お互いを知るワーキング	毎月 第2火曜日 14:00 ～15:30 (設置期間：令和7年6月～令和8年12月)	<p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 取組の目的、目標 地域で暮らす方々がお互いの存在を理解する 主な内容 川崎区で暮らす人々が地域で共生する生活を続けるために、区民の皆さんが理解し合うきっかけを作る。 <p>身体障害、知的障害、精神障害を対象とする各事業所から当事者も含めて委員を選出し、協議、検討を行いながら当事者の作品（ポスター）を作成、掲示する。</p>

作成日：令和7年12月24日

	実施日時	内容・まとめ等
区定例会	12月23日 13:00～15:00	<ul style="list-style-type: none"> ●児童の通所事業所26か所参加 ●1部：自立支援協議会について <ul style="list-style-type: none"> ・協議会の体制・目的説明 ・R7.4～R7.12の活動報告 (相談支援事業所連絡会、課題整理グループ、 バリアフリーワーキングより) 2部：意見交換会 テーマ「事業所の横のつながり」 <ul style="list-style-type: none"> ①テーマトーク <ul style="list-style-type: none"> ・地域課題6-3:バリアフリー ・地域課題6-2：サービス終了後に埋もれないつ なぎ方 ②フリートーク <ul style="list-style-type: none"> 横のつながりを意識して『困っていること、 心配なこと、聞いてみたいこと等』
区企画運営会議	計10回実施 毎月第2火曜日 9:30～11:30	<ul style="list-style-type: none"> ・年間実施計画、会議の運営方法等を検討 ・市企画運営会議の報告 ・定例会の企画検討を実施 ・相談事業所連絡会の企画検討を実施 ・地域課題スクリーニングはR6年度分を複数回に分けて検討。 ・課題整理グループを決めてR7スクリーニングシートの精査実施 ・ワーキングの設置と進め方の検討を実施
相談支援事業所連絡会	3回開催 7月22日 9月30日 11月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・R7年度奇数月の第4火曜日14:00～15:30に実施 ・第1回：7月22日 会議の目的、内容の確認 今年度の活動に関する意見交換、座談 ・第2回：9月30日(第5火曜) テーマトーク：加算について 事例検討：課題意識の低い方への支援 ・第3回：11月25日 意見交換：ちょっと聞きたい、相談したいこと ・R7年度第4回：R8年1月27日予定
バリアフリー ワーキング	3回開催 9月9日 10月24日 11月26日	<p>〈通所事業所からの聞き取り調査後、考察を行った〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新築/築浅物件と築古物件では設備に大きく差がある。比較的最近開設された事業所はユニバーサルデザインで建てられた新築/築浅物件で事業実施することが多く、歴史の長い地域活動支援センターや生活介護事業所等は築古物件で事業実施しているためバリアフリーの観点で対応している傾向がある。 ・区協議会の活動として幸区のホームページに車いすの方が通所できる事業所情報を掲載する ・掲載情報収集及び活動報告のため、定例会の場を活用し幸区内の通所事業所からアンケート調査した

【その他、次年度に向けて】

改めて、障害福祉サービス事業所同士の「横のつながりが希薄」であることがわかった。次年度に向けて、障害福祉サービス事業所同士の「横のつながり」が拡大し、事業所同士で困りごと等を聞きあえる支援体制の構築の一歩としていきたいと思っております。

幸区地域自立支援協議会 令和7年「バリアフリーワーキング」実施報告書

地域課題	車いす利用者が利用できる事業所情報を当事者・利用者が得やすくする(情報が得にくいことが地域課題)
目標	車いす利用者自身が幸区内の障害福祉事業所の車いすトイレの情報を調べやすくできるようにする。
取組経過	<ul style="list-style-type: none"> ・9月9日、第1回バリアフリーワーキングを開催。委員と事務局の挨拶・顔合わせ、ワーキングの目的確認、情報共有、調査内容の検討 ・10月24日、第2回バリアフリーワーキングを開催。調査結果の考察、調査結果の掲載先を検討、定例会の報告及び意見聴取内容の検討 ・11月26日、第3回バリアフリーワーキングを開催。年間実施報告書(案)の作成・検討、定例会に向けた準備 ・12月23日、幸区自立支援協議会定例会にて活動報告、意見聴取 → 年間実施報告書の完成・提出
取組成果	<p>〈通所事業所からの聞き取り調査結果からの考察〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新築/築浅物件と築古物件では設備に大きく差があるように感じられた。比較的最近開設された事業所(就労移行支援事業所や放課後等デイサービス等)はユニバーサルデザイン(最初から誰もが使いやすいデザイン)で建てられた新築/築浅物件で事業実施することが多く、歴史の長い地域活動支援センターや生活介護事業所等は築古物件で事業実施しているためバリアフリー(後から障壁を取り除く)の観点で対応している傾向があると考察できるのではないかと。 ・上記の考察結果から、①車いす利用者の受け入れについて、②車いす利用者が現在利用しているかどうかについて、③車いす利用者の送迎利用について、の3点を幸区内の事業所(生活介護、自立訓練、就労継続支援、就労移行支援、地域活動センター、放課後等デイサービス、児童発達支援、指定相談)からアンケート調査し、幸区自立支援協議会の定例会の場で、グループワークにて意見聴取することとなった。 <p>〈定例会での意見聴取の結果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見聴取の結果、放課後等デイサービスも築古物件での事業運営である事業所が多いことがわかった。また就労移行支援の事業所は駅近のオフィスビルで運営している所が多く、EVや自動ドアなどの環境はある一方で、一般のビジネスマンが使用するような共用トイレを使用していることもわかった。 ・すべての事業種から聞かれた話として、車いすの利用者を想定して事業の設備や準備を整えて運営している事業所は皆無であり、利用の相談は応相談であるが、事業所の環境(スロープ、段差、トイレ等)に利用者が適応できるようであれば利用を相談できるという回答が共通であった。 <p>〈取組成果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回のアンケート結果を幸区のホームページに掲載することになり、車いす利用者自身がインターネットで幸区内の事業所の環境や利用の受け入れについての最低限の情報を調べることができるようになった。
残された課題	活動の振り返りとして、スクリーニングシートのIの項目で考察した「問題の要因と背景」そのものが、活動結果であると考えられた。すなわち、障害者に社会が適応するのではなく、社会の環境や仕組みに障害者が適応していくしかないのが現在の障害者の暮らしであると考えられた。

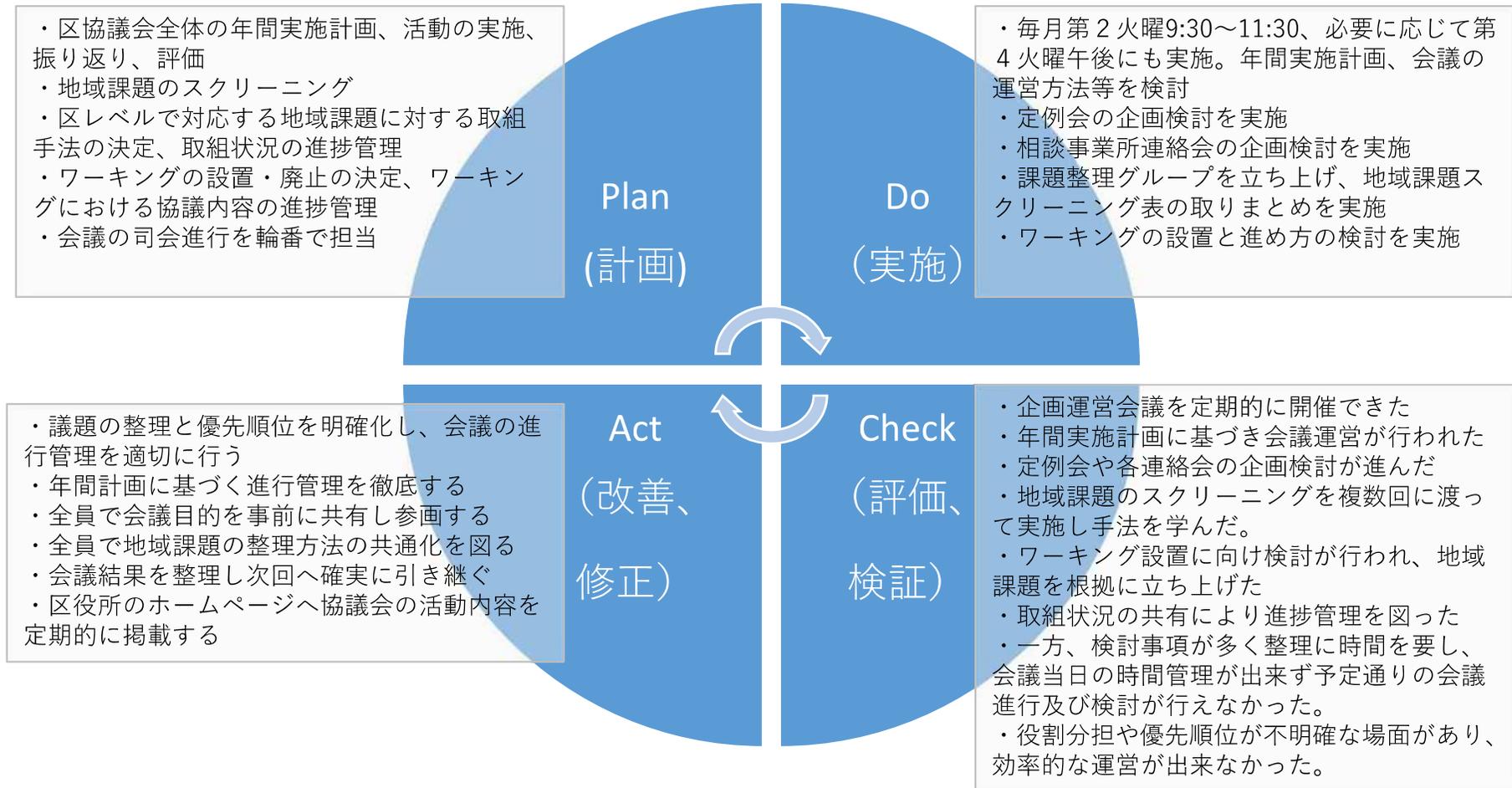
【令和7年 幸区自立支援協議会 企画運営会議】

取組の目的・目標

区協議会の円滑な運営を図る

主な内容

区企画運営会議、区定例会、相談支援事業所連絡会の年間実施計画の作成、活動の実施、振り返り、評価、地域課題スクリーニング、区レベルで対応する地域課題に対する取組手法の決定、取組状況の進捗管理、ワーキングの設置・廃止の決定、ワーキングにおける協議内容の進捗管理、市協議会への報告、意見とりまとめ、その他区協議会の運営に関すること



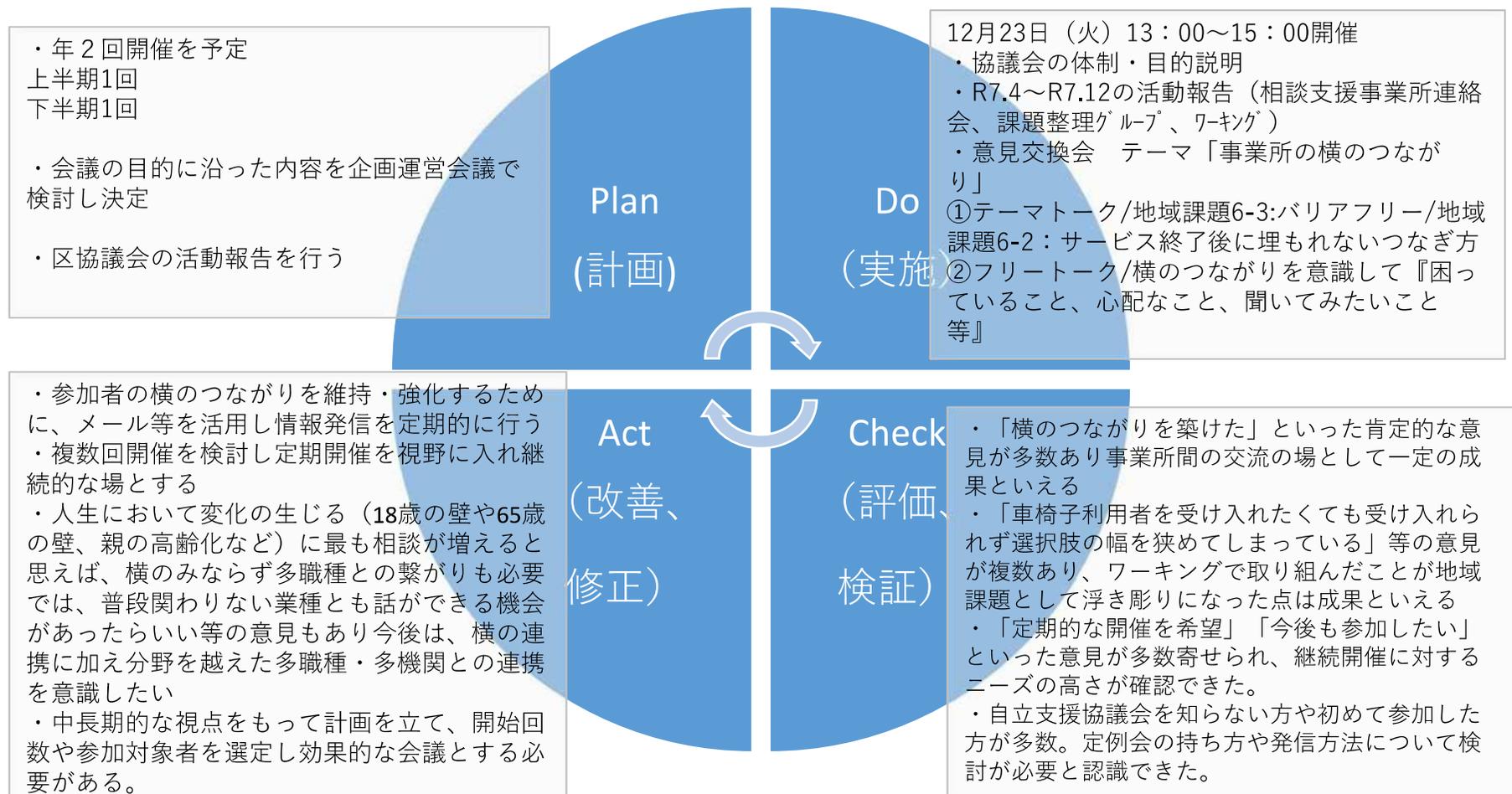
【令和7年 幸区自立支援協議会 定例会】

取組の目的・目標

区内の関係者と地域課題の共有及び相互の連携強化等を図る

主な内容

- ・区レベルで対応する地域課題のうち、必要な地域課題についての共有、意見聴取、
- ・区企画運営会議、区ワーキングにおける協議事項についての報告、共有
- ・情報伝達、研修
- ・参加者間の交流、ネットワークづくり



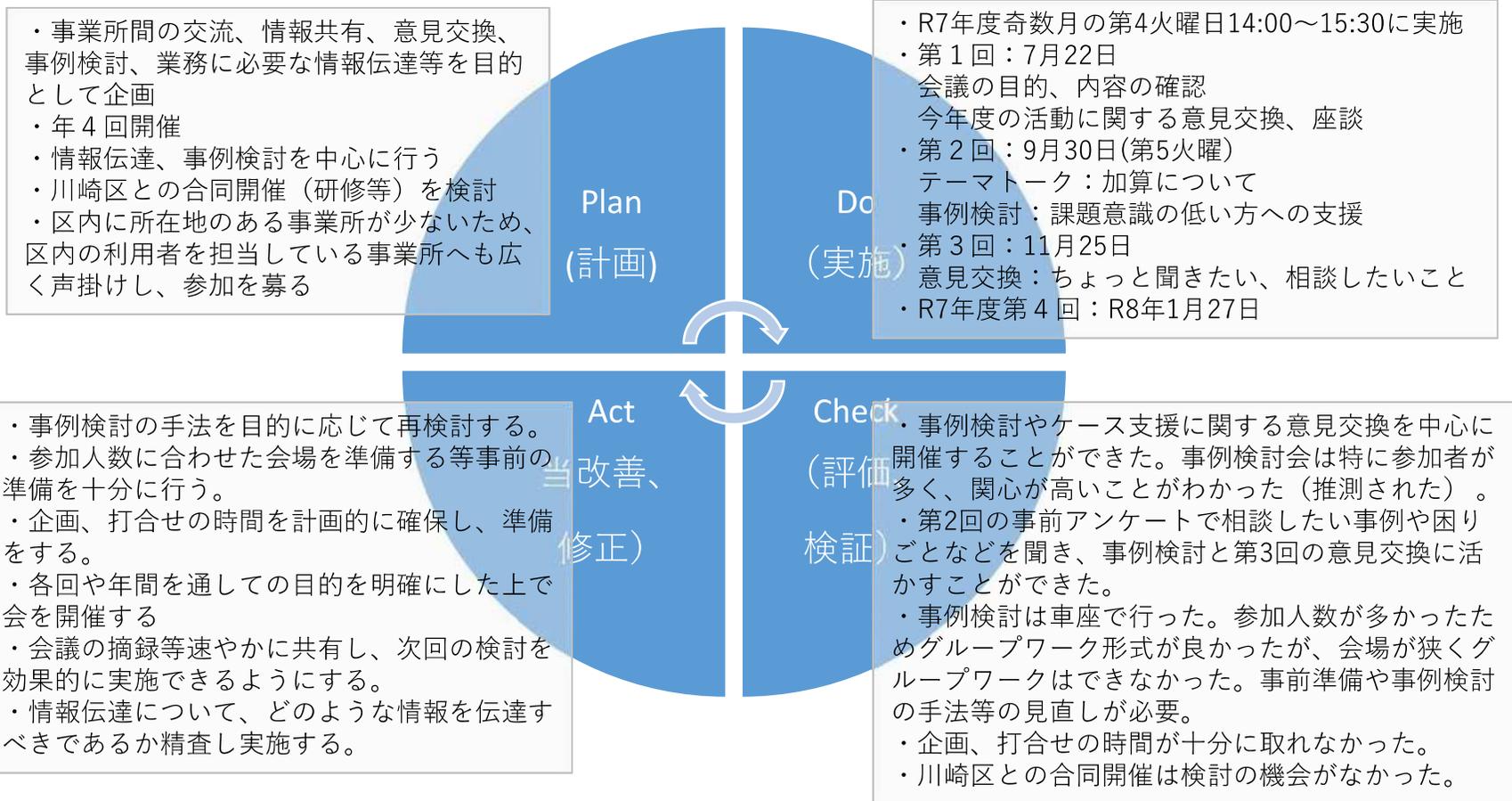
【令和7年 幸区自立支援協議会 相談支援事業所連絡会】

取組の目的・目標

区内の相談支援事業所等の連携強化及び人材育成等を図る

主な内容

事例検討、事業所間の交流、業務に必要な情報伝達、研修、個別事例への支援のあり方に関する協議・調整等



【令和7年 幸区自立支援協議会 バリアフリーワーキング】

取組の目的・目標

車いす利用者自身が幸区内の障害福祉事業所の車いすトイレの情報を調べやすくできるようにする

主な内容

幸区内の車いす利用者及び車いすトイレの設置状況等について意見交換、情報収集、区内の通所事業所への聞き取り調査、収集した情報の発信方法の検討、区協議会での活動報告

- ・ワーキング委員を募り、幸区内の車いす利用者及び車いすトイレについて意見交換及び情報収集をする。
- ・幸区内の生活介護・生活訓練・就労B型・就労A型・就労移行・地域活動センターの各事業所にそれぞれ聞き取り調査等を行う。
- ・集約した情報の掲載先として『さいわいガイドマップ』を想定し、地域振興課と意見交換する。（障害事業所が掲載されていない理由、掲載する情報の範囲等。意見交換会を11月中で想定していく）
- ・幸区自立支援協議会・定例会にて活動報告を行う(計画)

- 〈通所事業所からの聞き取り調査の実施・調査結果からの考察を行った〉
- ・新築/築浅物件と築古物件では設備に大きく差がある。比較的最近開設された事業所（就労移行支援事業所や放課後等デイサービス等）はユニバーサルデザイン（最初から誰もが使いやすいデザイン）で建てられた新築/築浅物件で事業実施することが多く、歴史の長い地域活動支援センターや生活介護事業所等は築古物件で事業実施しているためバリアフリー（後から障壁を取り除く）の観点で対応している傾向がある。
- 第1回：9/9、第2回：10/24、第3回：11/26、定例会：12/23（聞き取り、意見交換、考察）

〈定例会での意見聴取の結果〉

- ・意見聴取の結果、放課後等デイサービスも築古物件の事業所が多いことがわかった。また就労移行支援の事業所は駅近のオフィスビルで運営している所が多く、EVや自動ドアなどの環境はある一方、一般の共用トイレを使用していることもわかった。
- ・多くの事業種から聞かれた話として、車いすの利用者を想定して事業の設備や準備を整えて運営している事業所はほぼなく、利用は応相談であるが、事業所の環境（スロープ、段差、トイレ等）に利用者が適応できるようであれば利用を相談できるという回答が共通であった
- ・アンケート結果を幸区のホームページに掲載することで車いす利用者自身がインターネットで幸区内の通所事業所の情報を調べることが可能となった

〈ワーキング活動の結果〉

- ・さいわいガイドマップではなく、区協議会の活動として幸区のホームページに車いすの方が通所できる事業所情報を掲載する方針に変更した
- ・掲載情報収集及び活動報告のため、定例会の場を活用し、①車いす利用者の受け入れについて、②車いす利用者が現在利用しているかどうかについて、③車いす利用者の送迎利用について、の3点を幸区内の通所事業所からアンケート調査した
- ・定例会にてグループワーク時に意見聴取し区内の状況を知る材料とした

作成日：令和7年12月25日

	予定日時	内容・計画等
区定例会	未定	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所間の横の連携を目的とした定例会を継続的に開催する ・地域課題の共有と相互理解の促進を図る ・グループワークを通じ実践的な意見交換を行う ・テーマを明確化し議論の深まりを目指す ・参加しやすい運営方法を検討し参加促進を図る
区企画運営会議	毎月第2火曜 9:30～11:30 ※必要に応じて第4火曜午後実施	<ul style="list-style-type: none"> ・区協議会全体の年間実施計画、活動の実施、振り返り、評価 ・取り組めていない地域課題スクリーニング表に着手・整理し検討を行う ・区レベルで対応する地域課題に対する取組手法の決定、取組状況の進捗管理 ・ワーキングの設置・廃止の決定、ワーキングにおける協議内容の進捗管理 ・定例会や連絡会の企画検討を行う ・区役所のホームページへ定期的に報告等を掲載する
相談支援事業所連絡会	奇数月第4火曜日 14:00～15:30	(R8年第1回) ・R8.1.27実施予定 (R7年度第4回) 以降未定
〇〇ワーキング	未定	未定

作成日：令和 7年 12月 25日

	実施日時	内容・まとめ等
<p>区定例会</p>	<p>計5回開催</p> <p>5月27日 (火) 7月22日 (火) 9月24日 (水) 11月27日 (木) 12月23日 (火)</p>	<p>○中長期テーマ「知ろう」「考えよう」「やってみよう」より「知ろう」を中心に実施。 ○各実施内容が事業所連絡会の目的と重なるために定例会・事業所連絡会合同開催</p> <p>〈第1回〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 5/27 (火) 14:00～16:30 参加者：16事業所19名 令和7年度の取組みについて説明 地域連携を深めるための事業所紹介 事業所交流及び令和7年度取組み内容に関する意見交換会 <p>〈第2回〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 7/22(火) 14:00～16:30 参加者：14事業所 19名 障害サービスと介護保険サービスの違いについて 介護保険説明者：とどろき地域包括 太田氏 障害福祉説明者：地域相談すまいる 猪野田氏 加齢に伴う支援について意見交換会 <p>〈第3回〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 9/24 (水) 13:15～16:00 参加者：10事業所 14名 地域資源を知る「井田山ツアー」開催 見学事業所：中央療育センター入所・通園、もみの木、桜の丘 <p>〈第4回〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 11/27 (木) 9:30～12:00 参加者：6事業所 7名 中部リハビリテーションセンター機能を知る 説明者：中部地域支援室、中部在宅支援室、中部日中活動センター、はるかぜ、体育館 <p>〈第5回〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 12月23日 (火) 14:00～16:30 参加者：17事業所 19名 成年後見制度・区あんしんセンター金銭管理について 説明者：川崎市あんしんセンター 成年後見支援センター 雨宮氏 中原区社会福祉協議会
<p>区企画運営会議</p>	<p>計9回 毎月第水曜日実施</p> <p>4月9日9:00～11:00 5月14日9:00～11:00 6月11日9:00～11:00 7月9日9:00～10:15 8月6日9:00～10:30 9月10日9:00～11:00 10月8日9:00～11:00 11月12日9:00～11:00 12月10日9:00～11:00</p>	<ul style="list-style-type: none"> 川崎市地域自立支援協議会の報告等。 各定例会・事業所連絡会に関する検討と実施後の振り返り。 定例会・事業所連絡会から聞かれる支援者の困りごと、地域課題の背景を探り解決に向けての取組みを検討。 地域の事業所がお互いの機能や強みを「知る」取組みの検討を行ない定例会事業所連絡会にて実施。 定例会事業所連絡会の参加者から個別の問題から地域課題を抽出する仕組みの検討及び実施。 学校de移行ワーキング設置の検討と実施内容の報告確認。 定例会及び事業所連絡会の参加者や開催周知方法の検討。 PDCAサイクルを活用した令和7年の振り返りを実施して令和8年計画策定。
<p>相談支援事業所連絡会</p>	<p>計5回開催</p> <p>5月27日 (火) 7月22日 (火) 9月24日 (水) 11月27日 (木) 12月23日 (火)</p>	<p>○中長期テーマ「知ろう」「考えよう」「やってみよう」より「知ろう」を中心に実施。 ○各実施内容が定例会の目的と重なるために定例会・事業所連絡会合同開催 ○詳しい取組み内容は、上記定例会記載内容参照。</p> <p>(※事例検討は相談支援調整会議にて指定特定相談支援事業所とストレングスマodelに基づくグループスーパービジョンを8月26日実施。第2回を1月27日実施予定。)</p>

学校de移行ワーキング	計6開催 5月2日（金） 16：00～17：00 6月3日（火） 9：30～11：00 7月30日（水） 10：00～11：30 9月2日（火） 9：00～10：00 11月7日（金） 16：00～17：00 12月17日（水） 15：15～16：20	詳細は「ワーキング実施報告書」に記載 ○ワーキング企画イベント 「中原支援学校との座談会」を開催。 日 時：令和7年7月30日（水）10:00～11:30 内 容：研修（市相談支援体制、学校内の相談支援体制） グループワーク
-------------	--	---

【その他、次年度に向けて】

- ・中長期テーマ「知ろう」「考えよう」「やってみよう」を継続。
- ・令和8年2月24日 第1回定例会・事業所連絡会開催予定
- ・学校de移行ワーキング令和8年3月まで設置

中原区地域自立支援協議会 令和7年 学校de移行ワーキング実施報告書（案）

地域課題	<p>児から者への移行期および移行後の支援について、教育分野と障害福祉分野それぞれの支援方法や制度・サービス等活用できる社会資源について理解し合う。</p> <p>※計画書から転記</p>
目標	<p>移行後の生活を見据え、活用できる障害福祉サービスや制度等の社会資源、相談支援等の役割を知り、関係機関同士が連携して支援を行う。</p> <p>※計画書から転記</p>
取組経過	<p>(令和7年4月～12月までの取組経過について記載)</p> <p>○ワーキング開催 ⇒ 6回開催（5月、6月、7月、9月、11月、12月）</p> <p>○ワーキング企画イベント ⇒ 「中原支援学校との座談会」を開催。 目的：在学中および移行期の支援について、教育分野および障害福祉分野それぞれの支援方法や役割について知る。 日時：令和7年7月30日（水）10:00～11:30 参加：中原支援学校（分教室含む）：35名 中原区に所在する各地域相談支援センター相談員：7名 中部基幹相談支援センター相談員：2名 中部リハ（地域・在宅）：2名 区役所：2名 内容：研修（市相談支援体制、学校内での相談支援体制） グループワーク（知的部門高等部各学年と分教室の4グループに分かれて意見交換）</p> <p>○令和8年1月に、中原支援学校肢体部門の教職員を対象にした座談会を企画検討中。</p>
取組成果	<p>○障害分野からは、川崎市の相談支援体制の他、在学中および移行後の相談支援センターにおける支援内容や役割について事例を用いて説明した。アンケートの結果より、とてもわかりやすかったとの反応が多くあり、障害分野での支援方法等についての理解が促進された。</p> <p>○教育分野からは、中原支援学校での相談体制の説明があり、学校での地域連携のプロセス等を知る機会を得ることができた。</p> <p>○全体を通して、障害分野・教育分野それぞれの役割を理解し、地域と連携して支援を進めていくことの必要性について共有することができた。</p>
残された課題	<p>当初計画した令和8年1月に実施する、肢体部門の教職員を対象とした座談会の企画～実行～振り返りまで取り組んでいく予定。以降のワーキング設置に関して、区企画運営会議および定例会等で残された課題を含めて検討・確認。4月以降にワーキングとして取り組むかも含めて検討していく予定。</p>

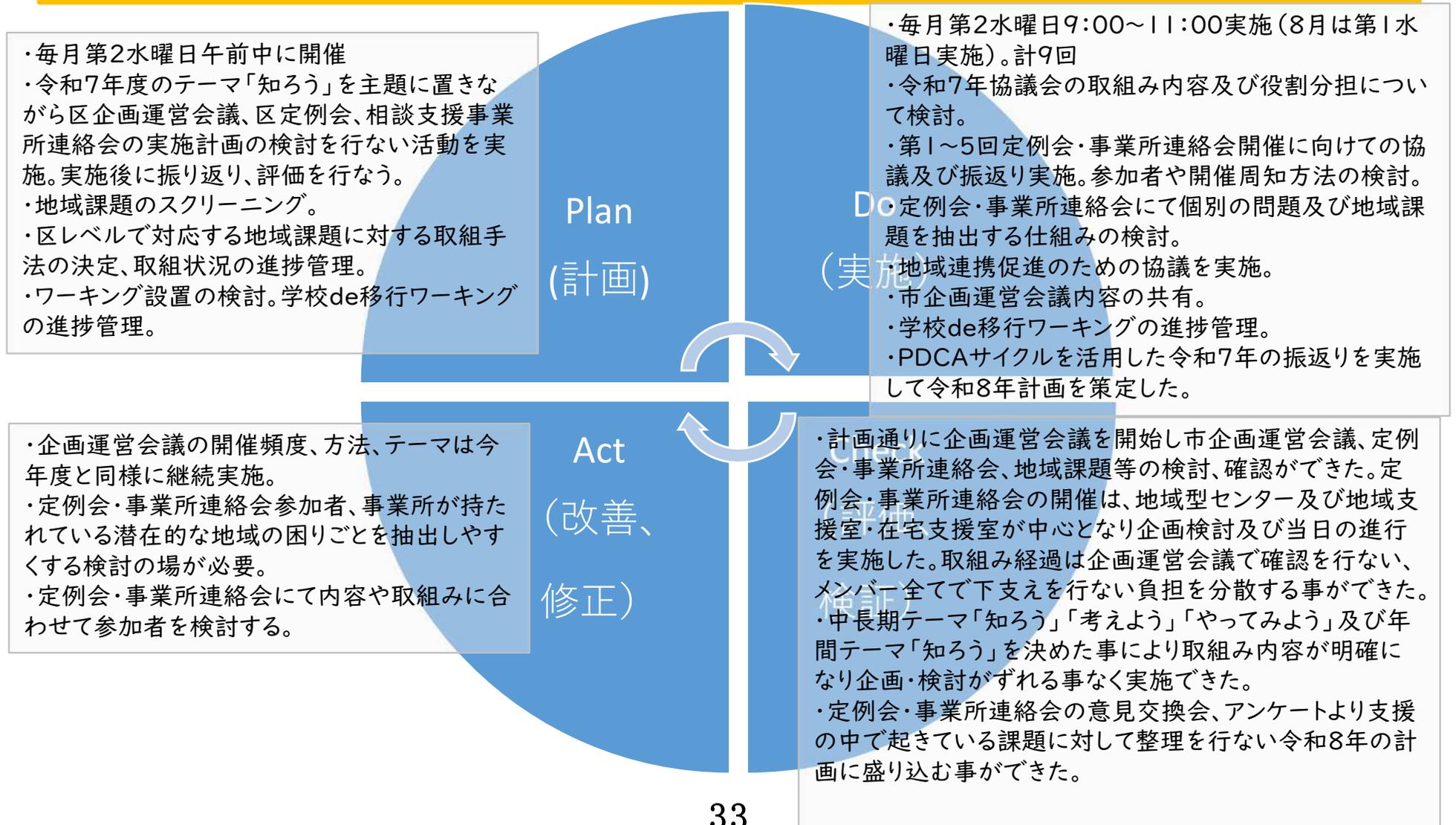
【令和7年 中原区地域自立支援協議会 企画運営会議】

取組の目的・目標

区協議会の円滑な運営

主な内容

区協議会全体の年間実施計画の作成、活動を実施、振り返り、評価、地域課題スクリーニング、区レベルで対応する地域課題に対する取組手法の決定、取組状況の進捗管理、ワーキングの設置・廃止の決定、各ワーキングにおける協議内容の進捗管理、市協議会への報告、意見取りまとめ、その他区協議会の運営に関すること



【令和7年 中原区地域自立支援協議会 定例会】

取組の目的・目標

区内の関係者と地域課題の共有及び相互の連携強化等を図る

主な内容

①区レベルで対応する地域課題のうち、必要な地域課題についての共有、意見聴取、②区企画運営会議、区ワーキングにおける協議事項についての報告、共有、③情報伝達、研修、④参加者間の交流、ネットワークづくり

・開催日及び開催月

5月27日(火)、7月22日(火)、9月、11月、12月23日(火)、2月24日(火)

・中長期テーマ「知ろう」「考えよう」「やってみよう」令和7年度主題は「知ろう」。

・主な活動内容は、「事例検討会の開催」「社会資源情報に関する取組み」「専門機関に関する取組み」「成年後見制度に関する取組み」を実施予定。

・実施内容は地域の支援者に関わるため定例会、事業所連絡会の区分けせず合同開催。

Plan
(計画)

○5月27日 第1回 定例会・事業所連絡会

・協議会の説明及び令和7年の取組み内容の意見抽出
・地域連携を深めるために各事業所説明及び交流会、名刺交換会を実施

○7月22日 第2回 定例会・事業所連絡会実施

・介護保険と障害福祉サービスの違いを事例を交えながら説明。
・加齢に伴う支援について意見交換会

○9月24日 第3回 定例会・事業所連絡会

・地域資源を知る「井田山ツアー」開催
見学事業所：中央療育センター入所・通園、もみの木、桜の丘

○11月27日 第4回 定例会・事業所連絡会

・中部リハビリテーションセンター機能について

○12月23日 第5回 定例会・事業所連絡会

・成年後見制度及びあんしんセンター事業に関する研修

・中長期テーマを継続。テーマに基づいた実施内容を検討する。多職種連携が図れるため、事業所連絡会との合同開催は継続する。

・令和7年実施内容より見えてきた課題に対する取組み。

・参加者メンバーからの地域課題の抽出と解決に向けての協議が必要。

・協議会開催日が他区と重なる事があるため計画策定時に近隣区状況を把握する。

Act
(改善、
修正)

Check
(評価、
検証)

・中長期テーマより「知ろう」及び令和6年度の地域課題から内容を企画運営会議及び協議会参加者と5月に決め計画通りに開催できた。

・参加者より事業所連絡会との合同開催にて多職種との連携が進んだ意見あり。

・内容に合わせた専門機関に協力を依頼して取り組むことができた。

【令和7年 中原区地域自立支援協議会 相談支援事業所連絡会】

取組の目的・目標

区内の相談支援事業所等の連携強化及び人材育成等を図る

主な内容

- ・事業所の支援状況等について共有し、事業所間の交流を深める
- ・相談支援に関する意見交換
- ・障害福祉サービスの情報交換（制度、報酬改定等）
- ・事例検討
- ・悩みごと相談会

・開催日及び開催月

5月27日（火）、7月22日（火）、9月、11月、12月23日（火）

・中長期テーマ「知ろう」「考えよう」「やってみよう」。令和7年度主題は「知ろう」。

・主な活動内容は、「事例検討会の開催」「社会資源情報に関する取組み」「専門機関に関する取組み」「成年後見制度に関する取組み」を実施予定。

・実施内容は地域の支援者に関わるため定例会、事業所連絡会の分けせず合同開催。

・（事例検討は、相談支援事業所連絡会で実施はせず中原区相談支援調整会議内でGSVによる事例検討を開催）。

Plan
(計画)

○5月27日 第1回 定例会・事業所連絡会

・協議会の説明及び令和7年の取組み内容の意見抽出
・地域連携を深めるために各事業所説明及び交流会、名刺交換会を実施

○7月22日 第2回 定例会・事業所連絡会実施

・介護保険と障害福祉サービスの違いを事例を交えながら説明
・加齢に伴う支援について意見交換会

○9月24日 第3回 定例会・事業所連絡会

・地域資源を知る「井田山ツアー」開催
見学事業所：中央療育センター入所・通園、もみの木、桜の丘

○11月27日 第4回 定例会・事業所連絡会

・中部リハビリテーションセンター機能について

○12月23日 第5回 定例会・事業所連絡会

・成年後見制度及びあんしんセンター事業に関する研修

（※指定特定との事例検討は相談支援調整会議にてGSVを8月に開催）

Check

・中長期テーマを継続。テーマに基づいた実施内容を検討する。多職種連携が図れるため、定例会との合同開催は継続する。

・相談支援専門員が抱える個別対応が出る地域の問題を出しやすい方法を取り組んでいく必要がある。また、事例検討の開催検討。

・他区との合同開催は先行している高津区・宮前区の実施が終了してから検討を行なう。

・協議会開催日が他区と重なる事があるため計画策定時に近隣区状況を把握する。

Act
(改善、
修正)

・中長期テーマより「知ろう」を中心に内容を企画運営会議及び協議会参加者と5月に全て決め計画通りに開催できた。
・区内の指定特定相談支援事業所は6割ほど参加しており支援力向上の機会を提供できた。

・定例会と合同開催のため児童、教育機関、高齢者支援等多職種と連携ができた。しかし、相談支援に関する課題抽出が難しかった。

・開催日が他区の協議会と重なる事が複数回あり。他区との合同開催も検討が必要。指定特定もメリットがあると考えられる。

【令和7年 中原区地域自立支援協議会 学校de移行ワーキング】

地域課題

見から者への移行期および移行後の支援について、教育分野と障害福祉分野それぞれの支援方法や制度・サービス等活用できる社会資源について理解し合う。

取組の目的・目標

移行後の生活を見据え、活用できる障害福祉サービスや制度等の社会資源、相談支援等の役割を知り、関係機関同士が連携して支援を行う。

設置期間：令和7年5月～令和8年3月
開催頻度：設置期間内に6回程度を予定

○委員及び事務局

中原支援学校、中原区地域型相談支援センター、中部在宅支援室、中原区役所、中部基幹相談支援センター

○主な取組み

- ・年2回（知的・肢体部門）座談会を開催
- ・障害福祉分野の相談支援機関との顔の見える関係の構築を図っていく。
- ・在学中または移行期の支援に必要な知識、その他にそれぞれの支援方法や役割等について知る機会を設ける。

- ・当初計画した令和8年1月に実施する、肢体部門の教職員を対象として座談会の企画～実行～振り返りまで取り組む予定。令和8年1月～3月はワーキングを設置して取り組みを継続していく。
- ・4月以降のワーキング設置に関して、企画運営会議および定例会等で残された課題を含めて検討・確認した上で協議していく。

Plan
(計画)

Do
(実施)

Act
(改善、
修正)

Check
(評価、
検証)

・ワーキングを 5月2日、6月3日、7月7日に開催し 中原支援学校との座談会に関する協議を中心に実施。

・中原支援学校との座談会
7月30日開催

中原支援学校及び分教室知的部門教員 35名（企画側を合わせると総数48名）

川崎市相談支援体制、中原支援学校内の相談体制に関する研修。学年及び分教室に分かれグループワークを実施。

・障害分野からは、川崎市の相談支援体制の他、在学中および移行後の相談支援センターにおける支援内容や役割について事例を用いて説明。アンケートの結果より、とてもわかりやすかったとの反応が多くあり、障害分野での支援方法等についての理解が促進された。

・教育分野からは、中原支援学校での相談体制の説明があり、学校での地域連携プロセス等を知る機会を得ることができた。

・全体を通して、障害分野・教育分野それぞれの役割を理解し、地域と連携して支援を進めていくことの必要性について共有することができた。

作成日：令和7年12月25日

	予定日時	内容・計画等
区定例会	2月24日（火） 5月26日（火） 7月28日（火） 9月 日付け未定 11月24日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・中原区地域自立支援協議会中長期テーマ「知ろう」「考えよう」「やってみよう」 ・実施内容は地域の支援者に関わるため定例会、事業所連絡会は区分けせず合同開催。 ・取組み内容は、今までの定例会・事業所連絡会で抽出された意見や地域の問題を企画運営会議内で整理を行ない、中原区協議会構成員メンバーと活動内容を考え活動していく。整理されている内容は、「介護保険に関する取組み」「ネットワークを促進するための社会資源交流」等。 ・11月の活動はまとめ及び次年度の計画について実施する予定。
区企画運営会議	毎月 第2水曜日 9：00 ～11：00 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> ・中原区地域自立支援協議会中長期テーマ「知ろう」「考えよう」「やってみよう」 ・区企画運営会議、区定例会、相談支援事業所連絡会、の年間実施計画・日時・参加者を決定、活動を実施、振り返り ・地域課題のスクリーニング ・区レベルで対応する地域課題に対する取組手法の決定、取組状況の進捗管理 ・ワーキング設置の検討 ・ワーキング進捗管理
相談支援事業所連絡会	2月24日（火） 5月26日（火） 6月23日（火） 7月28日（火） 9月 日付け未定 11月24日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・中原区地域自立支援協議会中長期テーマ「知ろう」「考えよう」「やってみよう」 ・相談支援事業所は地域の支援者とも関わるため定例会、事業所連絡会は区分けせず合同開催も実施する。 ・指定特定事業所は担当エリアが広いため他区との共催を模索する。 ・6月は事業所連絡会を単独開催の予定。
学校de移行ワーキング		詳細は「学校de移行ワーキング設置計画書」に記載

中原区地域自立支援協議会 令和8年 学校de移行ワーキング 設置計画書

地域課題	<p>児から者への移行期および移行後の支援について、教育分野と障害福祉分野それぞれの支援方法や制度・サービス等活用できる社会資源について理解し合う。（令和7年設置計画内容を継続）</p>
ワーキング設置の理由 (地域課題の説明)	<p>(令和6年度ワーキング取組から見えてきたこと) ・障害児から障害者への移行に向けて、移行後の生活を見据えてそれぞれの機関が連携して支援をしていく必要がある。しかし、移行後に活用する障害福祉サービス等の社会資源の知識が十分ではないことから、移行後の生活をイメージすることが難しかったり、在学中に支援を提供していく中で、相談支援や計画相談を利用することで、実際にどう支援が進んでいくのかわからず、支援の連携が難しい場合がある。（令和7年設置計画内容を継続）</p>
目標	<p>移行後の生活を見据え、活用できる障害福祉サービスや制度等の社会資源、相談支援等の役割を知り、関係機関同士が連携して支援を行う。 (令和7年設置計画書内容を継続)</p>
取組手法、内容	<p>○中原区内にある特別支援学校に協力いただき、教育分野の支援機関と障害福祉分野の相談支援機関との顔の見える関係の構築を図っていく。 ○在学中または移行期の支援に必要な知識、その他にそれぞれの支援方法や役割等について知る機会を設ける。</p> <p>(取組内容) 令和8年1月28日(水)午後を予定 中原支援学校および分教室に所属する肢体部門の教職員を対象</p>
設置期間	令和8年1月～令和8年3月
開催頻度・開催予定	設置期間内に1回程度を予定（ワーキング企画のイベントを除く）

作成日：令和7年12月1日

	実施日時	内容・まとめ等
区企画運営会議	9回開催 4月9日、5月7日、 6月4日、7月2日、 8月6日、9月3日、 10月1日、11月5日、 12月3日、	<p>【実行】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月第1水曜日13：30～15：00で実施。 ・役割分担・スケジュール決定 (基幹と区役所は以下の全てに関わっていく) ・定例会：主担当まいうえい。8/26、1/19開催。 構成員全員で直接事業所訪問し協議会周知活動実施。 ・事業所連絡会：主担当すいせん。宮前と合同開催1回、単独開催1回計2回開催。 ・ワーキング：主担当ほあり。12/15開催。高齢分野主担当：すえなが地域包括支援センター。 課題整理グループ：主担当中部リハ（在宅支援室、地域支援室）。 ・高津区メーリングリスト運営管理：主担当すいせん。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間を1時間半に増やしたことで、話の内容をより細かく詰めることが出来るようになった。 ・前回の振り返り、今後について確認出来る流れは良かった。 ・所属機関を超えて、お互いの意見を伝え合える雰囲気を作れているのは良い。 ・お互いの役割を理解して最低ラインを下回らないように活動出来た。 ・運営会議等のメンバーについての検証が必要。 (生活支援拠点事業所等) ・相談員から地域課題の吸い上げが少なくあまり出来ていなかった。 ・来年の各会議体等についての進め方について 継続も含めて検証する。 ・事務局員であんどもを管理運営できる人を増やすことが出来た。 <p>【改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早めの年間計画スケジュールの立案 ・課題抽出についてももう少し具体的な策が必要。 ・運営会議等のメンバーを拡げていく方法の手段を確認し検討する。 ・地域課題について委託、基幹だけではなく 他職種、当事者、地域住民から聞く場・機会の設定。 (企画運営会議、ワーキング、定例会等) ・各種会議の意義と内容を改めて確認する。 ・あんどの活用について、意見交換の場が必要。
区定例会	1回開催 8月26日 13:30～16:30 (次回1月19日に開催)	<p>【実行】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年2回開催予定（1回目8/26、2回目1/19）。 ・中部基幹・まいうえい事前打合せ実施（4/23）。 ・ワールドカフェ方式を取り入れることや高津区役所を知るミニ講座などを検討。あんどの広報も提案。 ・1回目定例会のアンケート内容を受けて2回目に反映させ参加者ニーズに応える工夫を取り入れる。 ・7月企画運営会議でテーマ決め。「日々の支援で工夫して上手くいったことの共有」というテーマでのGW開催（ワールドカフェ形式）。協議会の周知活動と定例会チラシ配布を直接訪問形式で実施。 ・中部基幹・まいうえい事前打合せ実施（8/1）。定例会実施案の原案検討。 ・8月企画運営会議で定例会実施案承認。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回目の定例会チラシを協議会周知活動を兼ねて事業所に訪問して配布を実際に行ったことで参加者が増えた。 ・区内52 日中支援事業所に事務局メンバーが訪問し、直接手渡しでチラシを配布し、協議会について説明し普及啓発を実施。 ・参加：日中支援27事業所30名、相談分野16名、全46名参加。 ・ワールドカフェ形式で色々な人と話せて好評だった。 ・行政によるミニ講座が好評だった。 ・参加者同士で横のつながりが出来た。 ・日中活動先だけではなく、色々な機関（グループホームや児童等）が集まる機会の提供は必要。 ・同じような企画が社協主催で交流会等行っていることを今後どのように考えていくか ・あんどもを定例会で配布、4事業所の登録あり。 ・あんどの登録が少なく、なかなか活性化に繋がらない。

		<p>【改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回定例会アンケート結果を参考に次の第2回定例会に繋げていけると良い。 ・協議会がメインでやるようなことを企画する。 ・地ケア室に市の協議会や他区での取り組みを定例会で説明してもらう機会を作る。 ・定例会などであんの活用について、意見交換の場が必要 ・第2回定例会実施後のふりかえりについては、1月以降となるためその時のアンケート結果や評価をもとに、来年の在り方を検討していく。
相談支援事業所連絡会	<p>1回開催</p> <p>10月28日 13:30～16:00</p> <p>(次回は2月24日に他区と合同で開催予定)</p>	<p>【実行】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高津区事業所連絡会10/28開催予定。 ・7/2企画運営会議で内容検討・アイディア出し。 ・中部基幹と主担当(すいせん)とで事前打合せ実施(6/5、7/24)。内容、スケジュール、準備事項等について検討、確認。 ・8月企画運営会議に提案する実施案として、テーマについては、事業所ミニお悩み相談会(題材カードも準備)を検討。 ・建設的な意見交換ができるよう題材カードを作成し事前に用意する工夫を取り入れて実施する。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10/28開催。9事業所20名(実習1名) ・参加者が昨年度の2回目より増えている。 ・事前打ち合わせを細目に行いながら計画通り準備を進めることが出来ている。 ・グループワークが活発になるような工夫を取り入れ、社会資源、事例についての相談事をGWで行い活発だった。 ・課題抽出の観点からも1回目は上半期に行った方が良い。 ・早めの広報した方が良い。(業務の調整をしてもらいやすい。) ・2026.2.24に宮前区との合同事業所連絡会を開催予定。研修とグループワークでの企画を進めている。 <p>【改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催時期、内容などについて他区等の差別化が図れるように確認し、参加者にメリットを感じることが出来る内容の検討が必要。 ・アンケートの意見を参考に内容の検討が必要。 ・連絡会の参加者メンバーの検討。 ・個別事例から地域課題を抽出する流れを作るのであれば、相談員が集まる当日の場で抽出シートを手にしながら取り組む必要がある。・他区合同形式については、実施後に来年の在り方を検討することとする。
高齢分野との連携ワーキング	<p>8回開催</p> <p>5月27日、6月16日、7月24日、9月25日、10月23日、11月14日、12月4日、12月15日(12月15日は全体会として高齢・障害分野意見交換会開催)</p> <p>(次回1月13日実施予定)</p>	<p>【実行】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中部基幹と高齢側担当すえなが包括、障害側担当ほありで事前打合せ開催(5/27) ・「高齢分野と障害分野の意見交換会」(ワーキング全体会)を12/15開催予定。 ・対象：地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、指定特定相談支援事業所、区ケースワーカー、地域相談支援センター、基幹相談支援センター、中部リハセンター ・障害側、高齢側ともに関心の高い「高次脳機能障害ミニ講座」とそれを受けてのGW(包括、居宅、指定特定、委託相談、行政、中部リハ、中部基幹)を企画。事例を通してのミニ講座と、それぞれの分野での専門機関との連携などについてのGW。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2025.12.15に開催。障害14名・高齢25名出席。6グループでGW実施。高次脳機能障害の支援、移行期支援での制度の切り替えなどについて活発に意見交換がされた。 ・2025.5月よりワーキング9回実施。 ・初回の会議を早めに行ったことで余裕のあるスケジュールで準備することが出来た。 ・昨年のアンケート結果を基に障害、高齢分野に共通するテーマで内容を決めることが出来た。 ・高齢との連携はどこの地区でも課題になることが双方の共通認識。 ・2026.1.13に振り返り実施予定：グループ記録、アンケート結果より成果、課題を確認する。 <p>【改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢との連携については何らかの形で継続していくことについて検討が必要。

【その他、次年度に向けて】

- ・R7年とR8年の締め時期の変更に伴い1月～3月はR7年度末までの計画が残っている為その予定を取り組む
- ・定例会、事業所連絡会、ワーキングについては、1月～3月の間での開催がある為、開催後のふりかえりの結果を受けて、R8年の在り方を検討していく

高津区地域自立支援協議会 令和7年高齢分野との連携ワーキング実施報告書

地域課題	地域生活を送る上で、複合的な生活課題や家族を含めた世帯支援を必要とするケースが多くある。分野を超えたそれぞれの支援事業所同士が制度や支援方針・手法、活用資源を理解し合う必要がある。
目標	地域包括支援センター・居宅介護支援事業所等の高齢分野支援者と障害者相談支援センターや指定特定相談支援事業所等の障害分野支援者が、お互いの業務やそれぞれの分野の制度や活用できるサービスを知り、円滑な連携を行えるようにする。
取組経過	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中部基幹と高齢側担当すえなが包括、障害側担当ほありで事前打合せ開催(5/27) ・ 「高齢分野と障害分野の意見交換会」(ワーキング全体会)を12/15開催予定を決定。 ・ 対象：地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、指定特定相談支援事業所、区ケースワーカー、地域相談支援センター、基幹相談支援センター、中部リハセンター ・ 障害側、高齢側ともに関心の高い「高次脳機能障害ミニ講座」とそれを受けてのGW(包括、居宅、指定特定、委託相談、行政、中部リハ、中部基幹)を企画。事例を通してのミニ講座と、それぞれの分野での専門機関との連携などについてのGWの開催を企画。 ・ R7年5月よりワーキングを9回実施(R8年1月は19日に予定)。 ・ 初回の会議を早めに行ったことで余裕のあるスケジュールで準備することが出来た。 ・ 昨年のアンケート結果を基に障害、高齢分野に共通するテーマで内容を決めることが出来た。
取組成果	<ul style="list-style-type: none"> ● R7年12月15日に全大会を開催。参加者：高齢分野24名、障害分野15名。地域包括支援センター、居宅介護事業所、指定特定相談支援事業所、リハビリ支援拠点施設、区ケースワーカー、地域相談支援センター、基幹相談支援センター、中部リハセンターといった幅広い分野の事業所の方々が参加する会を開催することができた。 ● 地域包括支援センターと地域型、基幹型相談支援センター、区役所(高齢と障害の各担当)が事務局となり、障害側、高齢側が共に関心の高い高次脳機能障害者の支援や手法についてのミニ講座とグループワークで意見交換を実施。活発に情報共有、意見交換がされた。 ● R8年1月13日にグループ記録、全体記録、アンケート集計を基に振り返り実施し、取り組み成果を確認しワーキングのあり方を検討する。
残された課題	ワーキングとしては1～3月までが設置計画に含まれている期間のため、来年予定している1月19日のワーキングふりかえり会議を実施してから、来年4月以降のあり方について検討することとする。R8年4月以降でワーキング設置計画を立てる可能性もあり。

【令和7年 高津区地域自立支援協議会 企画運営会議】

取組の目的・目標

区協議会の円滑な運営

主な内容

区協議会全体の年間実施計画の作成、活動を実施、振り返り、評価、地域課題スクリーニング、区レベルで対応する地域課題に対する取組手法の決定、取組状況の進捗管理、ワーキングの設置・廃止の決定、各ワーキングにおける協議内容の進捗管理、市協議会への報告、意見取りまとめ、その他区協議会の運営に関すること

- ・企画運営会議協議時間を今年度30分延長(13:30~15:00)。
- ・区事務局会議、区定例会、相談支援事業所連絡会、の年間実施計画・日時・参加者を決定、活動を実施、振り返り、評価。
- ・地域課題のスクリーニング。
- ・区レベルで対応する地域課題に対する取組手法の決定、取組状況の進捗管理。
- ・ワーキング設置の検討および設置ワーキング進捗管理。
- ・高津区情報共有ツール「メーリングリストあんど」の取組状況の共有。活性化に向けた検討。

Plan
(計画)

- ・毎月第1水曜日13:30~15:00で実施。
- ・役割分担・スケジュール決定
(基幹と区役所は以下の全てに関わっていく)
- ・定例会:主担当まいうえい。8/26、1/19開催。構成員全員で直接事業所訪問し協議会周知活動実施。
- ・事業所連絡会:主担当すいせん。宮前と合同開催1回、単独開催1回計2回開催。
- ・ワーキング:主担当ほあり。12/15開催。高齢分野主担当:すえなが地域包括支援センター。課題整理グループ:主担当中部リハ(在宅支援室、地域支援室)。
- ・高津区メーリングリスト運営管理:主担当すいせん。

Do
(実施)

- ・早めの年間計画スケジュールの立案
- ・課題抽出についてもう少し具体的な策が必要。
- ・運営会議等のメンバーを拡げていく方法の手段を確認し検討する。
- ・地域課題について委託、基幹だけではなく他職種、当事者、地域住民から聞く場・機会の設定。(企画運営会議、ワーキング、定例会等)
- ・各種会議の意義と内容を改めて確認する。
- ・あんどの活用について、意見交換の場が必要。

Act
(改善、
修正)

- ・時間を1時間半に増やしたことで、話の内容をより細かく詰めることが出来るようになった。
- ・前回の振り返り、今後について確認出来る流れは良かった。
- ・所属機関を超えて、お互いの意見を伝え合える雰囲気を作れているのは良い。
- ・お互いの役割を理解して最低ラインを下回らないように活動出来た。
- ・運営会議等のメンバーについての検証が必要。
(生活支援拠点事業所等)
- ・相談員から地域課題の吸い上げが少なくあまり出来ていなかった。
- ・来年の各会議体等についての進め方について 継続も含めて検証する。

Check
(検証)

43 ・事務局員であんどを管理運営できる人を増やすことが出来た。

【令和7年 高津区地域自立支援協議会 定例会】

取組の目的・目標

区内の関係者と地域課題の共有及び相互の連携強化等を図る

主な内容

①区レベルで対応する地域課題のうち、必要な地域課題についての共有、意見聴取、②区企画運営会議、区ワーキングにおける協議事項についての報告、共有、③情報伝達、研修、④参加者間の交流、ネットワークづくり

区内の関係者と地域課題の共有及び相互連携強化等を図ることを目的に、高津区で上がっている地域課題に併せて区企画運営会議にて、今年度の内容を検討調整していく。

- ・地域の日中活動先との繋がりを更に深める
- ・ニーズを反映させた開催内容
- ・協議会自体の広報、周知活動
- ・高津区情報共有ツール「メーリングリストあんど」の普及と事業所情報の発信、収集
- ・頻度は今年度年2回（上期、下期1回ずつ）
- ・第4火曜 13:30～16:30
保健ホール（参加人数により変更あり）

Plan
(計画)

- ・年度で2回開催（1回目8/26、2回目1/19）。
- ・中部基幹・まいうえい事前打合せ実施（4/23）。
- ・ワールドカフェ方式を取り入れることや高津区役所を知るミニ講座などを検討。あんどの広報も提案。
- ・1回目定例会のアンケート内容を受けて2回目に反映させ参加者ニーズに応える工夫を取り入れる。
- ・7月企画運営会議でテーマ決め。「日々の支援で工夫して上手くいったことの共有」というテーマでのGW開催（ワールドカフェ形式）。協議会の周知活動と定例会チラシ配布を直接訪問形式で実施。
- ・中部基幹・まいうえい事前打合せ実施（8/1）。定例会実施案の原案検討。
- ・8月企画運営会議で定例会実施案承認。

Do
(実施)

- ・第1回定例会アンケート結果を参考に次の第2回定例会に繋げていけると良い。
- ・協議会がメインでやるようなことを企画する。
- ・地ケア室に市の協議会や他区での取り組みを定例会で説明してもらう機会を作る。
- ・定例会などであんどの活用について、意見交換の場が必要
- ・第2回定例会実施後のふりかえりについては、1月以降となるためその時のアンケート結果や評価をもとに、来年の在り方を検討していく。

Act
(改善、修正)

- ・1回目の定例会チラシを協議会周知活動を兼ねて事業所に訪問して配布を実際に行ったことで参加者が増えた。
- ・区内52 日中支援事業所に事務局メンバーが訪問し、直接手渡ししてチラシを配布し、協議会について説明し普及啓発を実施。
- ・参加：日中支援27事業所30名、相談分野16名、全46名参加。
- ・ワールドカフェ形式で色々な人と話せて好評だった。
- ・行政によるミニ講座が好評だった。
- ・参加者同士で横のつながりが出来た。
- ・日中活動先だけではなく、色々な機関（グループホームや児童等）が集まる機会の提供は必要。
- ・同じような企画が社協主催で交流会等行っていることを今後どのように考えていくか
- ・あんどを定例会で配布、4事業所の登録あり。
- ・あんどの登録が少なく、なかなか活性化に繋がらない。

【令和7年 高津区地域自立支援協議会 相談支援事業所連絡会】

取組の目的・目標

区内の相談支援事業所等の連携強化及び人材育成等を図る

主な内容

- ・事業所の支援状況等について共有し、事業所間の交流を深める
- ・相談支援に関する意見交換
- ・障害福祉サービスの情報交換（制度、報酬改定等）
- ・事例検討
- ・悩みごと相談会

・事業所の支援状況等について共有し、事業所間の交流を深められるよう下記取り組みを企画。
高津区では、年2回開催予定。
他区との合同開催を1~2回予定。

<高津区事業所連絡会>

- ・事業所紹介
- ・情報共有と意見交換
- ・事例検討

<他区合同事業所連絡会>

- ・事業所紹介
- ・情報共有と意見交換
- ・研修、学習会
- ・第4火曜日13:30~16:30 保健ホール

Plan
(計画)

Do
(実施)

- ・高津区事業所連絡会10/28開催。
- ・7/2企画運営会議で内容検討・アイデア出し。
- ・中部基幹と主担当(すいせん)とで事前打合せ実施(6/5、7/24)。内容、スケジュール、準備事項等について検討、確認。
- ・8月企画運営会議に提案する実施案として、テーマについては、事業所ミニお悩み相談会(題材カードも準備)を検討。
- *建設的な意見交換ができるよう題材カードを作成し事前に用意する工夫を取り入れて実施する。

・開催時期、内容などについて他区等の差別化が図れるように確認し、参加者にメリットを感じることが出来る内容の検討が必要。

- ・アンケートの意見を参考に内容の検討が必要。
- ・連絡会の参加者メンバーの検討。
- ・個別事例から地域課題を抽出する流れを作るのであれば、相談員が集まる当日の場で抽出シートを手にしながら取り組む必要がある。
- ・他区合同形式については、実施後に来年の在り方を検討することとする。

Act
(改善、修正)

Check
(評価)

- ・10/28開催。9事業所20名(実習1名)
- ・参加者が昨年度の2回目より増えている。
- ・事前打ち合わせを細目に行いながら計画通り準備を進めることが出来ている。
- ・グループワークが活発になるような工夫を取り入れ、社会資源、事例についての相談事をGWで行い活発だった。
- ・課題抽出の観点からも1回目は上半期に行った方が良い。
- ・早めの広報した方が良い。
(業務の調整をしてもらいやすい。)
- ・2026.2.24に宮前区との合同事業所連絡会を開催予定。研修とグループワークでの企画を進めている。

【令和7年 高津区地域自立支援協議会 高齢分野と障害分野との連携ワーキング】

地域課題

地域生活を送る上で、複合的な生活課題や家族を含めた世帯支援を必要とするケースが多くある。分野を超えたそれぞれの支援事業所同士が制度や支援方針・手法、活用資源を理解し合う必要がある。

取組の目的・目標

地域包括支援センター・居宅介護支援事業所等の高齢分野支援者と障害者相談支援センターや指定特定相談支援事業所等の障害分野支援者が、お互いの業務やそれぞれの分野の制度や活用できるサービスを知り、円滑な連携を行えるようにする。

- ・頻度：5月～年度末まで毎月1回開催予定。
- ・構成：地域包括支援センター、地域相談支援センター、区（高齢者支援、障害者支援）、基幹相談支援センター
- ・分野を超えた支援者に障害者相談支援センター、区障害者支援担当等が支援方針・手法、障害支援制度を言語化して説明する。
- ・高齢分野支援者と顔が見える場を作り、それぞれの支援方針・手法を知る。
- ・継続的に連携が取れる場を設定し相互理解を深めて、地域課題解決に向けた取組みを行なう。

Plan
(計画)

Do
(実施)

- ・中部基幹と高齢側担当すえなが包括、障害側担当ほありて事前打合せ開催(5/27)
- ・「高齢分野と障害分野の意見交換会」(ワーキング全体会)を12/15開催。
- ・対象：地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、指定特定相談支援事業所、区ケースワーカー、地域相談支援センター、基幹相談支援センター、中部リハセンター
- ・障害側、高齢側ともに関心の高い「高次脳機能障害ミニ講座」とそれを受けてのGW(包括、居宅、指定特定、委託相談、行政、中部リハ、中部基幹)を企画。事例を通してのミニ講座と、それぞれの分野での専門機関との連携などについてのGW。

- ・高齢との連携については何らかの形で継続していくことについて検討が必要。

Act
(改善、
修正)

Check
(評価、
検討)

- ・2025.12.15に開催。
- ・障害24名高齢19名参加。6グループでGW実施。高次脳機能障害の支援、移行期支援での制度の切り替えなどについて活発に意見交換がされた。
- ・2025.5月よりワーキング9回実施。
- ・初回の会議を早めに行ったことで余裕のあるスケジュールで準備することが出来た。
- ・昨年のアンケート結果を基に障害、高齢分野に共通するテーマで内容を決めることが出来た。
- ・高齢との連携はどここの地区でも課題になる。
- ・2026.1.13に・2026.1.13に振り返り実施予定：グループ記録、アンケート結果より成果、課題を確認する。

作成日：令和7年12月1日

	予定日時	内容・計画等
区企画運営会議	毎月 第1水曜日 13:30 ～15:00	<ul style="list-style-type: none"> ・区事務局会議、区定例会、相談支援事業所連絡会、の年間実施計画・日時・参加者を決定、活動を実施、振り返り、評価 ・地域課題のスクリーニング ・区レベルで対応する地域課題に対する取組手法の決定、取組状況の進捗管理 ・ワーキング設置の検討および設置ワーキング進捗管理 ・メーリングリスト「あんど」の取組状況の共有。活性化に向けた検討。 ・運営会議のメンバーの検討 ・他職種、地域住民等に話を聞く場の検討
区定例会	上・下半期 各期1回 第4火曜 13:30～16:30 保健ホール ※参加人数により 会場の変更あり	区内の関係者と地域課題の共有及び相互連携強化等を図ることを目的に、高津区で上がっている地域課題に併せて区企画運営会議にて内容を検討調整していく。
相談支援事業所連絡会	高津区単独では 年1～2回開催予定 他区との合同開催 を1～2回予定 第4火曜日 13:30～16:30 保健ホール	<p>高津区単独開催（1～2回、1回目は上半期に開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所紹介 ・情報共有と意見交換 ・事例検討 <p>他区合同事業所連絡会（1回実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所紹介 ・情報共有と意見交換 ・研修
高齢分野との連携 ワーキング	R8年1月～3月 ワーキングふりか えり会議開催予定	・12/15ワーキング全体会議（高齢分野と障害分野の意見交換会）開催した後、令和8年1/13に、ふりかえり会議を実施予定。令和8年4月以降のあり方について検討する。

作成日：令和7年12月19日

	実施日時	内容・まとめ等
区定例会	計2回開催 第1回6月10日 第2回12月23日 14:00～16:30	第1回 定例会 6月10日（火）14時から16時30分 宮前区役所大会議室で開催 「依存症支援って何するの？」川崎市総合リハビリテーション推進センター こころの健康課こころの健康支援担当 野口氏 ・協議会説明・依存症者支援に関してグループワーク 23事業所27名参加就労系事業所11事業所グループホーム 2事業所、地域包括支援センター6事業所 第2回 定例会 12月23日（火）14時から16時30分 宮前区役所大会議室で開催 「防災について考える」 ・被災者体験談・・・地域相談支援センターシリウス 牛尾氏 ・グループワーク・・・発災時対応シミュレーション ※詳細はPDCAサイクル参照
区企画運営会議	計9回開催 4月8日, 5月13日 6月3日, 7月1日 8月12日, 9月2日 10月7日, 11月4日 12月2日 13:30～17:00 ※太字は課題整理実施月	・各種会議報告、定例会、相談支援事業所連絡会、包括的相談支援ワーキング取組み内容協議、実施後の振り返りを実施。 ・地域課題スクリーニング表(1)について共通認識し、(2)について協議。今年度は7月2件、8月1件、9月2件、10月3件、12月3件の計11件あがる。 ※詳細はPDCAサイクル参照
相談支援事業所連絡会	計3回開催 第1回5月13日 第2回7月22日 第3回11月4日 15:00～17:00	・5月13日（火）15:00～17:00 第1回内容：自己紹介、各事業所の近況報告令和7年度宮前区相談支援事業所の内容について、相談支援なんでも相談会（GW）指定特定9事業所14名参加 ・7月22日（火）15:00～17:00 第2回内容：宮前区の相談支援体制紹介、令和6年度の活動報告 委託相談支援センター（れもん、ポポラス、シリウス、中部基幹） 宮前区役所、中部リハ（地域支援室、在宅支援室）6事業8名参加 ・11月4日（火）15:00～17:00 第3回内容 事例検討会 生活支援センターきまっしー大坪氏より事例提供 70代女性療育手帳所持の公営住宅単身生活者への支援について 指定特定11事業所14名 地域包括支援センター4事業所5名 企画運営事務局メンバー7機関15名参加。 ※詳細はPDCAサイクル参照
民生委員・児童委員連携ワーキング	・6月2日14時～15時（区役所にて打ち合わせ） ・6月18日10時～12時 ・8月20日10時～12時 ・9月17日10時～11時半 ・10月15日10時～12時 ・12月2日13時半～14時（区役所にて振り返り） ・12月17日10時～12時	有馬第二団地ネットワークミーティングに出席し地域住民や関係機関との交流をはかる。その中で障がいについての勉強会を企画し「第1回障がいのことを知る・聞く・話す会」9月17日に開催する。主に精神障害についての内容であったがミニグループワークも行い好評であった。R8 1月21日に第2回目を予定している。ネットワークミーティングには偶数月第3水曜日に今後も参加予定。 ※詳細はPDCAサイクル参照
医療連携ワーキング	①10月2日13時半～14時45分 ②10月28日15時～16時	①東横恵愛病院へのヒアリング：東横恵愛病院にて地域ケア推進課、地域支援課、高齢・障害課（江口係長）が病院の今後の地域連携に関する取組についてヒアリングを実施。令和5年度の医療連携ワーキングの実績もあり今後についての展望について情報交換。 ②新光会早期地域対応部の活動内容を生田病院井上氏とみのり訪問看護ステーションの小川氏より説明していただく今後医療連携ワーキングとして医療機関のアウトリーチとどのように連携していくか情報共有を行うことが出来た。

【その他、次年度に向けて】

- ・ワーキングについてはR7年度の2ワーキングを継続し活動内容を発展させていく。

<p>地域課題</p>	<p>公営住宅に支援を必要とする障害のある住民がおり地域で支える必要がある</p>
<p>目標</p>	<p>○地域の「知り合い」を増やしたい。当事者、行政、障害相談支援、地域包括が民生委員と地域の現状や課題を共有する。地域の関係機関や様々な社会資源とつながる。</p>
<p>取組経過</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月2日14：00～15：00 有馬第二団地ネットワーク会議精神分野の活動に関する打ち合わせ、富士見プラザ地域包括4名、中部基幹2名、シリウス2名、精神保健係1名、地域ケア推進課1名、地域支援課1名参加 ・ 6月18日10：00～12：00有馬第二団地ネットワーク会議参加 9月17日開催予定の勉強会について企画経緯の説明、実施案の提示 ・ 7月23日～29日 チラシ作成後共有し修正 ・ 8月20日10：00～12：00有馬第二団地ネットワーク会議への参加 ・ 9月17日10：00～11：30第1回障がいのことを知る・聞く・話す会 参加者：地域住民20名【階段委員10名】関係機関20名 ・ 10月15日10：00～12：00有馬第二団地ネットワーク会議への参加 ・ 12月2日13：30～14：00第2回有馬第二団地ネットワーク会議について打ち合わせと今年度振り返り 宮前区役所にて企画運営会議メンバーと地域支援課2名で実施 ・ 12月17日10：00～12：00有馬第二団地ネットワーク会議への参加。
<p>取組成果</p>	<p>有馬第二団地ネットワークミーティングに隔月で参加したことで団地住民の地域活動や抱えている問題（住民の高齢化、障害者に対する知識不足）などを知ることが出来た。障がいのことを知る・聞く・話す会については初めての試みで事前申し込みではなくネットワーク会議に出席されている役員を通じて声掛けをしていただいた結果20名の方が参加してくれた。内容的には精神疾患（うつ、統合失調症）を中心とした基礎的なものであったがグループワークなども間にはさみ双方向でのやり取りも行うことが出来た。来年度1月21日に2回目を開催予定であるが地域住民と顔のみえる関係性を築くことで障害分野における地域づくりのきっかけとなる取組のノウハウを関係者で共有していく。</p>
<p>残された課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有馬第二団地と引き続きつながることで住民が相談しやすい関係性や地域課題の共有をはかっていく。 ・ 有馬第2団地での取り組みを他の地域に横展開し区内全域で顔のみえる関係性を構築していく。

<p>地域課題</p>	<p>区内設置されている精神科医療機関とGH等の社会資源の円滑な支援の移行</p>
<p>目標</p>	<p>医療機関・GH等の社会資源・相談支援事業所等が相互の役割・得意分野を認識することにより、必要な方に必要な支援を届け提案出来る支援体制の構築。</p>
<p>取組経過</p>	<p>①10月28日15：00～16：00 宮前区役所 4F第2会議室 新光会早期地域対応部活動の紹介 生田病院地域連携室井上氏 みのり訪問看護ステーション 向ヶ丘 小川氏 参加者：宮前区役所2名、中部地域支援室1名、中部基幹2名、れもん2名、シリウス2名、ポポラス2名 ②10月2日13：30～14：45東横恵愛病院へのヒアリング 参加者：東横恵愛病院 副院長兼事務長松崎氏、事務局西口氏、看護部長釜氏 宮前区役所地域みまもり支援センター 地域ケア推進課大木課長、飯島係長、栗野氏、地域支援課 加藤主任、高齢・障害課 江口係長</p>
<p>取組成果</p>	<p>①新光会早期地域対応部の2名を招いて活動紹介をしていただき様々な事例を紹介してもらうことで連携のイメージが幅広く持てた。本ワーキングを運営するうえで医療機関の協力は必須であるので今回の活動紹介を足掛かりに具体的な連携を深める取組につなげていく。 ②東横敬愛病院に医療連携ワーキングメンバーである江口係長も含めた行政関係者で訪問していただき東横恵愛病院の地域貢献に向けた考え方や連携に伴うすり合わせを行った。次年度に向けた動きとしては有馬第二団地ネットワーク会議に東横恵愛病院SWが参加し団地住民に対して病院の機能説明や退院支援の実情について説明をいただく予定。</p>
<p>残された課題</p>	<p>・困りごとを抱えながら支援につながる機会のない潜在的なニーズをもつ方々とどのようにつながるか具体的な活動を通じて課題に取り組む。</p>

【令和7年 宮前区地域自立支援協議会 企画運営会議】

取組の目的・目標

区協議会の円滑な運営

主な内容

区協議会全体の年間実施計画の作成、活動を実施、振り返り、評価、地域課題スクリーニング、区レベルで対応する地域課題に対する取組手法の決定、取組状況の進捗管理、ワーキングの設置・廃止の決定、各ワーキングにおける協議内容の進捗管理、市協議会への報告、意見取りまとめ、その他区協議会の運営に関すること

- ・区企画運営会議、区定例会、相談支援事業所連絡会の年間実施計画・日時・参加者を決定。企画を検討し活動を実施する。実施後には、振り返り及び評価を行う。
- ・ワーキング設置の検討、設置後の進捗管理、協議を行う。
- ・区レベルで対応する地域課題に対する取組手法の決定、スクリーニング表①②進捗管理。
- ・頻度は年8回

Plan
(計画)

- ・企画運営会議:4月8日、5月13日、6月3日、7月1日、8月12日、9月2日、10月7日、11月4日、12月2日
- 各種会議報告、定例会、相談支援事業所連絡会、民生委員、児童委員連携ワーキング、医療連携ワーキング取組み内容協議、実施後の振り返りを実施。
- ・課題整理4月8日、7月1日、8月12日、9月2日、10月7日、11月4日、12月2日に実施(スクリーニングシート作成し各センター代表と少人数で確認)

Do
(実施)

- ・より充実した話し合いができるよう、事前に検討事項や情報を共有し、各センターが事前に考えてくれるようにする。又、終了後、意見収集する。
- ・ワーキングの内容から、センターの負担感に差が生じており、見直しが必要。
- ・市の協議会へあげるべき内容の確認も実施していく。
- ・企画運営会議と相談支援事業所連絡会は、日にちを分けての開催を検討する。

Act
(改善、
修正)

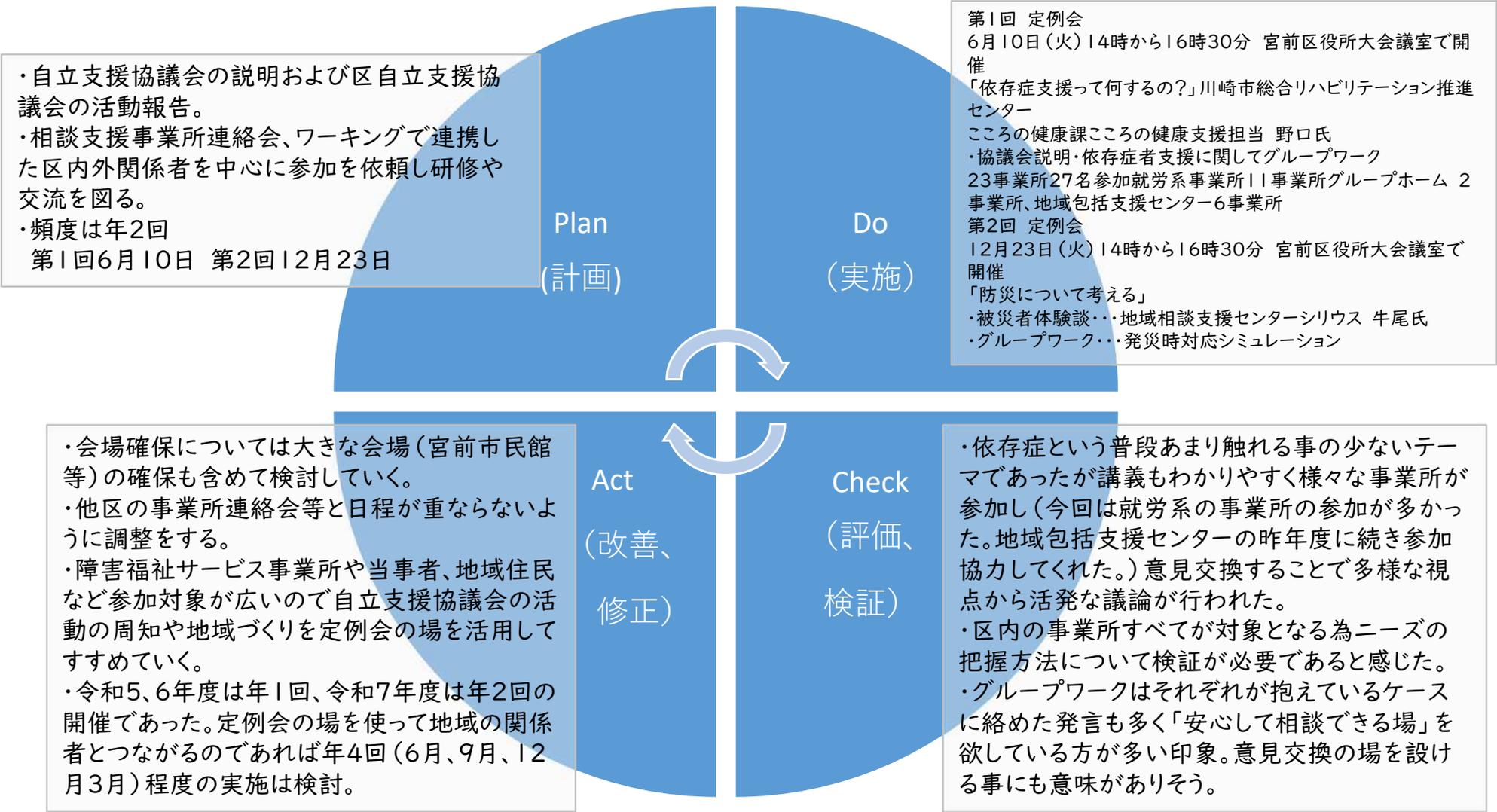
- ・各企画の主担当を決めたことで、主体的かつ効率的に会の企画を進められているが、企画が多く、各センターの負担・負担分散については検討が必要。
- ・都度の計画に追われた印象。より、全体的な計画を立てられると良かった。負担軽減のため、企画内容をより明確にし、準備を早めに取り組むことができる良い。
- ・企画運営会議と相談支援事業所連絡会を同日に行う月は、会場準備もあるため時間が足りなかった。
- ・各企画や市協議会の記録等の事前共有があった為、会議で意見が出しやすかった。

Check
(評価、
検証)

【令和7年 宮前区地域自立支援協議会 定例会】

取組の目的・目標
 区内の関係者と地域課題の共有及び相互の連携強化等を図る

主な内容
 ①区レベルで対応する地域課題のうち、必要な地域課題についての共有、意見聴取、②区企画運営会議、区ワーキングにおける協議事項についての報告、共有、③情報伝達、研修、④参加者間の交流、ネットワークづくり



【令和7年 宮前区地域自立支援協議会 相談支援事業所連絡会】

取組の目的・目標

区内の相談支援事業所等の連携強化及び人材育成等を図る

主な内容

・事例検討、事業所間の交流、業務に必要な情報伝達、研修、個別事例への支援のあり方に関する協議・調整等。

・事業所の支援状況等について共有し、事業所間の交流を深める。
 ・相談支援に関する意見交換
 ・障害福祉サービスの情報交換(制度、報酬改定等)
 ・事例検討
 ・内容は昨年度事業所連絡会アンケートも参考
 ・頻度は年4回(5月13日、7月22日、11月4日、2月24日)※2月については高津区との合同開催。

Plan
(計画)

・5月13日(火)15:00~17:00
 第1回内容:自己紹介、各事業所の近況報告
 令和7年度宮前区相談支援事業所の内容について、相談支援なんでも相談会(GW)
 指定特定9事業所14名参加
 ・7月22日(火)15:00~17:00
 第2回内容:宮前区の相談支援体制紹介
 令和6年度の活動報告
 委託相談支援センター(れもん、ポポラス、シリウス、中部基幹)
 宮前区役所、中部リハ(地域支援室、在宅支援室)6事業8名参加

Act
(実施)

・11月4日(火)15:00~17:00
 第3回内容:事例検討会
 事例提供者:生活支援センターきまっしー大坪氏
 70代 女性 療育手帳所持
 公営住宅単身生活
 生活介護事業所通所中ケースの支援に関して
 指定特定相談支援事業所 11事業所14名
 地域包括支援センター 4事業所5名
 企画運営事務局メンバー 7機関15名

・開催日が重ならないように他区との調整が必要ではないか。例えば中部エリア3区合同で行う。5月(宮前区主催)、10月(高津区主催)、2月(中原区主催)で開催してみる。
 ・企画の段階から指定特定の方にも参加してもらい有意義な会になるようにする。また指定特定の方の希望を聞いて(アンケートの結果等)開催内容に反映させていく。
 ・地域包括支援センターの方に参加してもらったので高齢側の企画に参加することも必要ではないか。
 ・事例によっては、様々な関係機関(介護保険側、病院CW、療育センター、生活介護等の施設職員)に声かけをしてもよいのではないか。
 ・企画運営会議と同日だと準備等でタイトになるために別日開催でもよいかもしれない。また相談支援体制の紹介のような内容のときはオンラインでもよいのではないか。

Act
(改善、修正)

・開催日が他区と重なってしまい参加者が全体的に少なくなった可能性があるのではないか。
 ・GWは顔の見える関係作りになり、事業所同士の悩みや意見を共有することができてよい機会になっているために今後も双方向のコミュニケーションのとれる場を作っていくことがよいのではないか。
 ・令和3年度10月の障害者相談支援センター再編からの変化を協議会メンバー自身が確認することができ、外部にも示すことができた。
 ・高齢分野にも関わる事例検討の回では移行期は複雑で学びが多く、地域包括支援センターも参加してもらったことで話し合いに深みがでて有意義な時間になった。
 ・テーマ設定がその都度になり、準備に余裕がなかった。
 ・困難事例を抱えている方は多いと思われるために今後も事例提供の呼びかけを行いたい。
 ・2月に予定していた高津区との合同開催は実施できなかった。

【令和7年 宮前区地域自立支援協議会 民生委員・児童委員連携ワーキング】

地域課題

公営住宅に支援を必要とする障害のある住民がおり地域で支える必要がある。

取組の目的・目標

入居抽選のない公営住宅へ障害のある方が新規入居する状況があり障害特性上様々な配慮や支援が必要。お互いが住みやすい地域にするために民生委員・児童委員と地域の現状や課題を共有し地域の関係機関や様々な社会資源とつながる。

○地域の「知り合い」を増やしたい。

アウトリーチの手法で取り組む。

- ①有馬第二団地ネットワーク会議への参加。
自治会役員、民生委員児童委員、各棟責任者と顔の見える関係性の構築をはかる。隔月第3水曜日10:00~12:00
- ②公営住宅エリア担当民生委員・児童委員向けの障害者への理解を深める出張相談会、勉強会の開催。
「障害のことを知る聞く話す会」
9月17日(水)10:00~11:30

・地域住民の生活状況を鑑みて、勉強会の開催時間は妥当かの検討が必要。
・ネットワーク会議で話題に挙がったことや勉強会の開催内容によって、現在参加している関係機関以外にも、医療機関を初め、様々な地域の関係機関や社会資源と繋がれるように、新たに参加依頼をしていけると良い。一方で、新しい参加者への声かけや当日の入り方・役割については、ネットワークミーティングの場等で事前に考えていく必要がある。

Plan
(計画)

Do
(実施)

Act
(改善、
修正)

Check
(評価、
検証)

- ・6月4日(水)14:00~15:00 有馬第二団地ネットワーク会議
精神分野の活動に関する打ち合わせ
富士見プラザ地域包括4名中部基幹2名、シリウス2名、
精神保健係1名、地域ケア推進課1名、地域支援課1名参加
- ・6月18日(水)10:00~12:00
有馬第二団地ネットワーク会議参加
- 9月17日(水)開催予定の勉強会について
企画経緯の説明、実施案の提示
- ・7月23日~29日 チラシ作成後共有し修正
- ・8月20日(水)10:00~12:00
有馬第二団地ネットワーク会議への参加
- ・9月17日(水)10:00~11:30
第1回 障がいのことを知る・聞く・話す会
有馬第二団地地域住民20名、関係機関20名参加
- ・10月15日(水)10:00~12:00
有馬第二団地ネットワーク会議参加
- ・12月17日(水)10:00~12:00
有馬第二団地ネットワーク会議参加

・本ワーキングでは、有馬第二団地の方々とは「知り合い」、繋がりをもつ取り組みとすることができた。勉強会やネットワーク会議を通じて、地域住民との顔の見える関係づくりを行いながら、障害とは何かについて共に考える機会となっている。
・今後、どのような形で交流を継続し、発展させていくか丁寧に検討していくことが必要。
・また、他のエリアではどのように繋がりがもてるかも課題として挙げられる。現在関わりのある民生委員への相談・聴き取りや、市営住宅ごとの会議やイベントの情報収集等を行いながら、機会を模索していく。

【令和7年 宮前区地域自立支援協議会 医療連携ワーキング】

地域課題

区内設置されている精神科医療機関とGH等の社会資源の円滑な支援の移行

取組の目的・目標

医療機関・GH等の社会資源・相談支援事業所等が相互の役割・得意分野を認識することにより、必要な方に必要な支援を届け提案できる支援体制の構築を目標とする。

令和5年度に東横恵愛病院PSWをメンバーに加え設置。更なる連携強化の必要性を感じ再設置。
・医療機関職員を巻き込んだワーキングとする。
・東横恵愛病院以外にも声をかけ支援者の範囲を拡大する。
・医療機関同士の連携や医療機関と社会福祉機関との連携について事例などを用いて協議し考え方のすり合わせを行う。
・上記を通じて顔の見える関係の醸成をはかる。

Plan
(計画)

・6月3日:具体的に声をかけるべき支援機関の調整。
・8月26日:参加支援機関の顔合わせ及び目的の確認。
・10月28日 15:00~16:00
宮前区役所4F第2会議室
新光会 早期地域対応部 活動の紹介
生田病院地域連携室 井上氏
みのり訪問看護ステーション向ヶ丘 小川氏
参加者:宮前区役所2名、中部地域支援室1名、中部基幹2名、れもん2名、シリウス2名、ポポラス2名

Do
(実施)

・ワーキングによって生じうる負担について、今年度を踏まえて、事前に調整できるとよい。
・潜在ニーズにつながった事例や活動から、具体的な関わり方法を知り、支援方法についての知識の幅を広げられるとよい。
・本ワーキングがどの地域課題への取り組みとなるのか検討・精査が必要。
・ワーキングを通じ、相談支援事業所と地域医療機関における、相互の役割機能を理解し、連携を深めていけるとよい。

Act
(改善、
修正)

・スムーズにワーキングを進めるためには、事前に丁寧な打ち合わせの時間が必要だった。
・「困り感を抱えているが、支援につながる機会がない」など地域で潜在的ニーズを持つ方々とどうつながるか、について改めて考える良い機会になった。
・ワーキングで扱った事例は個別性が高く、どのように地域課題に落とし込むかが検討が必要。
・ワーキングを通じて抽出された地域課題をどのように扱っていくか。地域の専門職と具体的にどのような連携ができるのかが課題。

Check
(評価、
検証)

作成日：令和7年12月19日

	予定日時	内容・計画等
区定例会	年3回開催予定 (第4火曜日) 第1回 4月28日 (火) 第2回 7月28日 (火) 第3回 11月24日 (火)	(第1回) ・令和7年度自立支援協議会の報告と令和8年度の計画説明 ・令和7年度地域課題からテーマを設定しグループワーク ・地域課題の共有、意見聴取 (第2回) ・区企画運営会議、区ワーキングにおける協議事項についての報告、共有 ・令和7年度地域課題からテーマを設定しグループワーク ・地域課題の共有、意見聴取 (第3回) ・区企画運営会議、区ワーキングにおける協議事項についての報告、共有 ・令和7年度地域課題からテーマを設定しグループワーク ・地域課題の共有、意見聴取
区企画運営会議	毎月開催第1または第2 火曜日13時半～ ①1月6日②2月3日③3月 3日④4月7日⑤5月12日 ⑥6月2日⑦7月7日⑧8月 4日⑨9月1日⑩10月6日 ⑪11月10日⑫12月1日	・区企画運営会議、区定例会、相談支援事業所連絡会、の年間実施計画・日時・参加者を決定、活動を実施、振り返り、評価 ・ワーキング設置の検討 ・地域課題のスクリーニング ・区レベルで対応する地域課題に対する取組手法の決定、取組状況の進捗管理
相談支援事業所連絡会	年4回開催 第1回 2月24日 (火) 第2回 5月26日 (火) 第3回 8月25日 (火) 第4回 10月27日 (火) AMまたはPM2時間程度の開催。会場は区役所または市民館等。 ※共催によって日程の変更有	他区と内容やテーマの重複や同月や同日での単独開催とならないように可能な範囲で調整する。共催については各区のこれまでの経過を考慮しつつ2区共催、3区共催等柔軟に模索する。 第1回 2月24日 (火) 高津・宮前共催 「障がい者への就労支援について」・就労選択支援についての講義 (ルミノーズ宮前平) ・就労支援についてのグループワーク 第2回 未定 第3回 未定 第4回 未定
民生委員・児童委員 連携ワーキング	①有馬第二団地ネットワーク会議への参加 (偶数月10時～12時) 有馬第二団地集会所 ②企画運営会議内で情報共有 ③勉強会・相談会の開催 (不定期)	昨年度の取組を深め発展させるためワーキングを継続する。 ・第2回市営有馬第二団地住民向け講座「障がいのことを知る・聞く・話す会」 1月21日 (水) 10時～11時30分 市営有馬第二団地集会所 ・小規模な相談会の開催 ・市営有馬第二団地での取り組みをモデルケースに他の地域でも横展開を検討する。 ※詳細は「ワーキング設置計画書」
医療連携ワーキング	①東横恵愛病院との連携 (不定期) ②生田病院との連携 (不定期)	令和7年度精神科病院からヒアリングしたことを具体的なワーキング活動に発展させるためワーキング継続する。 ①生田病院・みのり訪問看護の「新光会早期地域対応部」との情報共有や連携。 ②東横恵愛病院のSWを窓口に関係員や病棟医療スタッフと地域との連携について検討する (SWが第2回有馬第二団地住民向け講座にも参加予定) ※詳細は「ワーキング設置計画書」

宮前区地域自立支援協議会令和8年民生委員・児童委員連携ワーキング設置計画書

地域課題	公営住宅に支援を必要とする障害のある住民がおり地域で支える必要がある
ワーキング設置の理由 (地域課題の説明)	入居抽選のない公営住宅へ障害のある方が新規入居する状況があり障害特性上様々な配慮や支援が必要。お互いが住みやすい地域にするために民生委員・児童委員と地域の現状や課題を共有し地域の関係機関や様々な社会資源とつながる。
目標	○地域の「知り合い」を増やしたい。当事者、行政、障害相談支援、地域包括が民生委員と地域の現状や課題を共有する。地域の関係機関や様々な社会資源とつながる。
取組手法、内容	○有馬第二団地ネットワークミーティングへの参加（偶数月第3水曜日10時～12時） ・第2回市営有馬第二団地住民向け講座「障がいのことを知る・聞く・話す会」 令和8年1月21日（水）10時～11時半 市営有馬第二団地集会所 ・第3回市営有馬第二団地住民向け講座「障がいのことを知る・聞く・話す会」 日程未定 市営有馬第二団地集会所 ・住民向け相談会 日程未定
設置期間	令和8年1月～令和8年12月
開催頻度・開催予定	偶数月隔月 年6回開催予定

宮前区地域自立支援協議会 令和8年医療連携ワーキング設置計画書

地域課題	区内外に設置されている精神科医療機関とGH等の社会資源の円滑な支援の移行
ワーキング設置の理由 (地域課題の説明)	令和7年度ワーキングにて活動の紹介を受けた「新光会早期地域対応部」、令和5年度からつながりのある東横恵愛病院と引き続き連携することで医療機関と社会資源、地域住民と顔の見える関係性を作る。昨年度は地域とつながる具体的な活動には至らなかったため今年度もワーキングを設置したい。
目標	医療機関・GH等の社会資源・相談支援事業所等が相互の役割・得意分野を認識することにより、必要な方に必要な支援を届け提案できる支援体制の構築を目標とする。
取組手法、内容	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科病院との連携や社会福祉サービスの連携について事例などを用いて協議し考え方のすり合わせを行う。→新光会早期地域対応部 ・精神科病院の地域へのアウトリーチについてワーキングを通じて連携できる取り組みを検討していく。→東横恵愛病院（有馬第二団地ネットワーク会議にSWに参加してもらい地域と病院のギャップを埋める取組を行う） ・上記を通じて顔の見える関係性の醸成をはかる。
設置期間	令和8年1月～令和8年12月
開催頻度・開催予定	適宜・設置期間内に2～3回開催予定。

作成日：令和7年12月10日

	実施日時	内容・まとめ等
区定例会	令和7年4～12月は開催なし (令和8年1月26日 予定)	(令和8年1月26日予定) ・令和7年度 多摩区地域自立支援協議会の活動報告 ・虐待通報 ・グループワーク
区企画運営会議	9回開催 4月8日、5月13日、6月3日、7月1日、8月5日、9月2日、10月7日、11月4日、12月2日	【計画】 ・課題キャッチャーであがった課題が整理しきれず、課題キャッチャーに代わる課題の吸い上げ方法を変更する 【実施】 ・毎月第1火曜日13:30～15:20開催 ・各活動の進捗報告、意見交換 ・他都市の地域自立支援協議会を情報収集し、共有。他都市の地域自立支援協議会から課題共有シートの作成を行い、ネット上でも入力可能なものとした。相談支援事業所連絡会で周知し、相談支援事業所にも協力をお願いした。 【検証・評価】 ・課題共有シートをネット上で入力できるようにしたため、容易に課題が一覧、でき、事務局の中で共有がしやすくなった。 ・記載内容を簡略化することで課題をあげやすくなった。 【改善・修正】 ・課題共有シートをネット上で入力できるようにしたため、容易に課題が一覧、でき、事務局の中で共有がしやすくなった。 ・記載内容を簡略化することで課題をあげやすくなった。
相談支援事業所連絡会	3回開催 6月12日、9月10日、10月10日	①第1回 令和7年6月12日(木) 15事業所20名 全体42名 ・地域自立支援協議会・相談支援事業所連絡会について ・自己紹介 ・グループワーク ②第2回令和7年9月10日(水) ※多摩区主催 11事業所17名 全体38名 児童から成人 移行期について ・講話 北部児童相談所 相談支援第1係 内記係長 多摩区役所 地域支援課 地域サポート係 大橋主任 ・グループワーク ③第3回令和7年10月10日(金) ※麻生区主催 19事業所33名 全体48名(うち麻生区地域包括支援センター7事業所 16名参加) 高齢期への移行について ・講話 介護保険についてミニ講座(麻生区役所 高齢者支援係 瀬下係長) 障害高齢 連携プロジェクトについて(片平地域包括支援センター 池田センター長) 川崎市の相談支援体制について(北部基幹相談支援センター 平井事業長) ・グループワーク ④第4回令和8年2月12日(木) 予定

		<p>事務局会議 令和7年4月21日、6月3日、7月18日、9月19日、10月28日、令和8年(予定)</p> <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しく開設した指定特定相談支援事業所も来ていただき、横のつながりもできた。 ・今年度はじめて、多摩区麻生区で分けて開催をしたが、参加している事業所も顔ぶれは変わらなかった。 ・グループワーク内で、指定特定相談支援事業所内の主任相談支援専門員の方にも一部役割を担ってもらった。 <p>【改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加人数が増え、グループワークの時に聞こえづらいという声が毎回アンケートで聞かれた。会場の工夫も必要。
ワーキング		詳細は「ワーキング実施報告書」参照

【その他、次年度に向けて】

<ul style="list-style-type: none"> ・課題発見シートのさらなる運用。
--

多摩区地域自立支援協議会 令和7年ペット問題ワーキング実施報告書 様式7-2

<p>地域課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットを飼っている利用者が預け先がないため、体調を崩して入院が必要となっても入院しない（できない）。 ・利用者が体調を崩すと、ペットの世話ができなくなる。
<p>目標</p>	<p>各分野の事業所や病院関係などから聞き取りを行ない、実情の把握や現時点での社会資源の確認を行う。</p>
<p>取組経過</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に起こっているペット問題のケースの詳細を医療機関より聞き取る。 ・動物愛護センターアニマモール・多摩区役所地域みまもり支援センター衛生課・多摩区内のペットを扱う事業所（3か所）聞き取りをし、多摩区自立支援協議会のペット問題ワーキングの普及活動を行なった。 ・かわさき高齢者とペットの問題研究会主催「介護現場でのペット問題」研修に参加。 ・ペットに関わる多摩区内の機関や事業所紹介も含めた、かわさき犬・猫愛護ボランティアが作成している「残されるペットとあなたができること」やエンディングノートを元に飼っているペット情報を記入できるリーフレットを作成。 ・無償で預かってくれるところは現状ではなかったが、事前に一緒に考えてくれる機関はあった。
<p>取組成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リーフレットの作成。その中のお役立ち情報として、衛生課や動物愛護センターの役割や、多摩区内の事業所の案内も掲載した。 ・多摩区精神保健福祉連絡会議、北部メンタルヘルスネットワーク会議にてペット問題ワーキングの報告・発表・リーフレットの配布を行う予定。
<p>残された課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・無償で預かってくれるところはなかった。 ・事業所を訪問してみて、動物の需要が高いことも知った。

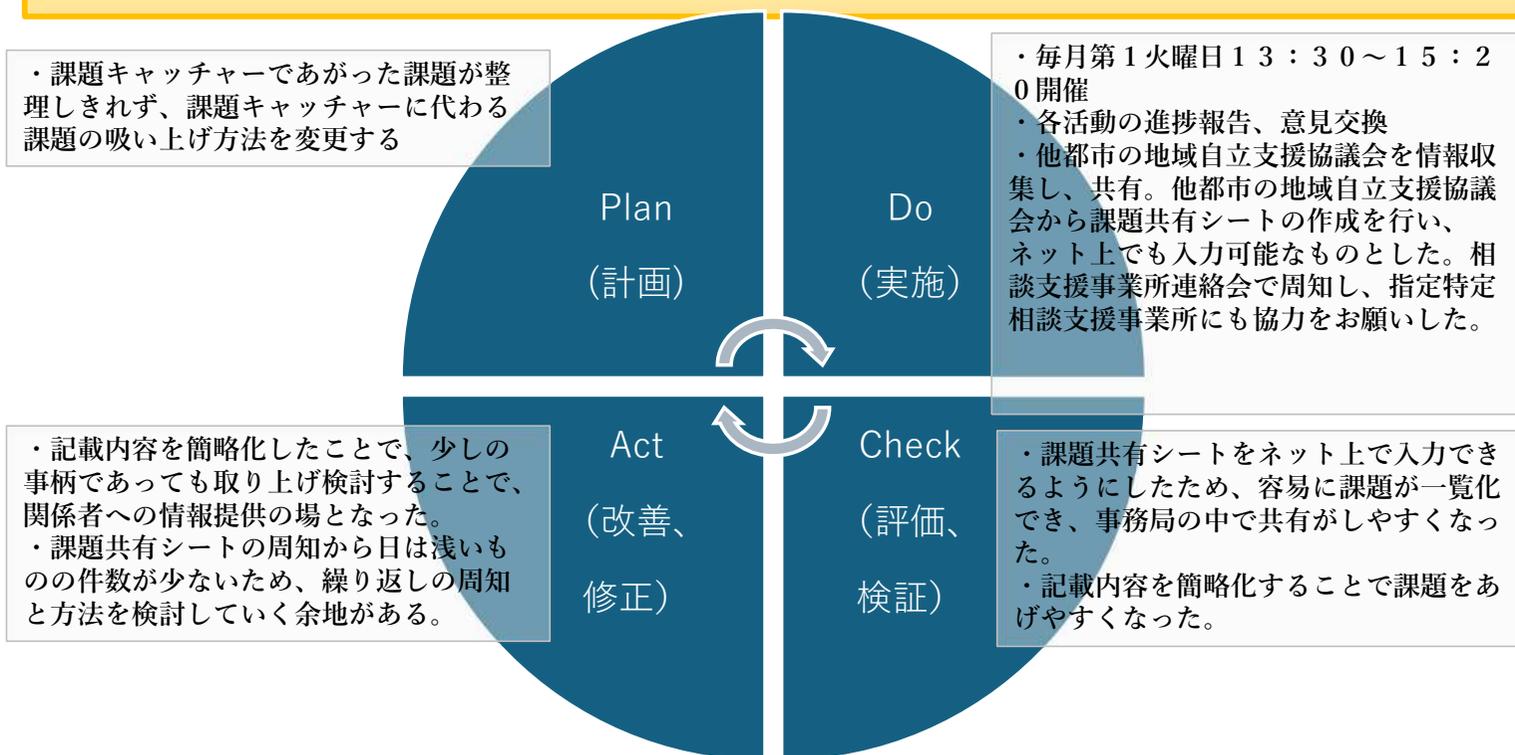
【令和7年 多摩区自立支援協議会 企画運営会議】

取組の目的・目標

区協議会の円滑な運営を図る。

主な内容

区協議会全体（区企画運営会議、区定例会、相談支援事業所連絡会、ワーキング）の年間実施計画の作成、活動の実施振り返り、評価。地域課題のスクリーニング。区レベルで対応する地域課題に対する取組手法の決定、状況の進捗管理。ワーキングの設置・廃止の決定、各ワーキングにおける協議会内容の進捗管理。市協議会への報告、意見とりまとめ。その他、区協議会の運営に関すること



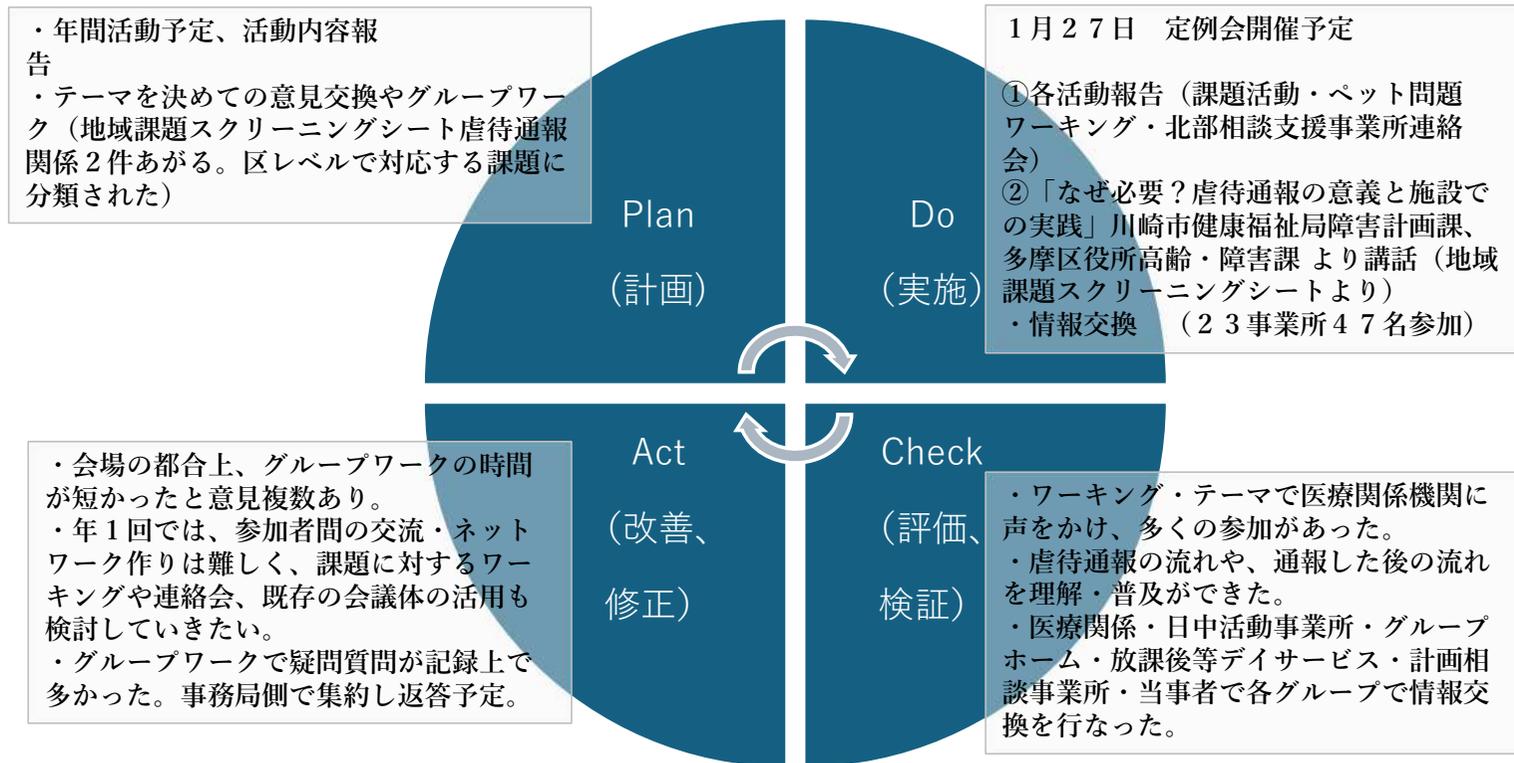
【令和7年 多摩区自立支援協議会 定例会】

取組の目的・目標

区内の関係者と地域課題の共有及び相互の連携強化等を図る

主な内容

区レベルで対応する地域課題のうち、必要な地域課題についての共有、意見聴取。区企画運営会議、区ワーキングにおける協議事項についての報告、共有。情報伝達、研修。参加者間の交流、ネットワークづくり等。



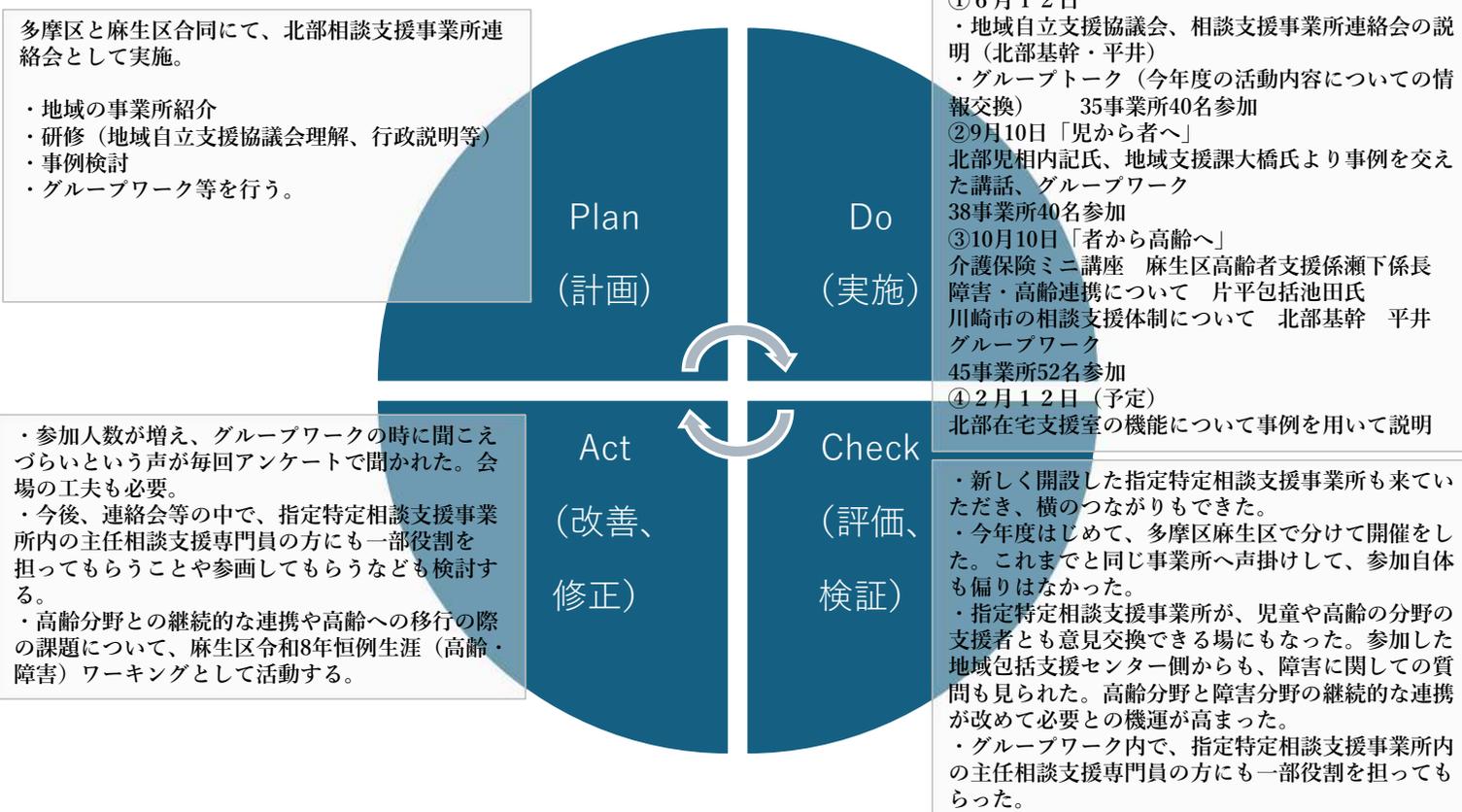
【令和7年 多摩区自立支援協議会 川崎市北部相談支援事業所連絡会】

取組の目的・目標

区内の相談支援事業所等の連携強化及び人材育成等を図る。

主な内容

事例検討、事業所間の交流、業務に必要な情報伝達、研修、個別事例への支援のあり方に対する意見交換。



【令和7年 多摩区自立支援協議会 ペット問題ワーキング】

取組の目的・目標

各分野の事業所や病院関係聞き取り、実情の把握や現時点での社会資源の確認を行なう。

主な内容

- 各分野の事業所や病院関係聞き取り実情の把握と問題の共有。
- 衛生課や動物愛護センターアニマモール川崎への相談内容等の聞き取り。
- ペットに関わって運営している、グループホームや生活介護事業所への聞き取り。
- 聞き取りをした内容をまとめ、預かり先のリスト化。

Plan
(計画)

- 各分野の事業所や病院関係に聞き取り、実情の把握と問題の共有。
- 衛生課や動物愛護センターアニマモール川崎への相談内容等の聞き取り。
- ペットに関わって運営している、グループホームや生活介護事業所への聞き取り。
- 手法として、連絡会・意見交換会の開催も考えられる。

Do
(実施)

- 動物愛護センターアニマモール・多摩区衛生課・多摩区内のペットを扱う事業所（3か所）に聞き取りをしに行い、多摩区自立支援協議会のペット問題ワーキングの普及活動を行なった。
- かわさき高齢者とペットの問題研究会主催「介護現場でのペット問題」研修に参加。
- 預け情報、ペットに関わる多摩区内の機関や事業所紹介・エンディングノートを元に飼っているペット情報を記入できるリーフレットを作成。

Check
(確認)

- 今後も関係機関と連携しながら、情報共有と課題整理を継続していきたい。
- 多摩区内の医療関係者に案内・啓発し、実際に使ってもらおう。
- 少しずつ配布の範囲広げていき、訪問系サービスの方にも案内していく。

Act
(改善)

- 無償で預かってくれるところは現状ではなかったが、事前に一緒に考えてくれる機関があることは分かった。
- 仮作成時に検討した結果、預かりボランティア先など内容の変更を余儀なくされた。
- ペット問題に関わってくださった方々とのネットワークは作ることができ、ワーキングメンバー以外でも共有することができた。
- 1月に行われた定例会で報告。訪問看護・訪問診療からリーフレットの配布の依頼があった。
- 多摩区精神保健福祉連絡会議・北部メンタルヘルスネットワーク会議でリーフレットの案内。

作成日：令和7年12月10日

	予定日時	内容・計画等
区定例会	年2回程度を予定	<ul style="list-style-type: none"> ・年間活動予定、活動内容報告 ・テーマを決めての意見交換やグループワーク
区企画運営会議	毎月／ 第1火曜日 13：30 ～15：20	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題の共有・検討 ・活動内容の確認・検討・評価 ・事業所連絡会の報告・確認 ・定例会の内容検討
相談支援事業所連絡会	適宜	<ul style="list-style-type: none"> ・地域自立支援協議会、相談支援事業所連絡会の説明 ・参加機関の紹介 ・事例検討等
ワーキング活動		年度頭では設置予定なし（年度途中で設置の可能性あり）

作成日：令和7年12月10日

	実施日時	内容・まとめ等
区定例会	1回開催 7月31日	<ul style="list-style-type: none"> ●地域自立支援協議会について説明 ●令和7年度 年間実施計画について ●「障害のある方の送迎を確保するために」 認定NPO法人療育ねっとわーく川崎 サポートセンター Rond 代表 谷氏 「移送サービスの地域での取り組みについて」 特定非営利法人ぶらりば 横田氏 ・移送支援について意見交換 ・30事業所32名 計45名参加
区企画運営会議	計9回開催 4月2日、5月7日、 6月4日、7月2日、 8月6日、9月3日 10月1日、11月5日 12月3日	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会の説明 ・参加者の紹介 ・市協議会報告 ・相談支援事業所連絡会、定例会の企画運営。 ・課題活動整理部会の進捗確認 ・地域課題の整理、検討
		<p>①第1回 令和7年6月12日(木) 15事業所20名 全体42名 ・地域自立支援協議会・相談支援事業所連絡会について ・自己紹介 ・グループワーク</p> <p>②第2回 令和7年9月10日(水) ※多摩区主催 11事業所17名 全体38名 児童から成人 移行期について ・講話 北部児童相談所 相談支援第1係 内記係長 多摩区役所 地域支援課 地域サポート係 大橋主任 ・グループワーク</p>

<p>相談支援事業所連絡会</p>	<p>計 3 回開催</p> <p>6月12日、9月10日 10月10日</p> <p>2月12日（予定）</p>	<p>③第3回令和7年10月10日（金）※麻生区主催 19事業所33名 全体48名（うち麻生区地域包括支援センター7事業所 16名参加） 高齢期への移行について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講話 ○介護保険についてミニ講座 （麻生区役所 高齢者支援係 瀬下係長） ○恒例生涯連携プロジェクトについて （片平地域包括支援センター 池田センター長） ○川崎市の相談支援体制について （北部基幹相談支援センター 平井） ・グループワーク <p>④第4回令和8年2月12日（木）予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅支援室の機能や役割について事例を用いて説明 ・情報交換 <p>事務局会議 令和7年4月21日、6月3日、7月18日、9月19日、10月28日、令和8年(予定)</p> <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しく開設した指定特定相談支援事業所も来ていただき、横のつながりもできた。 ・今年度はじめて、多摩区麻生区で分けて開催をしたが、参加している事業所も顔ぶれは変わらなかった。 ・グループワーク内で、指定特定相談支援事業所内の主任相談支援専門員の方にも一部役割を担ってもらった。 <p>【改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加人数が増え、グループワークの時に聞こえづらいという声が毎回アンケートで聞かれた。会場の工夫も必要。
<p>課題整理部会</p>	<p>計 9 回開催</p> <p>4月16日、5月21日 6月18日、7月16日 8月20日、9月17日 10月15日、11月19日 12月17日</p>	<p>第5次ノーマライゼーションプランの項目ごとに、これまでの地域課題を分類したシートを作成。</p> <p>企画運営会議構成機関の取り組みについてシートに記載・確認・整理。</p> <p>移送に関する課題が大きいことが改めて浮き彫りとなったため、福祉有償運送事業所への聞き取り、定例会で福祉有償運送事業所（通所通学支援事業所）から実情について話してもらい、関係機関と課題共有・事業所での取り組みを協議。</p> <p>区内全生活介護事業所に送迎に関するアンケート実施。</p> <p>第2回定例会にて関係機関の地域課題にたいする取り組みについて確認する予定。</p>

【その他、次年度に向けて】

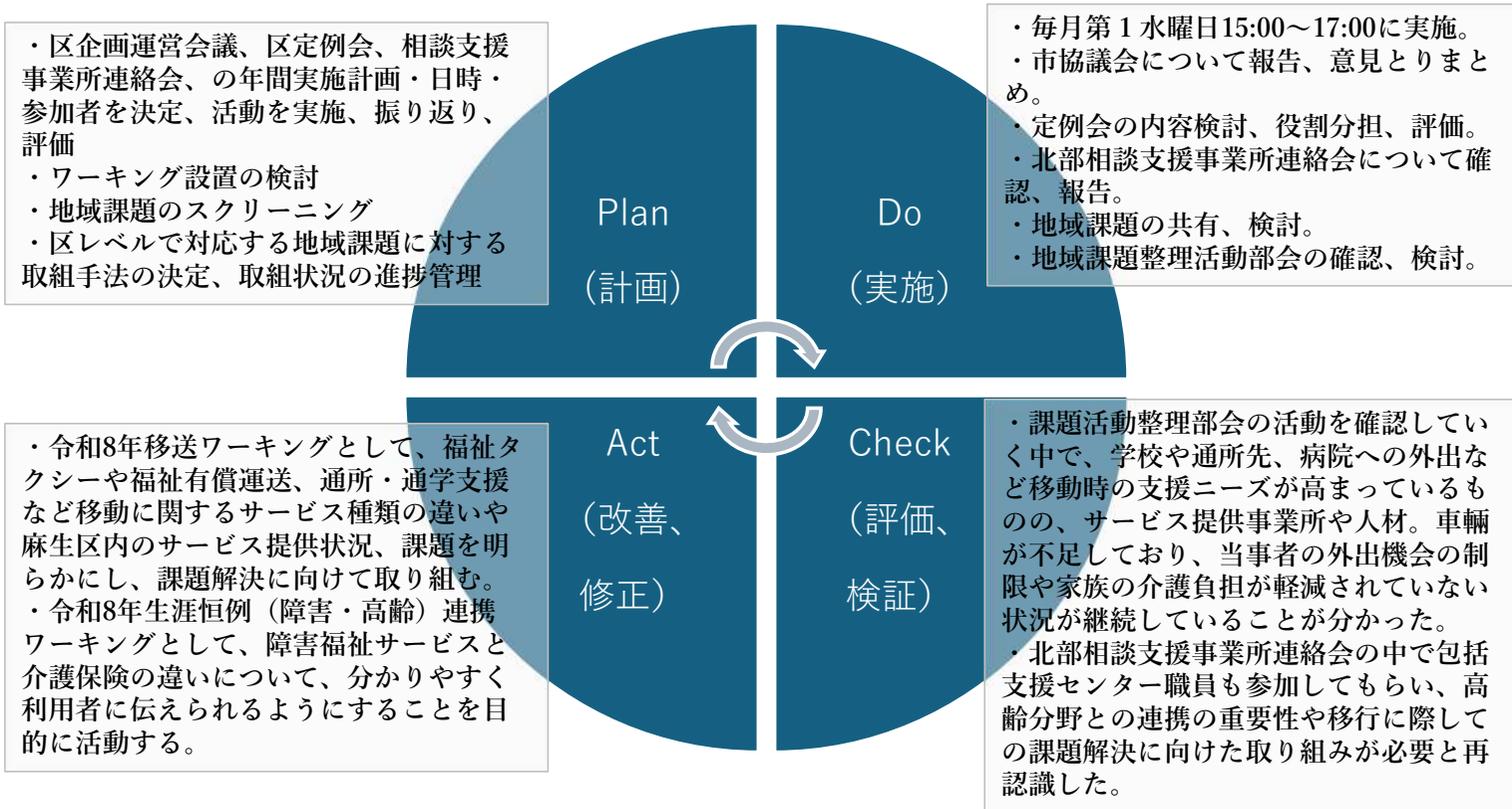
【令和7年 麻生区地域自立支援協議会 企画運営会議】

取組の目的・目標

麻生区地域自立支援協議会の円滑な運営。

主な内容

区協議会全体（区企画運営会議、区定例会、相談支援事業所連絡会、ワーキング）の年間実施計画の作成、活動の実施、振り返り、評価。地域課題のスクリーニング区レベルで対応する地域課題に対する取り組み手法の検討、決定。取り組み状況の進捗確認。ワーキングの設置、進捗確認、評価。



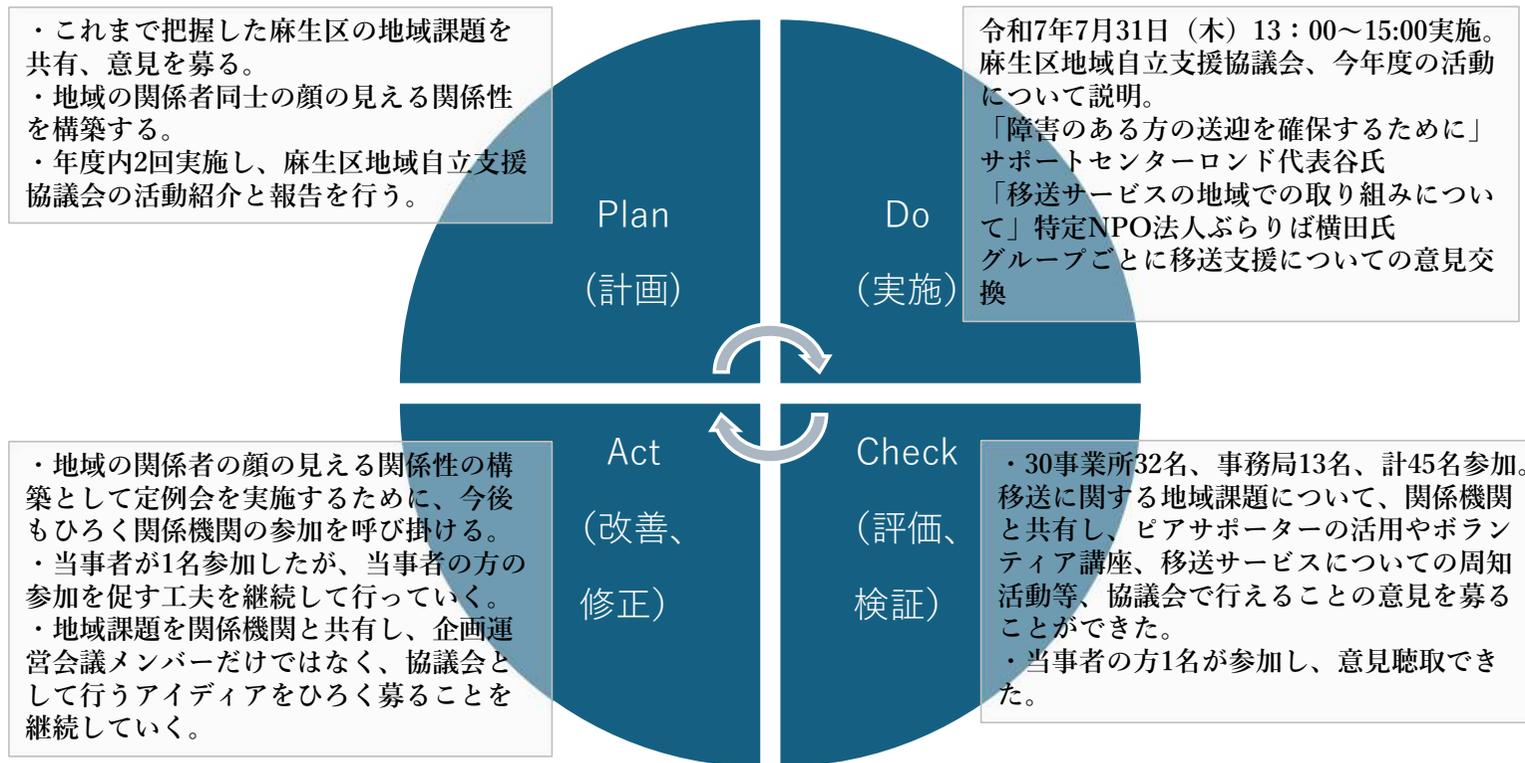
【令和7年 麻生区自立支援協議会 定例会】

取組の目的・目標

区内の関係者と地域課題の共有及び相互の連携強化を図る。

主な内容

区レベルで対応する地域課題のうち、必要な地域課題についての共有、意見聴取。区企画運営会議、区ワーキングにおける協議事項についての報告、共有。情報伝達、研修。参加者間の交流、ネットワークづくり。



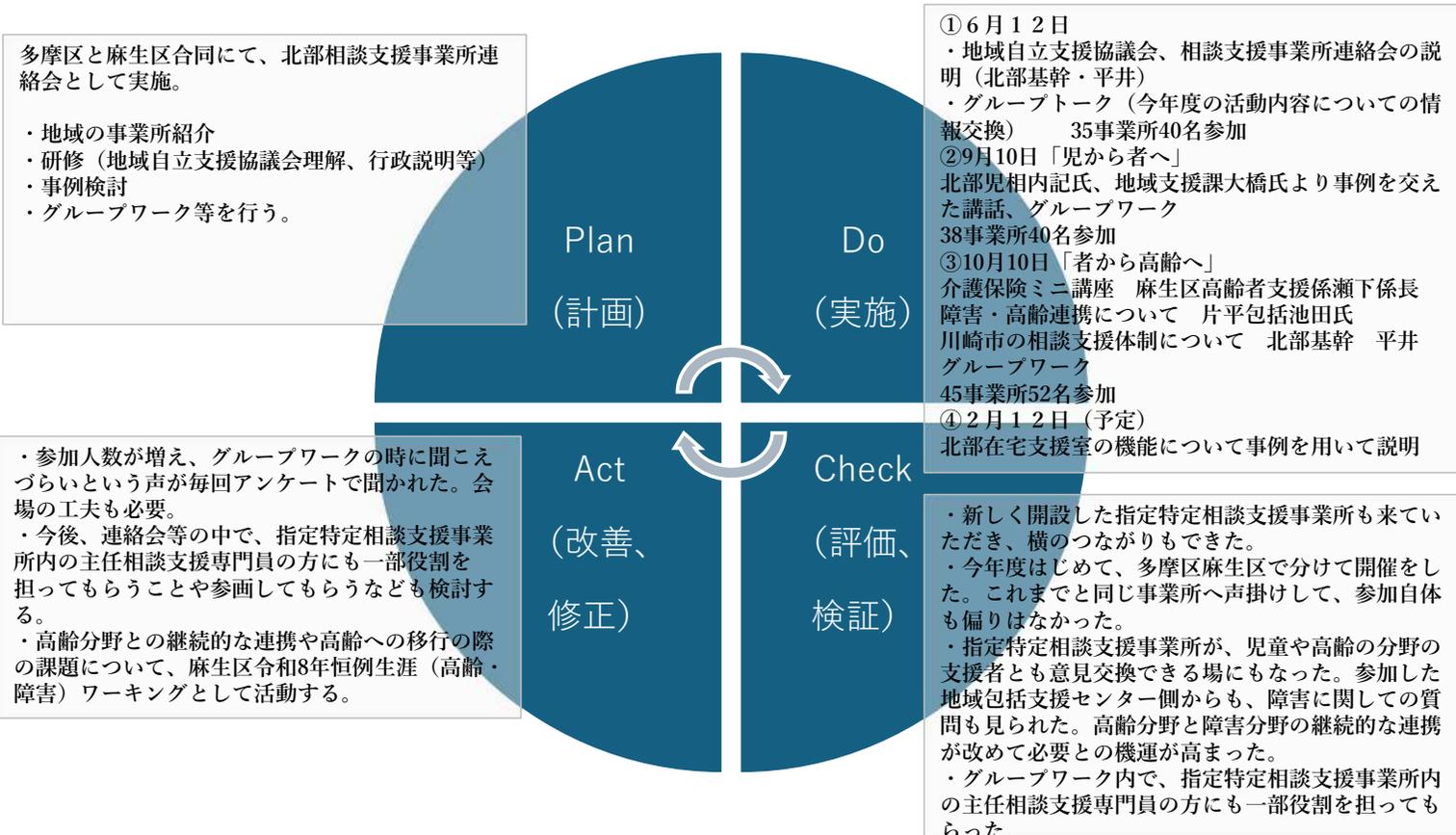
【令和7年 川崎市北部相談支援事業所連絡会】

取組の目的・目標

区内の相談支援事業所等の連携強化及び人材育成等を図る。

主な内容

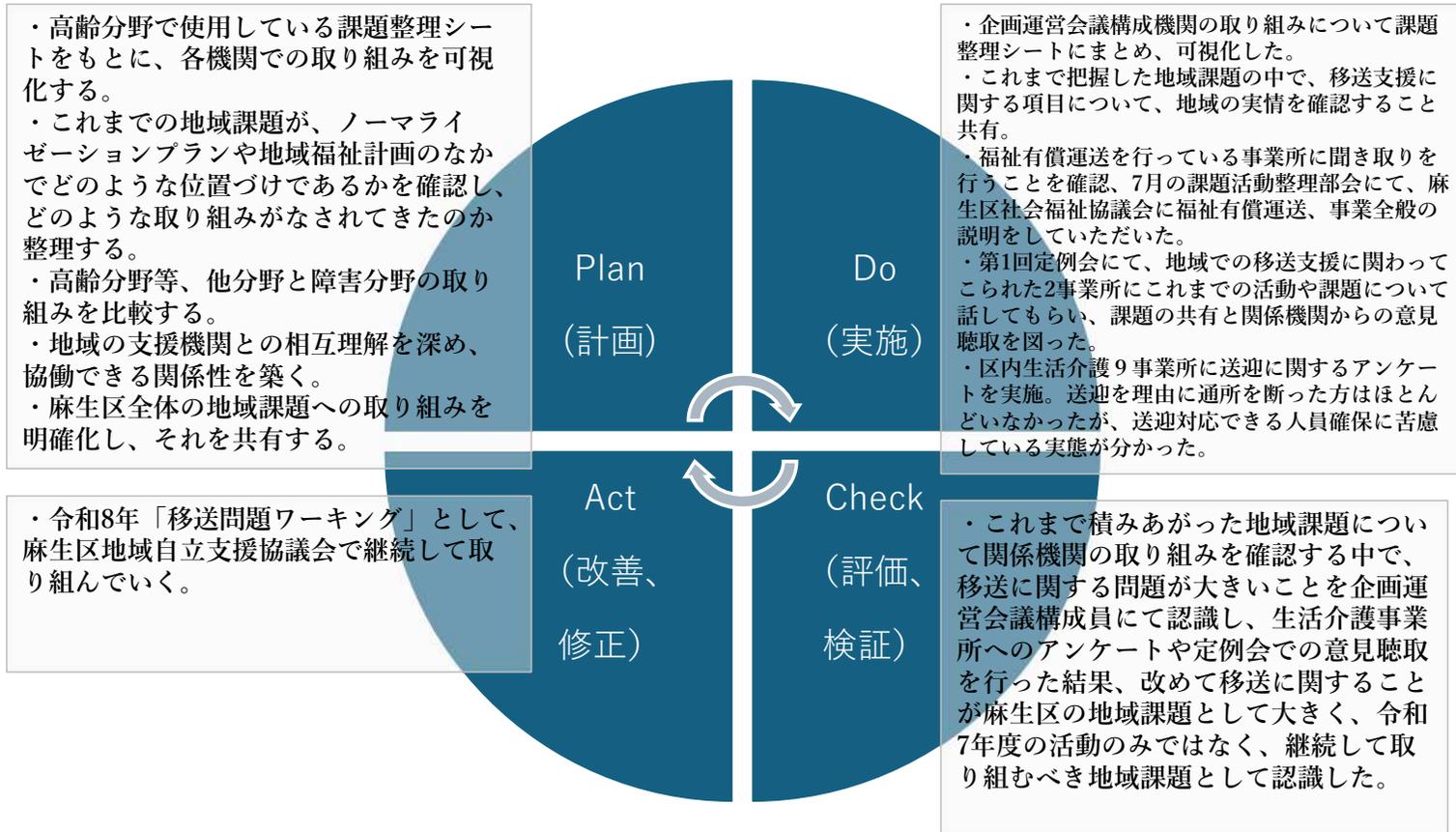
事例検討、事業所間の交流、業務に必要な情報伝達、研修、個別事例への支援のあり方に対する意見交換。



【令和7年 麻生区自立支援協議会 課題活動整理部会】

取組の目的・目標

麻生区の地域課題に対して、関係機関の活動や取り組みが十分に把握できていないため、ワーキング活動を行う際の優先順位を選びづらかったり、取り組み内容の検討に支障があった。
関係機関の地域活動や取り組みを整理・可視化することで、未着手な地域課題を明確化し、協議会として取り組む内容を検討する。



作成日：令和7年12月5日

	予定日時	内容・計画等
区定例会	2026/2/2（月）	<p>区内の関係機関と地域課題を共有し、相互の連携強化を図ることを目的に実施。</p> <p>令和7年度麻生区協議会活動報告 令和8年麻生区協議会活動紹介 「後見制度について」麻生区社協 「地域課題についての取り組みについて」GW</p>
区企画運営会議	毎月 第1水曜日 サービス調整会議 後	<p>麻生区地域自立支援協議会の円滑な運営を図るために、必要な協議・確認・情報共有を行う。</p> <p>地域課題の共有・検討 地域自立支援協議会についての確認 定例会、事業所連絡会実施にあたっての企画・協議 ワーキング活動についての確認・協議 次年度ワーキングについての協議</p>
相談支援事業所連絡会	時期未定 年4回程度	<p>区内の相談支援事業所等の連携強化および人材育成を図ることを目的として実施。 麻生区・多摩区合同の北部相談支援事業所連絡会として実施する。 地域自立支援協議会、事業所連絡会についての説明 参加機関の紹介 事例検討等、必要な情報提供・情報交換を行う。</p>
生涯恒例連携ワーキング 移送ワーキング	毎月 第3水曜日 サービス調整会議 後	<p>詳細は「ワーキング設置計画書」に記載</p>

<p>地域課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活介護事業所に通所するのに、親が送迎しなければならない。 ・送迎車の関係で、生活介護に毎日通所できない。 ・短時間ずつ定期的に利用できる移動支援事業所がない。
<p>ワーキング設置 の理由 (地域課題の説明)</p>	<p>・グループホームなど住まいに関わる社会資源の充実が図られ、重度障害者も地域で生活が送れるようになってきた。一方で、地域生活を送る障害者の高齢化や重度化に伴い、学校や通所先、病院への外出など移動時の支援ニーズが高まっているものの、サービス提供事業所や人材、車輛が不足しており、当事者の外出機会の制限や家族の介護負担が軽減されていない状況が継続している。</p>
<p>目標</p>	<p>福祉タクシーや福祉有償運送、通所・通学支援など移動に関するサービス種類の違いや麻生区内のサービス提供状況、課題を明らかにし、課題解決に向けて取り組む。</p>
<p>取組手法、内容</p>	<p>生活介護事業所や福祉有償運送事業所、麻生区社会福祉協議会等にヒアリングを実施し、現状と課題を把握する。 区自立支援協議会の活動を普及啓発しながら、分野横断的に課題の共有し、解決の方策を検討していく。</p>
<p>設置期間</p>	<p>令和8年1月～令和8年12月</p>
<p>開催頻度・ 開催予定</p>	<p>毎月1回</p>

地域課題	障害福祉サービスから介護保険への移行について、利用者の理解が追いつかず、スムーズな移行に支障がある。
ワーキング設置の理由 (地域課題の説明)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害福祉サービスと介護保険の違いについて、利用者が理解していないため、移行に際しての混乱や高齢分野の支援者に対しての不満につながることもある。
目標	障害福祉サービスと介護保険の違いについて、分かりやすく利用者に伝えられるようにする。
取組手法、内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 65歳を迎える障害サービス利用者に伝えるポイントを整理する。 ・ 障害サービスと介護保険制度の違いや65歳を迎えるにあたって気を付けるポイントについて記載したリーフレットを作成し、障害福祉サービスから介護保険に移行する利用者に配布する。 ・ 高齢分野の支援者と障害分野の支援者の顔の見える関係性を継続するために、連絡会を実施する。
設置期間	令和8年1月～令和8年12月
開催頻度・開催予定	毎月1回

川崎市地域自立支援協議会における経過

個別事例から地域課題の検討に至っていない

→ 地域課題を抽出するための議論の場を再整備（令和 5 年）

個別事例から地域課題を抽出することを再確認
区協議会、市協議会、相談支援調整会議、それぞれの会議における内容や組織役割の整理

地域課題の抽出・解決方法が分からない（何をどのように解決するのかイメージできない）

→ 地域課題の抽出および課題解決のノウハウについて学ぶ（令和 6 年）

地域課題の解決に向けた協議や取組の一連の流れについて学ぶため、基幹及び地域リハを中心に地域づくり検討会議を実施。協議会の取組を P D C A サイクルの視点で捉え可視化することの重要性を確認

地域課題の抽出ばかりに捉われ、解決に至っていない

→ 課題解決に向けての実践（令和 7 年）

- ・ 構成員 1 人 1 人が地域課題解決の方法を学ぶ → 協議会研修の実施（令和 8 年に向けての地固め）
- ・ PDCA サイクルの確保・促進 → 年間報告書、年間計画書の提出時期変更
- ・ 各区の実践について情報共有 → 各区係長が市企画運営会議に出席 等

令和7年市協議会活動報告

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市および各区協議会運営におけるPDCAサイクルの確保（構成員が変わっても途切れない取組） ・協議会の取組が当事者や地域に伝わっていない（効果的な発信方法の検討）
取組	<p>【全体会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回全体会議（9/12） 「協議会の方向性について、各区協議会の取組状況について、地域課題への対応に向けた取組について、第6次ノーマライゼーションプラン策定について」 <p>【企画運営会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各区協議会の活動状況の共有 ・協議会運営におけるPDCAサイクルによる考え方の整理 ・年間実施報告書、計画書の年間の考え方及び提出締切時期に関する意見交換 ・宮前区の課題整理シートについての共有 ・令和8年各区協議会の取組（定例会や相談支援事業所連絡会）の日程について検討 ・川崎市地域課題整理表の様式見直し ・協議会に係る研修の実施 等
成果、評価	<p>【全体会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7つの区すべてが取組状況について報告できたが、資料が膨大で説明も複雑になり、取組内容、成果、残された課題が分かりづらかった。 ・協議会の存在や取組内容が当事者や地域にまで十分に伝わっていないのではないかという委員意見があった。 <p>【企画運営会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他区を取組等について共有し、それを各区に持ち帰ることで、同じ地域課題を持っているという気づきや、他区で活用しているものを参考にする等、協議会の活動をより効果的に循環させるための情報共有ができた。 ・年間実施報告書、計画書の年間の考え方及び提出締切時期に関する意見交換の中で、PDCAのサイクルの重要性を確認し、全体会議での報告に用いたPDCAサイクルシートの活用に繋がり、各区の協議会がPDCAを意識した活動を行うことができた。 ・各区が市の課題としてあげたものを企画運営会議の中で進捗管理し、他部署とも共有できるようにすべきではないかとの意見があり、川崎市地域課題整理表を見直した。企画運営会議の中で、整理表の項目追加・修正、活用方法について検討した。 ・これまで構成員が協議会について学ぶ機会が少ないという現状があったことから、協議会の基礎（構成や役割）を学ぶ研修を企画し、区役所職員および地域支援室職員向けに試行編を実施。構成員が継続して協議会について学べる機会を確保するための地固めを行った。参加者からは次回以降も参加したいという声があり、好評だった。
令和8年に向けて	<p>【全体会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区協議会の報告様式については、各区の取組状況が一覧で確認でき、取組内容、成果、残された課題等がひとめで把握できるような様式を市企画運営会議にて検討する。 ・協議会活動が当事者や地域に確実に届くよう、効果的に発信できるような仕組みとして、各区協議会ホームページ、地ケアポータルサイト、障害福祉サービスかながわ（らくらく）等を活用し、また、その他発信の場・方法について検討する。 <p>【企画運営会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各区の活動日程が被らないよう、各区の計画作成前に大まかな日程について企画運営会議の中で共有する。各区の活動予定を共有するためのツールとして、新たに各区協議会年間予定表を作成し、活用することで効果的な協議会運営を推進する。 ・様式の見直しを行った川崎市地域課題整理表を活用し、企画運営会議の中で取組手法等の検討を行い、随時地域課題に関連する他部署とも課題を共有する。 ・協議会研修について、今回実施した基礎編と併せ、地域課題抽出の方法や課題解決の手法等について学ぶ研修（実践編等）についても企画予定。

作成日：令和7年12月11日

	実施日時	内容・まとめ等
市全体会議	1回開催 9月12日	<p>【実行】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和7年9月12日 令和7年度第1回市全体会議 協議会の方向性について 各区協議会の取組状況について 地域課題への対応に向けた取組について 第6次ノーマライゼーションプラン策定について <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 7つの区すべてが取組状況について報告することができた。 区協議会の報告様式について、資料が膨大で説明も複雑になり、取組内容、成果、残された課題が分かりづらかった。 協議会の存在や取組内容が当事者や地域にまで十分に伝わっていないのではないかという委員意見があった。 <p>【改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> 区協議会の報告様式については、各区の取組状況が一覧で確認でき、取組内容、成果、残された課題等がひとめで把握できるような様式を市企画運営会議にて検討する。 区協議会の活動から市レベルの地域課題を抽出し、全体会議の中でより活発な意見交換や検討を行える仕組みとなるよう全体会議の運営について見直しを行う。 協議会の活動が当事者や地域に確実に届くよう、効果的に発信できるような仕組み（HPの活用や協議会について周知する場の確保等）を検討する。
市企画運営会議	6回開催 4月23日 5月28日 7月23日 8月27日 10月22日 11月26日	<p>【実行】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市協議会の運営管理 市協議会の年間実施計画の作成、振り返り 各区協議会の活動状況の共有 協議会運営におけるPDCAによる考え方の整理 協議会の見直しの経過背景と今年度の取組の方向性について共有 年間実施報告書、計画書の年間の考え方及び提出締切時期に関する意見交換 宮前区の課題整理シートについての共有 全体会議の報告様式について検討 来年度の各区協議会の取組（定例会や相談支援事業所連絡会）の日程について検討 神奈川県障害者自立支援協議会における協議内容の共有 川崎市地域課題整理表の様式作成 協議会に係る研修の実施について報告 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 他区の取組等について共有し、それを各区に持ち帰ることで、同じ地域課題を持っているという気づきや、他区で活用しているものを参考にすると等、協議会の活動をより効果的に循環させるための情報共有ができた。 年間実施報告書、計画書の年間の考え方及び提出締切時期に関する意見交換の中で、PDCAのサイクルの重要性を確認し、全体会議での報告に用いたPDCAサイクルシートの活用に繋がり、各区の協議会がPDCAを意識した活動を行うことができた。 昨年度の計画作成時に各区の活動予定を共有できておらず、定例会や事業所連絡会の日程が被ってしまい、それぞれの区の参加者が少なくなりました。 各区が市の課題としてあげたものを企画運営会議の中で進捗管理し、他部署とも共有できるようにすべきではないかとの意見があり、川崎市地域課題整理表を作成。企画運営会議の中で、整理表の項目追加・修正、活用方法について検討した。 <p>【改善】</p>

		<p>【改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各区の取組の共有については継続する。ただ、説明が間延びしてしまいがちなため、要点を絞っての説明を徹底するとともに、会議資料の取扱い方法の見直しを行う。 ・各区の活動日程が被らないよう、各区の計画作成前に大まかな日程について企画運営会議の中で共有する。各区の活動予定を共有するためのツールとして、新たに各区協議会年間予定表を作成し、活用することで効果的な協議会運営を推進する。 ・様式の見直しを行った川崎市地域課題整理表を活用し、企画運営会議の中で取組手法等の検討を行い、随時地域課題に関連する他部署とも課題を共有する。
市専門部会		令和7年については未設置

【その他、次年度に向けて】

令和6年度市協議会全体会議において、取組が地域課題の抽出に留まり課題解決に至っていない旨の指摘を受けたため、令和7年度以降は「課題解決に向けた実践」をテーマに本市協議会の方向性を整理した。その方向性の中で「区協議会の底上げ」を示しており、これまで構成員が協議会について学ぶ機会が少ないという現状があったことから、協議会の基礎（構成や役割）を学ぶ研修を企画し、区役所職員および地域支援室職員向けに試行編を実施。構成員が継続して協議会について学べる機会を確保するための地固めを行った。次年度には、基礎編と併せ、地域課題抽出の方法や課題解決の手法等について学ぶ研修についても企画する予定。令和7年度市協議会全体会議においては、協議会活動の周知に関する意見が多く聞かれたため、次年度は協議会活動が当事者にしっかりと届くよう、区協議会とともに取組を進めていく（必要に応じて市専門部会の立ち上げも検討）。また、かわさきノーマライゼーションプランの次期計画策定を見据え、協議会からの意見提出を行う。

作成日：令和7年12月11日

	予定日時	内容・計画等
市全体会議	年2回程度	<p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和8年2月26日 令和7年度第2回市全体会議 各区協議会活動報告（成果と残された課題） 川崎市の地域課題についての協議 相談支援体制の最適化に向けた検討（報告） 令和8年夏頃 令和8年度第1回市全体会議
市企画運営会議	毎月第4水曜日 午後 ※時間は議題により変動 <u>(6, 9, 12, 3月を除く)</u>	<p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市協議会の運営管理 市協議会の年間実施計画の作成、振り返り 市レベルで対応する地域課題に対する取組手法の決定、取組状況の進捗管理 市部会の設置、廃止の決定 (市部会の協議内容の進捗管理) 区協議会の情報交換 その他、市協議会の運営に関すること 「川崎市地域自立支援協議会運営の手引きVer.3」による運営状況の把握、必要な対応の検討 障害者相談支援体制の評価・検証の具体的方法の検討
市専門部会		年度途中での部会立ち上げの可能性あり

川崎市地域課題整理表

更新日：令和7年12月10日

No.	区	提出日	地域課題	課題の要因や背景	区としての取組	区の実績	残された課題	取組のレベル	優先度	取組手法	取組手法を選択した理由	取組手法（具体的な内容）	取組開始までに要する時間	市としての対応経過	市の取組成果	モニタリング	進捗状況	
(例)	川崎区	〇●〇〇〇		グループホームの空きがあるにも関わらず、当事者や支援者がその情報を簡単に得ることができず、入居に至るまでに時間を要する。グループホームの特徴等について、対象の施設に直接問い合わせないといけないことが多く、適切な施設を探すのが難しい。グループホーム側も施設の対象者像に合う入居者を探すのに苦労している。	「市民がグループホームの情報を得ることが出来るようになるワークショップ」を立ち上げ、計7回実施。他都市の取組状況を確認し、川崎市と比較を行った。また、区定例会にてグループワークを実施し、意見交換を行った。	グループホームに声をかけ区定例会に参加してもらうことで、グループホームと相談・支援機関との相互理解に繋がった。	区定例会では、グループワークを行う中で、この課題は川崎市だけのものではないという声が多く、グループホームのマッチングのシステム構築を求める声が多かった。	市レベルで対応すべき課題	高	所管部署等に課題を伝える	他都市の取組について学ぶ中で、グループホームの情報をインターネットで簡単に検索できるシステムを自治体で運営・管理していることを知り、川崎市でも取り入れるべきだと考えたため。	川崎区定例会に本庁所管部署である障害計画課、障害福祉課、施設指導課等が出席し、現場の声・課題感を共有した。	時間を要する（1年以上）	川崎区定例会に本庁所管部署である障害計画課、障害福祉課、施設指導課等が出席し、現場の声・課題感を共有した。令和6年度第1回ネットワークミーティングにてグループホームをテーマに取り上げ、GWの中で意見を聴取。施設指導課にて「空き等情報一覧リスト」を作成し、令和7年11月より運用開始。	施設指導課にて「空き等情報一覧リスト」を作成し、令和7年11月より運用開始。当事者や支援者からグループホームへの入居がスムーズになったとの声が聞かれている。	リストが適切に運用されるよう、リストの管理方法について各事業所の中で引き継いでもらう必要がある。区定例会の中では、区中活動先や居宅介護ヘルパー等についても、グループホームと同様に情報が得られにくいとの意見が挙がっていた。	完了	
1	麻生区	〇●〇〇〇	移動支援サービスの不足	学校や通所先、病院への外出等、移動時の支援ニーズが高まっているものの、サービスの提供事業所や人材、車輛が不足しており、当事者の外出機会が制限されている現状がある。福祉の底きやドライバー不足が背景にあるのではないかと、通学・通所支援の利用を希望する人が多く、その場合通学や通所を行う朝と夕方の時間帯に利用が集中し、利用者同士で事業所の取り合いになっている。	麻生区社協に課題活動整理部会に来てもらい、福祉有償運送や移送事業全般について説明してもらった。また、令和7年1回定例会にて、これまで地域での移送支援に関わってきた2事業所を講師として呼び、これまでの活動や移送についての課題説明してもらい、参加者で課題の共有と意見交換を実施した。さらに、区内生活介護事業所（9事業所）に移送に関するアンケート調査を行い、どの事業所も移送対応可能な人員確保に苦慮している現状が明らかになった。	麻生区協議会への参加者と移送についての課題に関して共有を行うことができ、改めて地域課題として取り組むべきことだと確認したため、令和7年に移送ワークショップを立ち上げることとした。		市レベルで対応すべき課題	高	その他								
3	複数区	〇●〇〇〇	障害者や協議会について地域に広く知られていない	協議会の活動等を行うなかで、障害に対する地域の理解が不足していたり、当事者自身も協議会等について知らなかったりするという現状がある。協議会の活動をおこなっても、それが当事者や地域に届かないため、積極的に発信していく場やツールが必要。	高津区では、定例会開催前に協議会周知も兼ねて、事務局メンバーで手分けしてチラシをもって各事業所を訪問し、協議会（定例会）について周知活動を実施した。宮前区では、有馬第二団地自治会で「障害のことを知る聞く話す会」を開催し、事例を交えながら障害に関する基礎的な知識を団地の住民に向けて発信した。	高津区の周知活動では、事業所と直接顔を合わせて説明することで、協議会に参加しやすい雰囲気をつくることができた。結果、46名の参加があった。放デイ等の現在は対象としていない事業所からの参加希望もあるため、今後は参加対象者の幅を広げる予定。宮前区での活動では、GWの中で住民の困りごとについて共有し、対応方法等について相談支援従事者（事務局側）に質問する時間を設けた。住民からは、「参加してよかった」「第2回も開催してほしい」「知っているつもりでいたが知らないことがあって再度勉強しようと思った。」などの声が聞かれ、次回に繋がる結果となった。	地域の中で区として継続的に発信していくことは可能だが、川崎市全体に広く障害者や協議会について知られてもらうためには市としての発信が必要不可欠。	市レベルで対応すべき課題	高	その他	本庁部署でしか使用できない媒体（障害福祉サービスかながわ、地ケアポータルサイト）等を活用し、障害者や協議会について周知することで、少しでも多くの人の目に届くこと可能性があるため。	・今年度は、各区協議会の定例会や事業所連絡会の日程が被ることで、参加者が少なくなりました。事前にスケジュール合わせを行うことで、日程をずらしたり開催内容が似ていれば合同開催とする等の対応を行う。各区のスケジュールについて、地ケア室で管理する。 ・地ケアポータルサイトを活用し、障害及び協議会について周知する。地ケアポータルサイトは地ケア室で管理する。 ・各区協議会について、HPを活用し、活動の周知を行う。 ・各区協議会の活動について、障害福祉サービスかながわ（らくらく）を活用し、周知する。らくらくでの周知は地ケア室にて行う。	・地ケア室にて、各区協議会の年間スケジュールを作成し、地ケアポータルサイトに障害のページを作成。 ・各区協議会にHPの活用を促す。 ・らくらくにて区協議会の周知					
4																		
5																		

障害のある方の生活ニーズ調査結果の概要（速報）

資料3

結果概要

	当事者向け調査	事業者向け調査
実施期間	令和7年11月17日～12月12日	
調査方法	紙調査（郵送）・Web調査併用	
対象者	次ページ参照	
配布数	11,783件 (前回10,238件)	1,034件 (前回901件)
回答数	3,755件 (前回3,593件)	605件 (前回577件)
回答率	31.9% (前回35.1%)	58.5% (前回64.0%)
うち、 Web回答数	1,613件	408件
Web回答率	43.0% (前回約17%)	67.4% (前回約40%)

当事者向け調査

種別		対象者	配布数	回答数	回答率
在宅系	身体障害	身体障害者手帳所持者	3,250	1,116	34.3%
	知的障害	知的障害の判定を受けた者	1,275	415	32.5%
	精神障害	精神障害者保健福祉手帳所持者	1,676	444	26.5%
	自立支援医療（精神）	受給者	1,090	279	25.5%
	特定疾患（指定難病）	受給者	1,095	354	32.3%
	高次脳機能障害	設問、施設利用者	100	71	71.0%
	強度行動障害	行動関連項目 10点以上	761	276	36.3%
	重症心身障害	身体障害手帳 1・2級（肢体不自由）かつ療育手帳 A1・A2	322	117	36.3%
	医療的ケア	施設利用者	216	73	33.8%
	発達障害	施設利用者	200	45	22.5%
	特別支援学校・学級	施設利用者	394	104	26.4%
	療育センター	施設利用者	400	90	22.5%
居住	グループホーム入居者	施設利用者	778	296	38.0%
	施設入所者	施設利用者	226	73	32.3%
総計			11,783	3,755	31.9%

事業者向け調査

種別対象者		配布数	回答数	回答率
居宅系事業者		238	集計中	集計中
グループホーム事業者		122	集計中	集計中
施設系事業者		576	集計中	集計中
相談支援事業者		98	集計中	集計中
総計		1,034	605	58.5%

障害のある方の生活ニーズ調査結果(速報・単純集計表) (当事者向け調査)

【今回】R7年度単純集計

問1 この調査票に御記入いただく方はどなたですか。(〇は1つ)

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
本人が回答	1,970	52.5
本人の意見を聞いて他の方が代理記入	503	13.4
家族や支援者などが回答(本人の意見を確認することが難しい)	1,058	28.2
無回答	224	6.0

問2 あなたの性別をお答えください。(〇を1つつけてください)

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
男性	2,019	53.8
女性	1,681	44.8
その他	6	0.2
回答しない	21	0.6
無回答	28	0.7

年齢(令和7年10月1日現在の満年齢)をお答えください。(数字を記入してください)

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
5歳以下	145	3.9
6～8歳	81	2.2
9～11歳	78	2.1
12～14歳	97	2.6
15～17歳	92	2.5
18～19歳	43	1.1
20～29歳	342	9.1
30～39歳	430	11.5
40～49歳	434	11.6
50～59歳	583	15.5
60～69歳	405	10.8
70～74歳	196	5.2
75～79歳	218	5.8
80～84歳	214	5.7
85歳以上	278	7.4
無回答	119	3.2

問3 お住まいの地区はどこですか。(〇は1つ)

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
川崎区	602	16.0
幸区	434	11.6
中原区	519	13.8
高津区	501	13.3
宮前区	630	16.8
多摩区	552	14.7
麻生区	487	13.0
市外	12	0.3
無回答	18	0.5

【前回】R4年度単純集計

問1 この調査票に御記入いただく方はどなたですか。(〇は1つ)

カテゴリ名	件数	割合
全体	3593	100.0%
本人が回答	2154	59.9%
本人の意見を聞いて他の方が代理記入	476	13.2%
家族や支援者などが回答(本人の意見を確認することが難しい)	799	22.2%
無回答	164	4.6%

問2 あなたの性別及び年齢(令和4年10月1日現在の満年齢)をお答えください。(性別は〇を1つつけてください。年齢は数字を記入してください。)

カテゴリ名	件数	割合
全体	3593	100.0%
男性	1905	53.0%
女性	1601	44.6%
その他	27	0.8%
回答しない	26	0.7%
無回答	34	0.9%

(5) ■年齢①年代分析...(SA)

カテゴリ名	件数	割合
全体	3593	100.0%
5歳以下	108	3.0%
6～10歳	83	2.3%
10～19歳	205	5.7%
20～29歳	294	8.2%
30～39歳	364	10.1%
40～49歳	385	10.7%
50～59歳	504	14.0%
60～69歳	461	12.8%
70～79歳	491	13.7%
80歳以上	525	14.6%
無回答	173	4.8%

問3 お住まいの地区はどこですか。(〇は1つ)

カテゴリ名	件数	割合
全体	3593	100.0%
川崎区	606	16.9%
幸区	445	12.4%
中原区	476	13.2%
高津区	475	13.2%
宮前区	552	15.4%
多摩区	515	14.3%
麻生区	494	13.7%
市外	3	0.1%
無回答	27	0.8%

【今回】R7年度単純集計

問4-1 あなたは、障害者手帳をお持ちですか。(〇はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
全 体	3,755	100.0
身体障害者手帳	1,618	43.1
療育手帳	1,339	35.7
精神障害者保健福祉手帳	770	20.5
どれも持っていない	430	11.5
無回答	26	0.7

各手帳の等級に〇をつけてください。
身体障害者手帳

カテゴリ	件数	割合
全 体	1,618	100.0
1 級	634	39.2
2 級	283	17.5
3 級	188	11.6
4 級	294	18.2
5 級	86	5.3
6 級	74	4.6
無回答	59	3.6

療育手帳

カテゴリ	件数	割合
全 体	1,339	100.0
A 1	415	31.0
A 2	281	21.0
B 1	243	18.1
B 2	388	29.0
無回答	12	0.9

精神障害者保健福祉手帳

カテゴリ	件数	割合
全 体	770	100.0
1 級	43	5.6
2 級	433	56.2
3 級	287	37.3
無回答	7	0.9

【問4-2は、問4-1で身体障害者手帳をお持ちとお答えした方にお聞きします】
問4-2 どのような障害ですか。等級も併わせてお答えください。(〇はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
全 体	1,618	100.0
視覚障害	113	7.0
聴覚・平衡機能障害	170	10.5
音声機能・言語機能・そしゃく機能障害	56	3.5
肢体不自由	800	49.4
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能など)	516	31.9
無回答	95	5.9

【前回】R4年度単純集計

問4-1 あなたは、障害者手帳をお持ちですか。お持ちの場合、各手帳の等級に〇をつけてください。(〇はいくつでも)

カテゴリ名	件数	割合
全 体	3593	100.0%
身体障害者手帳	1732	48.2%
療育手帳	928	25.8%
精神障害者保健福祉手帳	770	21.4%
どれも持っていない	396	11.0%
無回答	55	1.5%

身体障害者手帳

カテゴリ名	件数	割合
全 体	1732	100.0%
1 級	630	36.4%
2 級	293	16.9%
3 級	237	13.7%
4 級	365	21.1%
5 級	75	4.3%
6 級	84	4.8%
不明	48	2.8%

療育手帳

カテゴリ名	件数	割合
全 体	928	100.0%
A 1	257	27.7%
A 2	186	20.0%
B 1	193	20.8%
B 2	288	31.0%
無回答	4	0.4%

精神障害者保健福祉手帳

カテゴリ名	件数	割合
全 体	770	100.0%
1 級	53	6.9%
2 級	430	55.8%
3 級	279	36.2%
無回答	8	1.0%

【問4-2は、問4-1で身体障害者手帳をお持ちとお答えした方にお聞きします】
問4-2 どのような障害ですか。等級も併せてお答えください。(〇はいくつでも)

カテゴリ名	件数	割合
全 体	1732	100.0%
視覚障害	110	6.4%
聴覚・平衡感覚障害	160	9.2%
音声機能・言語機能・そしゃく機能障害	56	3.2%
肢体不自由	796	46.0%
内部障害	601	34.7%
無回答	112	6.5%

【今回】R7年度単純集計

視覚障害の等級

カテゴリ	件数	割合
全体	113	100.0
視覚1級	34	30.1
視覚2級	35	31.0
視覚3級	6	5.3
視覚4級	8	7.1
視覚5級	11	9.7
視覚6級	6	5.3
無回答	13	11.5

聴覚・平衡機能障害の等級

カテゴリ	件数	割合
全体	170	100.0
聴覚・平衡機能障害2級	45	26.5
聴覚・平衡機能障害3級	11	6.5
聴覚・平衡機能障害4級	42	24.7
聴覚・平衡機能障害5級	6	3.5
聴覚・平衡機能障害6級	44	25.9
無回答	22	12.9

音声機能・言語機能・そしゃく機能障害の等級

カテゴリ	件数	割合
全体	56	100.0
音声・言語・咀嚼機能3級	13	23.2
音声・言語・咀嚼機能4級	18	32.1
無回答	25	44.6

肢体不自由の等級

カテゴリ	件数	割合
全体	800	100.0
肢体不自由1級	256	32.0
肢体不自由2級	176	22.0
肢体不自由3級	108	13.5
肢体不自由4級	123	15.4
肢体不自由5級	56	7.0
肢体不自由6級	34	4.3
無回答	47	5.9

【前回】R4年度単純集計

視覚障害の等級

カテゴリ名	件数	割合
全体	110	100.0%
視覚1級	33	30.0%
視覚2級	37	33.6%
視覚3級	3	2.7%
視覚4級	9	8.2%
視覚5級	10	9.1%
視覚6級	8	7.3%
無回答	10	9.1%

聴覚・平衡機能障害の等級

カテゴリ名	件数	割合
全体	160	100.0%
聴覚・平衡機能障害2級	39	24.4%
聴覚・平衡機能障害3級	25	15.6%
聴覚・平衡機能障害4級	38	23.8%
聴覚・平衡機能障害5級	3	1.9%
聴覚・平衡機能障害6級	39	24.4%
無回答	9	5.6%
「1」と回答	7	4.4%

音声機能・言語機能・そしゃく機能障害の等級

カテゴリ名	件数	割合
全体	56	100.0%
音声・言語・咀嚼機能3級	13	23.2%
音声・言語・咀嚼機能4級	14	25.0%
無回答	18	32.1%
「1」と回答	7	12.5%
「2」と回答	4	7.1%

肢体不自由の等級

カテゴリ名	件数	割合
全体	796	100.0%
肢体不自由1級	182	22.9%
肢体不自由2級	169	21.2%
肢体不自由3級	111	13.9%
肢体不自由4級	187	23.5%
肢体不自由5級	55	6.9%
肢体不自由6級	37	4.6%
無回答	55	6.9%

【今回】R7年度単純集計

内部障害の等級

カテゴリ	件数	割合
全 体	516	100.0
内部障害1級	270	52.3
内部障害2級	11	2.1
内部障害3級	50	9.7
内部障害4級	86	16.7
無回答	99	19.2

問5 あなたは、障害支援区分の認定を受けていますか。認定を受けている場合、区分はどちらですか。(〇は1つ)

カテゴリ	件数	割合
全 体	3,755	100.0
非該当	472	12.6
区分1	41	1.1
区分2	117	3.1
区分3	137	3.6
区分4	153	4.1
区分5	202	5.4
区分6	261	7.0
認定を受けていない	941	25.1
分からない	1,030	27.4
無回答	401	10.7

問6 あなたは、介護保険制度の認定を受けていますか。認定を受けている場合、要介護度はどちらですか。(〇は1つ)

カテゴリ	件数	割合
全 体	3,755	100.0
非該当	735	19.6
要支援1	75	2.0
要支援2	91	2.4
要介護1	107	2.8
要介護2	122	3.2
要介護3	77	2.1
要介護4	70	1.9
要介護5	58	1.5
認定を受けていない	1,813	48.3
分からない	361	9.6
無回答	246	6.6

【前回】R4年度単純集計

内部障害の等級

カテゴリ一名	件数	割合
全 体	601	100.0%
内部障害1級	310	51.6%
内部障害2級	15	2.5%
内部障害3級	64	10.6%
内部障害4級	89	14.8%
無回答	123	20.5%

問5 あなたは、障害支援区分の認定を受けていますか。認定を受けている場合、区分はどちらですか。(〇は1つ)

カテゴリ一名	件数	割合
全 体	3593	100.0%
非該当	464	12.9%
区分1	41	1.1%
区分2	103	2.9%
区分3	118	3.3%
区分4	132	3.7%
区分5	115	3.2%
区分6	186	5.2%
認定を受けていない	1012	28.2%
分からない	901	25.1%
無回答	521	14.5%

問6 あなたは、介護保険制度の認定を受けていますか。認定を受けている場合、要介護度はどちらですか。(〇は1つ)

カテゴリ一名	件数	割合
全 体	3593	100.0%
非該当	630	17.5%
要支援1	66	1.8%
要支援2	94	2.6%
要介護1	103	2.9%
要介護2	114	3.2%
要介護3	70	1.9%
要介護4	81	2.3%
要介護5	73	2.0%
認定を受けていない	1770	49.3%
分からない	292	8.1%
無回答	300	8.3%

【今回】R7年度単純集計

問7 あなたは、高次脳機能障害と診断されたことがありますか。(〇は1つ)【新規】

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
ある	199	5.3
ない	3,169	84.4
わからない	246	6.6
無回答	141	3.8

問8 日常生活の中で、どのような介助・支援等を必要としていますか。(〇はいくつでも)【変更・選択肢】

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
食事	884	23.5
トイレ	828	22.1
入浴	1,139	30.3
着替え、身だしなみ	1,050	28.0
掃除、洗濯、調理などの家事	1,555	41.4
移動・外出	1,541	41.0
意思の疎通、コミュニケーション	1,173	31.2
お金の管理	1,431	38.1
薬の管理	1,355	36.1
絶え間のない見守り	652	17.4
その他	182	4.8
特に介助などは必要ない	1,266	33.7
無回答	132	3.5

問9 あなたを主に介助・支援している人はだれですか。(〇はいくつでも)
※「父」、「母」、「配偶者」、「子」の場合は、()内に年齢を記入してください。

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
父	803	21.4
母	1,191	31.7
配偶者	530	14.1
子	319	8.5
その他の親族(兄弟姉妹、祖父母など)	337	9.0
ホームヘルパー	275	7.3
施設や病院の職員	835	22.2
近所の人、友人・知人、ボランティア	93	2.5
その他	235	6.3
介助や支援は必要ではない	919	24.5
無回答	178	4.7

父の年齢

カテゴリ	件数	割合
全体	803	100.0
29歳以下	4	0.5
30～39歳	70	8.7
40～49歳	214	26.7
50～59歳	181	22.5
60～69歳	142	17.7
70～79歳	113	14.1
80歳以上	53	6.6
無回答	26	3.2

【前回】R4年度単純集計

問7 日常生活の中で、どのような介助・支援を必要としていますか。(〇はいくつでも)

カテゴリ名	件数	割合
全体	3593	100.0%
食事	669	18.6%
トイレ	626	17.4%
入浴	868	24.2%
着替え、身だしなみ	769	21.4%
掃除、洗濯、調理などの家事	1294	36.0%
移動・外出	1253	34.9%
意思の疎通、コミュニケーション	886	24.7%
お金の管理	1102	30.7%
薬の管理	1045	29.1%
その他	199	5.5%
特に介助など必要ない	1453	40.4%
無回答	180	5.0%

問8 あなたを主に介助・支援している人はだれですか。(〇はいくつでも)※「1 父」、「2 母」、「3 配偶者」、「4 子」の場合は、()内に年齢を記入してください。

カテゴリ名	件数	割合
全体	3593	100.0%
父	799	22.2%
母	888	24.7%
配偶者	569	15.8%
子	346	9.6%
その他の親族	256	7.1%
ホームヘルパー	227	6.3%
施設や病院の職員	666	18.5%
近所の人、友人・知人、ボランティア	77	2.1%
その他	193	5.4%
介助や支援は必要ではない	769	21.4%
無回答	252	7.0%

(28) ■父※年代分析...(SA)

カテゴリ名	件数	割合
全体	799	100.0%
5歳以下	9	1.1%
6～10歳	1	0.1%
10～19歳	0	0.0%
20～29歳	4	0.5%
30～39歳	70	8.8%
40～49歳	127	15.9%
50～59歳	135	16.9%
60～69歳	91	11.4%
70～79歳	68	8.5%
80歳以上	38	4.8%
無回答	256	32.0%

【今回】 R 7年度単純集計

母の年齢		
カテゴリ	件数	割合
全 体	1,191	100.0
29歳以下	4	0.3
30～39歳	127	10.7
40～49歳	280	23.5
50～59歳	271	22.8
60～69歳	225	18.9
70～79歳	161	13.5
80歳以上	81	6.8
無回答	42	3.5

配偶者の年齢

カテゴリ	件数	割合
全 体	530	100.0
29歳以下	4	0.8
30～39歳	29	5.5
40～49歳	68	12.8
50～59歳	99	18.7
60～69歳	89	16.8
70～79歳	117	22.1
80歳以上	108	20.4
無回答	16	3.0

子の年齢

カテゴリ	件数	割合
全 体	319	100.0
29歳以下	56	17.6
30～39歳	25	7.8
40～49歳	44	13.8
50～59歳	94	29.5
60～69歳	70	21.9
70～79歳	1	0.3
80歳以上	1	0.3
無回答	28	8.8

【前回】 R 4年度単純集計

(30) ■母※年代分析...(S A)

カテゴリ名	件数	割合
全体	888	100.0%
5歳以下	12	1.4%
6～10歳	7	0.8%
10～19歳	0	0.0%
20～29歳	5	0.6%
30～39歳	111	12.5%
40～49歳	203	22.9%
50～59歳	186	20.9%
60～69歳	150	16.9%
70～79歳	108	12.2%
80歳以上	63	7.1%
無回答	43	4.8%

(32) ■配偶者※年代分析...(S A)

カテゴリ名	件数	割合
全体	569	100.0%
5歳以下	6	1.1%
6～10歳	4	0.7%
10～19歳	0	0.0%
20～29歳	4	0.7%
30～39歳	22	3.9%
40～49歳	46	8.1%
50～59歳	86	15.1%
60～69歳	128	22.5%
70～79歳	145	25.5%
80歳以上	107	18.8%
無回答	21	3.7%

(34) ■子※年代分析...(S A)

カテゴリ名	件数	割合
全体	346	100.0%
5歳以下	5	1.4%
6～10歳	3	0.9%
10～19歳	20	5.8%
20～29歳	42	12.1%
30～39歳	27	7.8%
40～49歳	61	17.6%
50～59歳	109	31.5%
60～69歳	53	15.3%
70～79歳	15	4.3%
80歳以上	1	0.3%
無回答	10	2.9%

【今回】R7年度単純集計

問10 あなたは、どこで生活していますか。(〇は1つ)【変更・選択肢】

カテゴリ	件数	割合
全 体	3,755	100.0
自分または家族の持ち家	2,097	55.8
民間の賃貸住宅、アパート、社宅など	705	18.8
市営住宅、県営住宅	228	6.1
グループホーム	389	10.4
障害者向け福祉施設に入所している	121	3.2
高齢者向け福祉施設に入所している	70	1.9
病院に入院している	32	0.9
シェアハウス	14	0.4
その他	37	1.0
無回答	62	1.7

【問11は、問10で「自分または家族の持ち家」「民間の賃貸住宅、アパート、社宅など」「市営住宅、県営住宅」とお答えの方のみ、お答えください】

問11 あなたは、ふだんご近所の方との程度のつきあいをしていますか。【新規】

カテゴリ	件数	割合
全 体	3,030	100.0
家族のように親しくつきあっている	102	3.4
電話、メールなども含めて、親しく話をする	116	3.8
ときどき話をする程度	469	15.5
あいさつをする程度	1,292	42.6
ほとんどつきあいが無い	832	27.5
その他	29	1.0
無回答	190	6.3

問12 あなたは、これからどのような生活を希望しますか。(〇は1つ)【変更・選択肢】

カテゴリ	件数	割合
全 体	3,755	100.0
一人暮らしをしたい	606	16.1
配偶者またはパートナー（子ども）と一緒に生活したい	1,225	32.6
父母、祖父母、兄弟姉妹などの家族と一緒に生活したい	737	19.6
グループホームで生活したい	484	12.9
入所施設で生活したい	182	4.8
老人ホームなどの高齢者の施設に入って生活したい	81	2.2
病院に入院したい、入院を継続したい	28	0.7
その他	184	4.9
無回答	228	6.1

【前回】R4年度単純集計

問9 あなたは、どこで生活していますか。(〇は1つ)

カテゴリ名	件数	割合
全 体	3593	100.0%
自分または家族の持ち家	2005	55.8%
民家の賃貸住宅、アパート、社宅など	716	19.9%
市営住宅、県営住宅	207	5.8%
グループホーム	299	8.3%
障害者向け福祉施設に入所している	159	4.4%
高齢者向け福祉施設に入所している	71	2.0%
病院に入院している	33	0.9%
その他	40	1.1%
無回答	63	1.8%

問10 あなたは、これからどのような生活を希望しますか。(〇は1つ)

カテゴリ名	件数	割合
全 体	3593	100.0%
一人暮らしをしたい	633	17.6%
家族と一緒に生活したい	1934	53.8%
グループホームで生活したい	318	8.9%
入所施設で生活したい	152	4.2%
老人ホームなどの高齢者の施設に入って生活したい	105	2.9%
病院に入院したい、入院を継続したい	17	0.5%
その他	198	5.5%
無回答	236	6.6%

【今回】R7年度単純集計

問13 あなたが希望する生活を送るためには、どのような支援があればよいと思いますか。(〇はいくつでも)
【変更・設問の対象者及び選択肢】

カテゴリ	件数	割合
全 体	3,755	100.0
困ったときに相談できる総合的な相談窓口の充実	2,119	56.4
グループホームの整備	623	16.6
生活介護事業所などの日中活動の場の整備	741	19.7
必要な在宅サービスが適切に利用できること	1,103	29.4
在宅で必要な医療的ケアなどが適切に受けられること	802	21.4
生活訓練等の充実	614	16.4
経済的な負担の軽減	1,685	44.9
就労に向けた支援	696	18.5
賃貸アパートなどの民間住宅への入居支援	429	11.4
障害のある人に適した住居の確保	827	22.0
地域・社会の障害に関する理解促進	978	26.0
コミュニケーションについての支援	822	21.9
その他	170	4.5
特になし	431	11.5
無回答	139	3.7

問14 あなたが生活する上で、心配なことや気がかりなことはありますか。(〇はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
全 体	3,755	100.0
身の回りの介助・看護をしてくれる人がいない	328	8.7
困ったことについて気軽に相談しづらい	959	25.5
希望する障害福祉サービスを受けづらい(事業所・施設やヘルパーの不足)	503	13.4
学校や保育所・幼稚園など、学びの場における支援を受けづらい	171	4.6
障害があっても安心して生活できる住まいの場が少ない	710	18.9
障害のある方が、老人ホームなどの高齢者向け施設に入所しづらい	310	8.3
働くにあたっての支援を受けづらい	485	12.9
必要な医療やリハビリを受けづらい	341	9.1
障害のある方の権利を守るための制度が利用しづらい(虐待防止、差別解消、成年後見制度など)	367	9.8
障害に対する地域・社会の理解が足りない	743	19.8
スポーツや文化芸術活動などがしづらい	300	8.0
公共施設、公共交通機関などが障害により利用しづらい(まちのバリアフリーが足りない)	516	13.7
必要な情報にアクセスしづらい(情報面でのバリアフリーが足りない)	465	12.4
災害時に必要な支援を受けづらい	727	19.4
その他	255	6.8
特に心配なことはない	958	25.5
無回答	262	7.0

問15 あなたは、平日の日中、主にどのように過ごしていますか。(〇は1つ)

カテゴリ	件数	割合
全 体	3,755	100.0
企業や自営業などで働いている	734	19.5
保育所・幼稚園に通っている	99	2.6
学校に通っている	338	9.0
通所事業所、地域療育センター、地域活動支援センターなどに通っている	817	21.8
医療機関などでリハビリや治療を受けている	161	4.3
自宅で家事などを行っている	511	13.6
就職に向けた活動をしている	55	1.5
趣味などを行っている	220	5.9
その他	220	5.9
特に何もしていない	316	8.4
無回答	284	7.6

【前回】R4年度単純集計

【入所施設に入所している方、病院に入院している方のみお答えください】問39-2 今後、あなたが地域の中で生活していくためには、どのような支援が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

カテゴリ名	件数	割合
全 体	64	100.0%
家族の理解・協力に向けた支援	39	60.9%
困ったときに相談できる総合的な相談窓口	35	54.7%
グループホームの整備	38	59.4%
生活介護事業所などの日中活動の場の整備	33	51.6%
賃貸アパートなどの民間住宅への入居支援	10	15.6%
公営住宅のバリアフリー化	10	15.6%
在宅でも必要な医療やケアが受けられること	27	42.2%
病院などを含む関係機関による連携	39	60.9%
自身と同じ障害や病気を持つ人による相談・交流	11	17.2%
その他	7	10.9%
無回答	2	3.1%

問27 あなたが生活する上で、心配なことや気がかりなことはありますか。(〇はいくつでも)

カテゴリ名	件数	割合
全 体	3593	100.0%
身の回りの介助・看護をしてくれる人がいない	318	8.9%
困ったことについて気軽に相談しづらい	829	23.1%
希望する障害福祉サービスを受けづらい(事業所・施設やヘルパーの不足)	358	10.0%
学校や保育所・幼稚園など、学びの場における支援を受けづらい	141	3.9%
障害があっても安心して生活できる住まいの場が少ない	580	16.1%
障害のある方が、老人ホームなどの高齢者向け施設に入所しづらい	364	10.1%
働くにあたっての支援を受けづらい	503	14.0%
必要な医療やリハビリを受けづらい	282	7.8%
障害のある方の権利を守るための制度が利用しづらい(虐待防止、差別解消、成年後見制度など)	252	7.0%
障害に対する地域・社会の理解が足りない	775	21.6%
スポーツや文化芸術活動などがしづらい	211	5.9%
公共施設、公共交通機関などが障害により利用しづらい(まちのバリアフリーが足りない)	419	11.7%
必要な情報にアクセスしづらい(情報面でのバリアフリーが足りない)	379	10.5%
災害時に必要な支援を受けづらい	541	15.1%
その他	219	6.1%
特に心配なことはない	1004	27.9%
無回答	346	9.6%

問11 あなたは、平日の日中、主にどのように過ごしていますか。(〇は1つ)

カテゴリ名	件数	割合
全 体	3593	100.0%
企業や自営業などで働いている	714	19.9%
保育所・幼稚園に通っている	56	1.6%
学校に通っている	270	7.5%
通所事業所、地域療育センター、地域活動支援センターなどに通っている	594	16.5%
医療機関などでリハビリや治療を受けている	196	5.5%
自宅で家事などを行っている	573	15.9%
就職に向けた活動をしている	39	1.1%
趣味などを行っている	262	7.3%
その他	240	6.7%
特に何もしていない	408	11.4%
無回答	241	6.7%

【今回】R7年度単純集計

問16 あなたは過去1年間に、障害福祉に関する情報をどのように知りましたか。(〇はいくつでも)【変更・選択肢】

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
市政だよりなどの市の広報紙	979	26.1
市のホームページ	439	11.7
冊子「ふれあいー障害福祉の案内ー」	292	7.8
区役所の窓口	759	20.2
障害者相談支援センター	395	10.5
指定特定相談支援事業所	134	3.6
普段利用している施設	1,077	28.7
当事者・家族団体、保護者会など	218	5.8
手話通訳、要約筆記などの支援員	12	0.3
点訳資料、音訳資料など	5	0.1
テレビ、ラジオのニュース、新聞などの記事	628	16.7
その他	472	12.6
無回答	401	10.7

問17 次の相談窓口などについて、知っているもの、過去1年間に利用したことがあるものがあれば、それぞれの欄に○をつけてください。(〇はいくつでも)

※1つも○をつけるものがなければ、そのまま問18にお進みください。【変更・選択肢】

知っている

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
区役所	2,270	60.5
基幹相談支援センター	256	6.8
地域相談支援センター	796	21.2
指定特定相談支援事業所	211	5.6
指定障害児相談支援事業所	130	3.5
児童相談所	810	21.6
地域療育センター	783	20.9
子ども発達・相談センター(きっずサポート)	255	6.8
医療的ケア児・者等支援拠点	149	4.0
総合リハビリテーション推進センター(障害者更生相談所、精神保健福祉センター)	308	8.2
南部・中部・北部リハビリテーションセンター	491	13.1
れいんぼう川崎在宅支援室	217	5.8
高次脳障害地域活動支援センター	91	2.4
地域包括支援センター	688	18.3
発達相談支援センター	222	5.9
ひきこもり地域支援センター	86	2.3
かながわ難病・相談支援センター	98	2.6
視覚障害者情報文化センター	103	2.7
聴覚障害者情報文化センター	108	2.9
身体障害者福祉会館(身体障害者福祉センター)	180	4.8
川崎市社会福祉協議会	547	14.6
川崎市あんしんセンター(成年後見支援センター)	153	4.1
地域福祉情報バンク	48	1.3
障害者相談員・民生委員・児童委員	470	12.5
川崎市総合教育センター相談室	261	7.0
学校	783	20.9
無回答・該当なし	1,031	27.5

【前回】R4年度単純集計

問12 あなたは過去1年間に、障害福祉に関する情報をどのように知りましたか。(〇はいくつでも)

カテゴリ名	件数	割合
全体	3593	100.0%
市政だよりなどの市の広報紙	943	26.2%
市のホームページ	372	10.4%
冊子「ふれあいー障害福祉の案内ー」	262	7.3%
区役所(支所)の窓口	755	21.0%
障害者相談支援センター	367	10.2%
指定特定相談支援事業所	93	2.6%
普段利用している施設	857	23.9%
当事者・家族団体、保護者会など	144	4.0%
手話通訳、要約筆記などの支援員	10	0.3%
点訳資料、音訳資料など	6	0.2%
テレビ、ラジオのニュース、新聞などの記事	545	15.2%
その他	528	14.7%
無回答	439	12.2%

問13 次の相談窓口などについて、知っているもの、過去1年間に利用したことがあるものがあれば、それぞれの欄に○をつけてください。(〇はいくつでも)

カテゴリ名	件数	割合
全体	3593	100.0%
区役所(支所)	2003	55.7%
基幹相談支援センター	169	4.7%
地域相談支援センター	493	13.7%
指定特定相談支援事業所	115	3.2%
指定障害児相談支援事業所	80	2.2%
児童相談所	541	15.1%
地域療育センター	488	13.6%
子ども発達・相談センター(きっずサポート)	100	2.8%
医療的ケア児・者等支援拠点	53	1.5%
総合リハビリテーション推進センター(障害者更生相談所、精神保健福祉センター)	235	6.5%
南部・中部・北部リハビリテーションセンター	225	6.3%
れいんぼう川崎在宅支援室	105	2.9%
地域包括支援センター	512	14.2%
発達相談支援センター	168	4.7%
ひきこもり地域支援センター	75	2.1%
かながわ難病・相談支援センター	82	2.3%
視覚障害者情報文化センター	52	1.4%
聴覚障害者情報文化センター	73	2.0%
身体障害者福祉会館(身体障害者福祉センター)	170	4.7%
川崎市社会福祉協議会	425	11.8%
川崎市あんしんセンター(成年後見支援センター)	106	3.0%
地域福祉情報バンク	28	0.8%
障害者相談員・民生委員・児童委員	331	9.2%
川崎市総合教育センター相談室	184	5.1%
学校	507	14.1%
無回答	1222	34.0%

【今回】R7年度単純集計

過去1年間に利用したことがある

カテゴリ	件数	割合
全 体	3,755	100.0
区役所	1,617	43.1
基幹相談支援センター	53	1.4
地域相談支援センター	360	9.6
指定特定相談支援事業所	136	3.6
指定障害児相談支援事業所	36	1.0
児童相談所	123	3.3
地域療育センター	320	8.5
子ども発達・相談センター（きっずサポート）	38	1.0
医療的ケア児・者等支援拠点	59	1.6
総合リハビリテーション推進センター（障害者更生相談所、精神保健福祉センター）	69	1.8
南部・中部・北部リハビリテーションセンター	164	4.4
れいんぼう川崎在宅支援室	41	1.1
高次脳障害地域活動支援センター	18	0.5
地域包括支援センター	153	4.1
発達相談支援センター	28	0.7
ひきこもり地域支援センター	10	0.3
かながわ難病・相談支援センター	17	0.5
視覚障害者情報文化センター	27	0.7
聴覚障害者情報文化センター	23	0.6
身体障害者福祉会館（身体障害者福祉センター）	30	0.8
川崎市社会福祉協議会	64	1.7
川崎市あんしんセンター（成年後見支援センター）	16	0.4
地域福祉情報バンク	8	0.2
障害者相談員・民生委員・児童委員	75	2.0
川崎市総合教育センター相談室	44	1.2
学校	271	7.2
無回答・該当なし	1,720	45.8

問18 生活や福祉について、どこに相談したらよいか分からず困ったとき、どこに相談していますか。（〇はいくつでも）

【新規】

カテゴリ	件数	割合
全 体	3,755	100.0
区役所	1,744	46.4
相談支援センター	525	14.0
利用している施設、サービス事業所、機関など	1,194	31.8
インターネットやふれあい等で自身で調べる	783	20.9
相談しない	203	5.4
その他	378	10.1
困ったことはない	321	8.5
無回答	175	4.7

【前回】R4年度単純集計

【今回】R7年度単純集計

問19 あなたが様々な相談をしやすいようになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
サービス等利用計画などを作成する指定特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所が増えること	778	20.7
子どもの発達や障害のある子どもに関する相談窓口の充実(地域療育センターや子ども発達・相談センターなど)	497	13.2
様々な相談に対応する総合的な相談窓口の充実(障害者相談支援センターなど)	1,314	35.0
どこで、どのような相談ができるかなど、相談窓口の明確化	1,951	52.0
権利擁護や虐待対応などに関する相談窓口の充実	236	6.3
地域リハビリテーションセンターによる専門的な支援	462	12.3
その他	181	4.8
特になし	618	16.5
無回答	283	7.5

問20 障害のある方の権利を守るための次の制度や法律等について、①知っていますか。(制度ごとに、〇を1つずつつけてください)【変更・設問及び選択肢】
成年後見制度

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
内容を知っている	1,143	30.4
名前は知っているが、内容は知らない	1,251	33.3
知らない	1,102	29.3
無回答	259	6.9

日常生活自立支援事業

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
内容を知っている	430	11.5
名前は知っているが、内容は知らない	873	23.2
知らない	2,117	56.4
無回答	335	8.9

障害者虐待通報・届出受付専用ダイヤル

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
内容を知っている	328	8.7
名前は知っているが、内容は知らない	636	16.9
知らない	2,417	64.4
無回答	374	10.0

障害者差別解消法

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
内容を知っている	355	9.5
名前は知っているが、内容は知らない	634	16.9
知らない	2,391	63.7
無回答	375	10.0

【前回】R4年度単純集計

問14 あなたが様々な相談をしやすいようになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

カテゴリ名	件数	割合
全体	3593	100.0%
サービス等利用計画などを作成する指定特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所が増えること	656	18.3%
子どもの発達や障害のある子どもに関する相談窓口の充実(地域療育センターや子ども発達・相談センターなど)	462	12.9%
様々な相談に対応する総合的な相談窓口の充実(障害者相談支援センターなど)	1321	36.8%
どこで、どのような相談ができるかなど、相談窓口の明確化	1856	51.7%
権利擁護や虐待対応などに関する相談窓口の充実	241	6.7%
地域リハビリテーションセンターによる専門的な支援	565	15.7%
その他	235	6.5%
特になし	608	16.9%
無回答	300	8.3%

問15 障害のある方の権利を守るための次の制度について、①知っていますか。②今後利用したいですか。(制度ごとに、①②について〇を1つずつつけてください)
成年後見制度

カテゴリ名	件数	割合
全体	3593	100.0%
内容を知っている	1091	30.4%
名前は知っているが、内容は知らない	1017	28.3%
知らない	1167	32.5%
無回答	318	8.9%

日常生活自立支援事業

カテゴリ名	件数	割合
全体	3593	100.0%
内容を知っている	454	12.6%
名前は知っているが、内容は知らない	808	22.5%
知らない	1961	54.6%
無回答	370	10.3%

障害者虐待通報・届出受付専用ダイヤル

カテゴリ名	件数	割合
全体	3593	100.0%
内容を知っている	283	7.9%
名前は知っているが、内容は知らない	486	13.5%
知らない	2372	66.0%
無回答	452	12.6%

問17 あなたは、障害者差別解消法(障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律)に関して、次のことを知っていますか。(①②それぞれについて、「1 知っている」「2 知らない」のどちらか1つに〇をつけてください)
障害者差別解消法が制定されていること

カテゴリ名	件数	割合
全体	3593	100.0%
知っている	719	20.0%
知らない	2698	75.1%
無回答	176	4.9%

【今回】R7年度単純集計

合理的配慮を求めることができること

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
内容を知っている	479	12.8
名前は知っているが、内容は知らない	444	11.8
知らない	2,442	65.0
無回答	390	10.4

②今後利用したいですか。(制度ごとに、○を1つずつつけてください)
成年後見制度

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
利用したい	570	15.2
利用しない	692	18.4
分からない	1,888	50.3
無回答	605	16.1

日常生活自立支援事業

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
利用したい	503	13.4
利用しない	462	12.3
分からない	2,014	53.6
無回答	776	20.7

問21 あなたは、成年後見制度の利用を検討する場合、どこに相談しますか。(○はいくつでも)【変更・選択肢】

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
区役所	1,555	41.4
障害者相談支援センター	548	14.6
川崎市あんしんセンター(成年後見支援センター)	449	12.0
法テラス	199	5.3
分からない	1,287	34.3
その他	223	5.9
無回答	288	7.7

【前回】R4年度単純集計

合理的配慮を求めることができること

カテゴリ名	件数	割合
知っている	641	17.8%
知らない	2737	76.2%
無回答	215	6.0%
全体	3593	100.0%

②今後利用したいですか。(制度ごとに、○を1つずつつけてください)
成年後見制度

カテゴリ名	件数	割合
全体	3593	100.0%
利用したい	407	11.3%
利用しない	718	20.0%
分からない	1794	49.9%
無回答	674	18.8%

日常生活自立支援事業

カテゴリ名	件数	割合
全体	3593	100.0%
利用したい	457	12.7%
利用しない	452	12.6%
分からない	1922	53.5%
無回答	762	21.2%

問16 あなたは、成年後見制度の利用を検討する場合、どこに相談しますか。(○はいくつでも)

カテゴリ名	件数	割合
全体	3593	100.0%
区役所(支所)	1549	43.1%
障害者相談支援センター	578	16.1%
川崎市あんしんセンター(成年後見支援センター)	436	12.1%
法テラス	161	4.5%
分からない	1222	34.0%
その他	191	5.3%
無回答	333	9.3%

【今回】R7年度単純集計

問22 市民館で実施している、障害のある方の体験活動や交流などを行う「障害者社会参加学習活動（青年教室）」について、知っていますか。（〇は1つ）

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
知っている	405	10.8
知らない	3,192	85.0
無回答	158	4.2

利用したことはありますか。（〇は1つ）

カテゴリ	件数	割合
全体	405	100.0
利用したことがある	86	21.2
利用したことはない	304	75.1
無回答	15	3.7

今後利用したいですか。（〇は1つ）

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
今後、利用したい	540	14.4
特に利用希望はない	2,729	72.7
無回答	486	12.9

問23 あなたは、障害のある方が働いたり、地域社会の中で安心して通える施設や学校等がある、バリアフリー化が進んでいるなど、川崎市が「障害のある方が社会参加しやすいまち」だと思いますか。（〇は1つ）

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
とても思う	230	6.1
少し思う	806	21.5
どちらともいえない	760	20.2
あまり思わない	616	16.4
まったく思わない	216	5.8
分からない	949	25.3
その他	23	0.6
無回答	155	4.1

問24 あなたは、地域・社会が障害への理解を進めていくために、どのようなことが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
障害や病気についての正しい知識を普及啓発するためのパンフレットや、講演会・疑似体験会などのイベント	1,253	33.4
学校で実施する交流や共同学習の充実	974	25.9
障害のある方との地域での交流の場の設置	1,047	27.9
学校や生涯学習などにおける、障害や病気に関する教育や情報提供	1,242	33.1
障害や病気のある方が一般企業などで就労すること	1,359	36.2
障害や病気のある方が文化芸術活動に参加すること	742	19.8
障害者スポーツに参加すること（障害者スポーツ体験イベントなど）	673	17.9
その他	151	4.0
特になし	700	18.6
無回答	285	7.6

【前回】R4年度単純集計

問18 市民館で実施している、障害のある方の体験活動や交流などを行う「障がい者社会参加学習活動（青年教室）」について、知っていますか。また、今後利用したいですか。（知っているか、利用したことがあるか、利用したいか、それぞれ〇は1つ）

カテゴリ名	件数	割合
全体	3593	100.0%
知っている	450	12.5%
知らない	2965	82.5%
無回答	178	5.0%

利用したことはありますか

カテゴリ名	件数	割合
全体	3593	100.0%
利用したことがある	93	2.6%
利用したことはない	3131	87.1%
無回答	369	10.3%

今後利用したいですか

カテゴリ名	件数	割合
全体	3593	100.0%
今後、利用したい	531	14.8%
特に利用希望はない	2650	73.8%
無回答	412	11.5%

問19 あなたは、障害のある方が働いたり、地域社会の中で安心して通える施設や学校等がある、バリアフリー化が進んでいるなど、川崎市が「障害のある方が社会参加しやすいまち」だと思いますか。（〇は1つ）

カテゴリ名	件数	割合
全体	3593	100.0%
とても思う	247	6.9%
少し思う	741	20.6%
どちらともいえない	607	16.9%
あまり思わない	568	15.8%
まったく思わない	219	6.1%
分からない	1016	28.3%
その他	30	0.8%
無回答	165	4.6%

問20 あなたは、地域・社会が障害への理解を進めていくために、どのようなことが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

カテゴリ名	件数	割合
全体	3593	100.0%
障害や病気についての正しい知識を普及啓発するためのパンフレットや、講演会・疑似体験会などのイベント	1175	32.7%
学校で実施する交流や共同学習の充実	971	27.0%
障害のある方との地域での交流の場の設置	981	27.3%
学校や生涯学習などにおける、障害や病気に関する教育や情報提供	1230	34.2%
障害や病気のある方が一般企業などで就労すること	1447	40.3%
障害や病気のある方が文化芸術活動に参加すること	743	20.7%
障害者スポーツに参加すること（障害者スポーツ体験イベントなど）	691	19.2%
その他	170	4.7%
特になし	649	18.1%
無回答	318	8.9%

【今回】R7年度単純集計

問25-1 あなたの外出の頻度はどのくらいですか。(〇は1つ)
※ここで言う外出とは、通勤・通学・通院などを含みます。

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
ほぼ毎日	1,968	52.4
週に3~4回	654	17.4
週に1~2回	505	13.4
月に1~3回	301	8.0
ほとんど外出しない	244	6.5
無回答	83	2.2

問25-2 外出に際して、他の人の付き添い(家族・福祉サービス、送迎含む)をどの程度必要としていますか。(〇は1つ) **【新規】**

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
必ず他の人の付き添いが必要	1,157	30.8
ほとんど付き添いが必要	249	6.6
ときどき付き添いが必要	491	13.1
概ね付き添い無しで外出する	1,715	45.7
無回答	143	3.8

問25-3 主にどこに外出していますか。(〇はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
職場	891	23.7
保育所・幼稚園	158	4.2
学校	396	10.5
障害福祉施設(通所事業所、地域療育センター、地域活動支援センターなど)	1,087	28.9
医療機関、リハビリ施設	1,523	40.6
買い物・飲食店	2,425	64.6
散歩、公園など	1,409	37.5
家族・親族・知人などの家	606	16.1
その他	339	9.0
特に外出はしない	80	2.1
無回答	72	1.9

問25-4 外出したときに困ることは、どのくらいありますか。(〇は1つ)

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
よくある	591	15.7
ときどきある	1,286	34.2
ほとんどない	920	24.5
ない	761	20.3
無回答	197	5.2

【前回】R4年度単純集計

問21-1 あなたの外出の頻度はどのくらいですか。(〇は1つ)
※ここで言う外出とは、通勤・通学・通院などを含みます。

カテゴリ名	件数	割合
全体	3593	100.0%
ほぼ毎日	1775	49.4%
週に3~4回	652	18.1%
週に1~2回	482	13.4%
月に1~3回	287	8.0%
ほとんど外出しない	298	8.3%
無回答	99	2.8%

問21-2 主にどこに外出していますか。(〇はいくつでも)

カテゴリ名	件数	割合
全体	3593	100.0%
職場	809	22.5%
保育所・幼稚園	139	3.9%
学校	300	8.3%
障害福祉施設(通所事業所、地域療育センター、地域活動支援センターなど)	770	21.4%
医療機関、リハビリ施設	1240	34.5%
買い物・飲食店	2111	58.8%
散歩、公園など	1215	33.8%
家族・親族・知人などの家	397	11.0%
その他	286	8.0%
特に外出はしない	161	4.5%
無回答	83	2.3%

問21-3 外出したときに困ることは、どのくらいありますか。(〇は1つ)

カテゴリ名	件数	割合
全体	3593	100.0%
よくある	546	15.2%
ときどきある	1155	32.1%
ほとんどない	999	27.8%
ない	720	20.0%
無回答	173	4.8%

【今回】R7年度単純集計

問25-5 あなたが外出しやすくなるためには、どのようなことを充実していく必要があると思いますか。(〇はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
区役所や図書館などの公共施設のバリアフリー対応(障害のある方の利用に配慮した設備など)	637	17.0
店舗など身近な建物のバリアフリー対応(障害のある方の利用に配慮した設備など)	923	24.6
道路のバリアフリー対応(歩道の段差解消や点字ブロックなど)	919	24.5
バスや鉄道などの公共交通機関のバリアフリー対応	882	23.5
公園・緑地のバリアフリー対応(入りやすい出入口、散策しやすい園路など)	541	14.4
まちの中で休憩できるイスや、障害のある方が利用しやすいトイレ	1,490	39.7
わかりやすい案内標示(道路や建物の中など)	733	19.5
まちのバリアフリー情報(バリアフリーマップなど)	415	11.1
市民や交通機関の職員などの理解・協力	1,054	28.1
外出時の介助者の支援	836	22.3
交通費の支援(ふれあいフリーパス、タクシー利用券など)	1,640	43.7
その他	183	4.9
特になし	607	16.2
無回答	207	5.5

【問26-1から問26-5は、運動・スポーツについてお聞きします。】

問26-1 あなたは、過去1年間で、どのくらいの頻度で運動・スポーツをしていますか。行ったすべてのスポーツについて合計してお答えください。(〇は1つ)

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
週に5日以上	380	10.1
週に3~4日	454	12.1
週に1~2日	711	18.9
月に1~3日	351	9.3
3か月に1~2日	103	2.7
年に1~3日	126	3.4
まったく行っていない	1,471	39.2
無回答	159	4.2

【問26-2は、問26-1で「まったく行っていない」とお答えの方のみ、お答えください】

問26-2 あなたが運動・スポーツを行わない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
全体	1,471	100.0
スポーツ施設の情報が不足している	103	7.0
スポーツができる場所が近くにない	186	12.6
スポーツ施設のバリアフリー化やサポート体制が不足している	62	4.2
施設の利用日時が限られている	69	4.7
指導者・サポートする人の不足	126	8.6
一緒に活動する仲間づくりが難しい	196	13.3
お金がかかる	292	19.9
スポーツに興味がない	517	35.1
その他	531	36.1
無回答	52	3.5

【前回】R4年度単純集計

問21-4 あなたが外出しやすくなるためには、どのようなことを充実していく必要があると思いますか。(〇はいくつでも)

カテゴリ名	件数	割合
全体	3593	100.0%
区役所や図書館などの公共施設のバリアフリー対応(障害のある方の利用に配慮した設備など)	645	18.0%
店舗など身近な建物のバリアフリー対応(障害のある方の利用に配慮した設備など)	835	23.2%
道路のバリアフリー対応(歩道の段差解消や点字ブロックなど)	903	25.1%
バスや鉄道などの公共交通機関のバリアフリー対応	891	24.8%
公園・緑地のバリアフリー対応(入りやすい出入口、散策しやすい園路など)	524	14.6%
まちの中で休憩できるイスや、障害のある方が利用しやすいトイレ	1390	38.7%
わかりやすい案内標示(道路や建物の中など)	698	19.4%
まちのバリアフリー情報(バリアフリーマップなど)	410	11.4%
市民や交通機関の職員などの理解・協力	1037	28.9%
外出時の介助者の支援	761	21.2%
交通費の支援(ふれあいフリーパス、タクシー利用券など)	1535	42.7%
その他	222	6.2%
特になし	603	16.8%
無回答	203	5.6%

問22-1 あなたは、過去1年間で、どのくらいの頻度で運動・スポーツをしていますか。

行ったすべてのスポーツについて合計してお答えください。(〇は1つ)

カテゴリ名	件数	割合
全体	3593	100.0%
週に5日以上	443	12.3%
週に3~4日	535	14.9%
週に1~2日	666	18.5%
月に1~3日	312	8.7%
3か月に1~2日	72	2.0%
年に1~3日	133	3.7%
まったく行っていない	1268	35.3%
無回答	164	4.6%

【問22-2は、問22-1で「まったく行っていない」とお答えの方のみ、お答えください】

問22-2 あなたが運動・スポーツを行わない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

カテゴリ名	件数	割合
全体	1268	100.0%
スポーツ施設の情報が不足している	92	7.3%
スポーツができる場所が近くにない	141	11.1%
スポーツ施設のバリアフリー化やサポート体制が不足している	54	4.3%
施設の利用日時が限られている	55	4.3%
指導者・サポートする人の不足	98	7.7%
一緒に活動する仲間づくりが難しい	161	12.7%
お金がかかる	249	19.6%
スポーツに興味がない	442	34.9%
その他	479	37.8%
無回答	51	4.0%

【今回】R7年度単純集計

問26-3 あなたが過去1年間に行った運動・スポーツはどれですか。また、今後どのような運動・スポーツを行いたいですか。それぞれの欄に○をつけてください。(○はいくつでも)
 ※「今後行いたい運動・スポーツ」欄は、現在行っているスポーツ等を今後も継続して行いたい場合も含めて○をつけてください。
 ※1つも○をつけるものがなければ、そのまま問26-4にお進みください。
 これまでに行った運動・スポーツ

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
水泳	648	17.3
陸上競技	210	5.6
サッカー、フットサル(ブラインドサッカーなどを含む)	188	5.0
野球、ソフトボール	167	4.4
バスケットボール(車いすバスケットなどを含む)	134	3.6
卓球(サウンドテーブルテニスなどを含む)	262	7.0
ボウリング	471	12.5
ポッチャ	392	10.4
運動器具(トレーニングマシンなど)を使ってする運動	394	10.5
ウォーキング、ジョギング	1,274	33.9
ラジオ体操、ダンス、ヨガ、ストレッチなどの軽運動	1,102	29.3
その他	200	5.3
無回答・該当なし	1,607	42.8

今後行いたい運動・スポーツ

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
水泳	478	12.7
陸上競技	137	3.6
サッカー、フットサル(ブラインドサッカーなどを含む)	155	4.1
野球、ソフトボール	125	3.3
バスケットボール(車いすバスケットなどを含む)	112	3.0
卓球(サウンドテーブルテニスなどを含む)	190	5.1
ボウリング	270	7.2
ポッチャ	235	6.3
運動器具(トレーニングマシンなど)を使ってする運動	370	9.9
ウォーキング、ジョギング	719	19.1
ラジオ体操、ダンス、ヨガ、ストレッチなどの軽運動	720	19.2
その他	151	4.0
無回答・該当なし	2,209	58.8

【前回】R4年度単純集計

問22-3 あなたが過去1年間に行った運動・スポーツはどれですか。また、今後どのような運動・スポーツを行いたいですか。それぞれの欄に○をつけてください。(○はいくつでも)
 これまでに行った運動・スポーツ

カテゴリ名	件数	割合
全体	3593	100.0%
水泳	453	12.6%
陸上競技	155	4.3%
サッカー、フットサル(ブラインドサッカーなどを含む)	148	4.1%
野球、ソフトボール	117	3.3%
バスケットボール(車いすバスケットなどを含む)	101	2.8%
卓球(サウンドテーブルテニスなどを含む)	183	5.1%
ボウリング	308	8.6%
ポッチャ	222	6.2%
運動器具(トレーニングマシンなど)を使ってする運動	316	8.8%
ウォーキング、ジョギング	1259	35.0%
ラジオ体操、ダンス、ヨガ、ストレッチなどの軽運動	1012	28.2%
その他	253	7.0%
無回答	1522	42.4%

今後行いたい運動・スポーツ

カテゴリ名	件数	割合
全体	3593	100.0%
水泳	447	12.4%
陸上競技	91	2.5%
サッカー、フットサル(ブラインドサッカーなどを含む)	98	2.7%
野球、ソフトボール	89	2.5%
バスケットボール(車いすバスケットなどを含む)	78	2.2%
卓球(サウンドテーブルテニスなどを含む)	185	5.1%
ボウリング	246	6.8%
ポッチャ	177	4.9%
運動器具(トレーニングマシンなど)を使ってする運動	352	9.8%
ウォーキング、ジョギング	849	23.6%
ラジオ体操、ダンス、ヨガ、ストレッチなどの軽運動	794	22.1%
その他	175	4.9%
無回答	1952	54.3%

【今回】R7年度単純集計

問26-4 あなたが運動・スポーツをする場所について、現在利用している場所や、今後利用したい場所はどこですか。それぞれの欄に○をつけてください。(○はいくつでも)

※「今後利用したい場所」欄は、現在利用している場所を今後も継続して利用したい場合も含めて○をつけてください。

※1つも○をつけるものがなければ、そのまま問26-5にお進みください。

現在利用している場所

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
自分の家や庭	839	22.3
近所の空地や道路	498	13.3
公園・広場	665	17.7
学校の体育施設	310	8.3
公共のスポーツ施設	292	7.8
スポーツ施設以外の公共施設(市民館など)	111	3.0
障害者専用のスポーツ施設	125	3.3
民間のスポーツ施設	227	6.0
山、川、海など	256	6.8
その他	240	6.4
無回答・該当なし	1,792	47.7

今後利用したい場所

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
自分の家や庭	438	11.7
近所の空地や道路	340	9.1
公園・広場	502	13.4
学校の体育施設	242	6.4
公共のスポーツ施設	560	14.9
スポーツ施設以外の公共施設(市民館など)	298	7.9
障害者専用のスポーツ施設	367	9.8
民間のスポーツ施設	391	10.4
山、川、海など	363	9.7
その他	158	4.2
無回答・該当なし	2,241	59.7

問26-5 あなたが運動・スポーツをしやすくなるためには、どのようなことを充実していく必要があると思いますか。(○はいくつでも) 【変更・選択肢】

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
スポーツ施設のバリアフリー対応(バリアフリートイレ、障害者用駐車場・更衣室など)	626	16.7
障害者スポーツ用具の設置(車いす卓球台、ポッチャボールセットなど)	365	9.7
スポーツ指導員など、指導を受けられるサポート体制	797	21.2
一緒に活動する仲間づくりの機会	821	21.9
障害のある方が参加できるスポーツ大会やスポーツ教室	584	15.6
スポーツセンターにおける利用料金の減免	795	21.2
スポーツ施設の老朽化への対応(改修工事など)	280	7.5
スポーツができる施設・場所の拡充・整備	888	23.6
スポーツができる施設・場所の情報発信	870	23.2
その他	176	4.7
特に問題ない	843	22.5
無回答	684	18.2

【前回】R4年度単純集計

問22-4 あなたが運動・スポーツをする場所について、現在利用している場所や、今後利用したい場所はどこですか。それぞれの欄に○をつけてください。(○はいくつでも)

現在利用している場所

カテゴリ名	件数	割合
全体	3593	100.0%
自分の家や庭	838	23.3%
近所の空地や道路	562	15.6%
公園・広場	685	19.1%
学校の体育施設	240	6.7%
公共のスポーツ施設	258	7.2%
スポーツ施設以外の公共施設(市民館など)	100	2.8%
障害者専用のスポーツ施設	83	2.3%
民間のスポーツ施設	221	6.2%
山、川、海など	208	5.8%
その他	211	5.9%
無回答	1670	46.5%

今後利用したい場所

カテゴリ名	件数	割合
全体	3593	100.0%
自分の家や庭	512	14.2%
近所の空地や道路	390	10.9%
公園・広場	547	15.2%
学校の体育施設	207	5.8%
公共のスポーツ施設	596	16.6%
スポーツ施設以外の公共施設(市民館など)	286	8.0%
障害者専用のスポーツ施設	312	8.7%
民間のスポーツ施設	309	8.6%
山、川、海など	313	8.7%
その他	122	3.4%
無回答	1966	54.7%

問22-5 あなたが運動・スポーツをしやすくなるためには、どのようなことを充実していく必要があると思いますか。(○はいくつでも)

カテゴリ名	件数	割合
全体	3593	100.0%
スポーツ施設のバリアフリー対応(バリアフリートイレ、障害者用駐車場・更衣室など)	640	17.8%
障害者スポーツ用具の設置(車いす卓球台、ポッチャボールセットなど)	322	9.0%
スポーツ指導員など、指導を受けられるサポート体制	814	22.7%
一緒に活動する仲間づくりの機会	893	24.9%
障害のある方が参加できるスポーツ大会やスポーツ教室	551	15.3%
スポーツセンターにおける利用料金の減免	765	21.3%
スポーツ施設の老朽化への対応(改修工事など)	245	6.8%
スポーツができる施設・場所の拡充・整備	822	22.9%
スポーツができる施設・場所の情報発信	926	25.8%
その他	199	5.5%
特に問題ない	748	20.8%
無回答	668	18.6%

【今回】R7年度単純集計

問27-1 あなたは、これまでに、ピアサポート活動をしたことがありますか。(〇は1つ)

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
したことがある	128	3.4
したことがない	3,291	87.6
無回答	336	8.9

ピアサポートによる支援を受けたことがありますか。(〇は1つ)

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
受けたことがある	130	3.5
受けたことはない	3,221	85.8
無回答	404	10.8

問27-2 あなたは、今後、ピアサポート活動をしたいと思いますか。(〇は1つ)

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
とても思う	142	3.8
少し思う	363	9.7
どちらともいえない	482	12.8
あまり思わない	573	15.3
まったく思わない	492	13.1
分からない	1,237	32.9
その他	47	1.3
無回答	419	11.2

【問27-2で「とても思う」「少し思う」「どちらともいえない」とお答えの方のみ、お答えください】

問27-3 あなたは、ピアサポート活動をするにあたり、あなた自身のどのようなご経験を役立てたいと思いますか。(〇はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
全体	987	100.0
障害や病気に関すること	599	60.7
薬に関すること	247	25.0
対人関係(家族関係)に関すること	288	29.2
主治医や病院職員との接し方に関すること	172	17.4
日常生活(買い物や家事など)に関すること	320	32.4
福祉制度に関すること	215	21.8
趣味や余暇に関すること	294	29.8
分からない	159	16.1
その他	29	2.9
無回答	39	4.0

【問27-2で「とても思う」「少し思う」「どちらともいえない」とお答えの方のみ、お答えください】

問27-4 あなたは、ピアサポート活動をするにあたり、心配だと思えることはありますか。(〇はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
全体	987	100.0
相手の役に立てるか心配	411	41.6
相談内容をじっくり聴けるか心配	239	24.2
支援活動をしながら、自分の体調を保てるか心配	259	26.2
相談された内容を秘密として守れるか心配	106	10.7
困った時に相談できる専門職がいるか心配	304	30.8
相談を受ける技術を磨くための研修の機会があるか心配	176	17.8
活動をするにあたっての費用や報酬がもらえるか心配	128	13.0
その他	45	4.6
心配だと思えることはない	117	11.9
無回答	121	12.3

【前回】R4年度単純集計

問23-1 あなたは、これまでに、ピアサポート活動をしたことがありますか。また、ピアサポートによる支援を受けたことがありますか。(活動をしたか、支援を受けたか、それぞれ〇は1つ)

カテゴリ名	件数	割合
全体	3593	100.0%
したことがある	105	2.9%
したことがない	3234	90.0%
無回答	254	7.1%

カテゴリ名	件数	割合
全体	3593	100.0%
受けたことがある	102	2.8%
受けたことはない	3163	88.0%
無回答	328	9.1%

問23-2 あなたは、今後、ピアサポート活動をしたいと思いますか。(〇は1つ)

カテゴリ名	件数	割合
全体	3593	100.0%
とても思う	160	4.5%
少し思う	393	10.9%
どちらともいえない	435	12.1%
あまり思わない	568	15.8%
まったく思わない	458	12.7%
分からない	1205	33.5%
その他	38	1.1%
無回答	336	9.4%

【問23-2で「1」「2」「3」とお答えの方のみ、お答えください】問23-3 あなたは、ピアサポート活動をするにあたり、あなた自身のどのようなご経験を役立てたいと思いますか。(〇はいくつでも)

カテゴリ名	件数	割合
全体	988	100.0%
障害や病気に関すること	597	60.4%
薬に関すること	268	27.1%
対人関係(家族関係)に関すること	290	29.4%
主治医や病院職員との接し方に関すること	174	17.6%
日常生活(買い物や家事など)に関すること	333	33.7%
福祉制度に関すること	241	24.4%
趣味や余暇に関すること	307	31.1%
分からない	166	16.8%
その他	27	2.7%
無回答	25	2.5%

【問23-2で「1」「2」「3」とお答えの方のみ、お答えください】問23-4 あなたは、ピアサポート活動をするにあたり、心配だと思えることはありますか。(〇はいくつでも)

カテゴリ名	件数	割合
全体	988	100.0%
相手の役に立てるか心配	471	47.7%
相談内容をじっくり聴けるか心配	238	24.1%
支援活動をしながら、自分の体調を保てるか心配	320	32.4%
相談された内容を秘密として守れるか心配	114	11.5%
困った時に相談できる専門職がいるか心配	348	35.2%
相談を受ける技術を磨くための研修の機会があるか心配	197	19.9%
活動をするにあたっての費用や報酬がもらえるか心配	144	14.6%
その他	46	4.7%
心配だと思えることはない	98	9.9%
無回答	107	10.8%

【今回】R7年度単純集計

問28 あなたには、かかりつけ医（健康のことを何でも相談でき、必要なときは専門の医療機関へ紹介してくれる、身近にいて頼りになる医師）がいますか。【新規】

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
いる	2,685	71.5
いない	640	17.0
無回答	430	11.5

問29 あなたは、障害のある方の歯の治療などを行う「歯科保健センター」を知っていますか。（○は1つ）

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
知っている	801	21.3
知らない	2,780	74.0
無回答	174	4.6

今後利用したいと思いますか。（○は1つ）

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
今後、利用したい	1,196	31.9
特に利用希望はない	2,067	55.0
無回答	492	13.1

問30-1 あなたは、過去1年間に、歯科治療を受けていますか。（○は1つ）【変更・選択肢】

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
歯科保健センターで受けている	230	6.1
民間の歯科診療所などで受けている	2,024	53.9
大学病院・病院などで受けている	249	6.6
特に受けていない	1,121	29.9
無回答	131	3.5

【問30-1で「歯科保健センターで受けている」「民間の歯科診療所などで受けている」「大学病院・病院などで受けている」とお答えの方のみ、お答えください】

問30-2 歯科治療を予約後、受診までの期間はどのくらいですか。（○は1つ）【新規】

カテゴリ	件数	割合
全体	2,503	100.0
2～3週間以内	1,024	40.9
1か月程度	449	17.9
2～3か月程度	752	30.0
それ以上	215	8.6
無回答	63	2.5

【問30-1で「特に受けていない」とお答えの方のみ、お答えください】

問30-3 歯科治療を受けていない理由は何ですか。（○はいくつでも）

カテゴリ	件数	割合
全体	1,121	100.0
自分が受けたい治療をどこで受けられるか分からないため	132	11.8
通院にあたり移動手段が確保できないため	81	7.2
通院にあたり補助者が確保できないため	64	5.7
時間やお金がかかるため	244	21.8
特に必要とは思わないため	527	47.0
その他	172	15.3
無回答	89	7.9

【前回】R4年度単純集計

問24 あなたは、障害のある方の歯の治療などを行う「歯科保健センター」を知っていますか。また、今後利用したいと思いますか。（知っているか、利用したいか、それぞれ○は1つ）

カテゴリ名	件数	割合
全体	3593	100.0%
知っている	568	15.8%
知らない	2806	78.1%
無回答	219	6.1%

カテゴリ名	件数	割合
全体	3593	100.0%
今後、利用したい	1096	30.5%
特に利用希望はない	2008	55.9%
無回答	489	13.6%

問25 あなたは、過去1年間に、歯科治療を受けていますか。（○は1つ）

カテゴリ名	件数	割合
全体	3593	100.0%
歯科保健センターで受けている	148	4.1%
民間の歯科診療所などで受けている	2207	61.4%
特に受けていない	980	27.3%
無回答	258	7.2%

【「3 特に受けていない」とお答えの方のみ、その理由を次の①～⑥の中から選び、○をつけてください（○はいくつでも）】

カテゴリ名	件数	割合
全体	980	100.0%
自分が受けたい治療をどこで受けられるか分からないため	121	12.3%
通院にあたり移動手段が確保できないため	64	6.5%
通院にあたり補助者が確保できないため	53	5.4%
時間やお金がかかるため	207	21.1%
特に必要とは思わないため	491	50.1%
その他	180	18.4%
無回答	31	3.2%

【今回】R7年度単純集計

問31-1 あなたは、地震や台風などの大きな災害が発生したときに、避難したことがありますか。(〇は1つ)

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
避難したことがある	280	7.5
特に避難したことはない	3,348	89.2
無回答	127	3.4

問31-2 あなたは、地震や台風などの大きな災害が発生したときの支援として、どのようなことを充実していく必要があると思いますか。(〇はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
一般的な避難所における専用スペース(障害のある方が安心して利用できる場所)	1,999	53.2
一般的な避難所におけるバリアフリー対応(障害のある方が利用しやすい仮設トイレなど)	1,443	38.4
一般的な避難所では生活に支障をきたす方を受け入れる専門の避難所(二次避難所)	1,475	39.3
避難所において必要な療養などを継続するために電源を使用できること	1,072	28.5
避難所において多様な情報伝達手段で案内すること(音声だけではなく文字媒体でも案内するなど)	895	23.8
一人ひとりの状況に応じた具体的な避難計画をあらかじめ作成すること	935	24.9
多様な媒体で災害情報や防災情報を発信すること	1,002	26.7
その他	204	5.4
特になし	484	12.9
無回答	227	6.0

問32-1 あなたは、地震や台風などの大きな災害が発生したときの対策として、家具転倒防止対策を行っていますか。(〇は1つ) **【新規】**

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
はい	1,580	42.1
いいえ	2,032	54.1
無回答	143	3.8

問32-2 あなたは、地震や台風などの大きな災害が発生したときに、どこに避難する予定ですか。(〇は1つ) **【新規】**

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
一次避難所(近隣の小学校など)	1,535	40.9
近所の人(友人、知人)の家	25	0.7
親戚の家	57	1.5
自宅に留まる(在宅避難)	1,909	50.8
無回答	229	6.1

【前回】R4年度単純集計

問26-1 あなたは、地震や台風などの大きな災害が発生したときに、避難したことがありますか。(〇は1つ)

カテゴリ名	件数	割合
全体	3593	100.0%
避難したことがある	321	8.9%
特に避難したことはない	3157	87.9%
無回答	115	3.2%

問26-2 あなたは、地震や台風などの大きな災害が発生したときの支援として、どのようなことを充実していく必要があると思いますか。(〇はいくつでも)

カテゴリ名	件数	割合
全体	3593	100.0%
一般的な避難所における専用スペース(障害のある方が安心して利用できる場所)	1785	49.7%
一般的な避難所におけるバリアフリー対応(障害のある方が利用しやすい仮設トイレなど)	1345	37.4%
一般的な避難所では生活に支障をきたす方を受け入れる専門の避難所(二次避難所)	1319	36.7%
避難所において必要な療養などを継続するために電源を使用できること	1008	28.1%
避難所において多様な情報伝達手段で案内すること(音声だけではなく文字媒体でも案内するなど)	926	25.8%
一人ひとりの状況に応じた具体的な避難計画をあらかじめ作成すること	933	26.0%
多様な媒体で災害情報や防災情報を発信すること	956	26.6%
その他	218	6.1%
特になし	466	13.0%
無回答	235	6.5%

【今回】R7年度単純集計

問33-1 次の障害福祉サービス等について、今後3年以内の利用予定をお答えください。（利用予定があるサービスについて、サービスごとに○は1つ。なお、現在利用しておらず、今後も利用予定がないサービスについては、○をつける必要はありません。）【変更・設問】
これまでどおり利用

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
生活介護	632	16.8
自立訓練（機能訓練・生活訓練）	400	10.7
就労移行支援	95	2.5
就労継続支援（A型・B型）	215	5.7
就労定着支援	107	2.8
地域活動支援センター	232	6.2
短期入所（ショートステイ）	256	6.8
日中一時支援	217	5.8
療養介護	121	3.2
居宅介護（ホームヘルプサービス）	172	4.6
重度訪問介護	98	2.6
行動援護	182	4.8
同行援護	36	1.0
訪問入浴サービス事業	98	2.6
共同生活援助（グループホーム）	343	9.1
施設入所支援（入所施設）	169	4.5
自立訓練（宿泊型）	38	1.0
自立生活援助	44	1.2
計画相談支援	551	14.7
地域移行支援	53	1.4
地域定着支援	33	0.9
障害児相談支援	191	5.1
児童発達支援	146	3.9
医療型児童発達支援	42	1.1
放課後等デイサービス	265	7.1
保育所等訪問支援	75	2.0
居宅訪問型児童発達支援	12	0.3
障害児入所支援	30	0.8
コミュニケーション支援事業	28	0.7
日常生活用具給付等事業	250	6.7
移動支援	190	5.1
通学・通所支援	133	3.5
無回答・該当なし	1,934	51.5

【前回】R4年度単純集計

問28-1 次の障害福祉サービスについて、今後の利用予定をお答えください。

これまでどおり利用

カテゴリ一名	件数	割合
全体	3593	100.0%
生活介護	494	13.7%
自立訓練（機能訓練・生活訓練）	300	8.3%
就労移行支援	86	2.4%
就労継続支援（A型・B型）	168	4.7%
就労定着支援	80	2.2%
地域活動支援センター	197	5.5%
短期入所（ショートステイ）	151	4.2%
日中一時支援	145	4.0%
療養介護	99	2.8%
居宅介護（ホームヘルプサービス）	121	3.4%
重度訪問介護	45	1.3%
行動援護	109	3.0%
同行援護	37	1.0%
訪問入浴サービス事業	56	1.6%
共同生活援助（グループホーム）	245	6.8%
施設入所支援（入所施設）	170	4.7%
自立訓練（宿泊型）	26	0.7%
自立生活援助	33	0.9%
計画相談支援	353	9.8%
地域移行支援	38	1.1%
地域定着支援	29	0.8%
障害児相談支援	118	3.3%
児童発達支援	141	3.9%
医療型児童発達支援	24	0.7%
放課後等デイサービス	199	5.5%
保育所等訪問支援	33	0.9%
居宅訪問型児童発達支援	9	0.3%
障害児入所支援	20	0.6%
コミュニケーション支援事業	21	0.6%
日常生活用具給付等事業	178	5.0%
移動支援	123	3.4%
通学・通所支援	62	1.7%
無回答	2128	59.2%

【今回】R7年度単純集計

利用を増やす・新たに利用開始

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
生活介護	126	3.4
自立訓練（機能訓練・生活訓練）	129	3.4
就労移行支援	167	4.4
就労継続支援（A型・B型）	154	4.1
就労定着支援	138	3.7
地域活動支援センター	152	4.0
短期入所（ショートステイ）	236	6.3
日中一時支援	191	5.1
療養介護	85	2.3
居宅介護（ホームヘルプサービス）	96	2.6
重度訪問介護	74	2.0
行動援護	128	3.4
同行援護	50	1.3
訪問入浴サービス事業	79	2.1
共同生活援助（グループホーム）	136	3.6
施設入所支援（入所施設）	104	2.8
自立訓練（宿泊型）	80	2.1
自立生活援助	62	1.7
計画相談支援	139	3.7
地域移行支援	38	1.0
地域定着支援	61	1.6
障害児相談支援	74	2.0
児童発達支援	43	1.1
医療型児童発達支援	30	0.8
放課後等デイサービス	130	3.5
保育所等訪問支援	37	1.0
居宅訪問型児童発達支援	17	0.5
障害児入所支援	28	0.7
コミュニケーション支援事業	18	0.5
日常生活用具給付等事業	105	2.8
移動支援	153	4.1
通学・通所支援	110	2.9
無回答・該当なし	2,839	75.6

【前回】R4年度単純集計

利用を増やす・新たに利用開始

カテゴリー名	件数	割合
全体	3593	100.0%
生活介護	116	3.2%
自立訓練（機能訓練・生活訓練）	141	3.9%
就労移行支援	161	4.5%
就労継続支援（A型・B型）	147	4.1%
就労定着支援	129	3.6%
地域活動支援センター	152	4.2%
短期入所（ショートステイ）	196	5.5%
日中一時支援	186	5.2%
療養介護	59	1.6%
居宅介護（ホームヘルプサービス）	85	2.4%
重度訪問介護	47	1.3%
行動援護	107	3.0%
同行援護	29	0.8%
訪問入浴サービス事業	60	1.7%
共同生活援助（グループホーム）	97	2.7%
施設入所支援（入所施設）	62	1.7%
自立訓練（宿泊型）	81	2.3%
自立生活援助	92	2.6%
計画相談支援	115	3.2%
地域移行支援	49	1.4%
地域定着支援	64	1.8%
障害児相談支援	53	1.5%
児童発達支援	41	1.1%
医療型児童発達支援	18	0.5%
放課後等デイサービス	81	2.3%
保育所等訪問支援	24	0.7%
居宅訪問型児童発達支援	14	0.4%
障害児入所支援	23	0.6%
コミュニケーション支援事業	22	0.6%
日常生活用具給付等事業	108	3.0%
移動支援	158	4.4%
通学・通所支援	75	2.1%
無回答	2852	79.4%

【今回】R7年度単純集計

利用を減らす・やめる

カテゴリ	件数	割合
全 体	3,755	100.0
生活介護	15	0.4
自立訓練（機能訓練・生活訓練）	16	0.4
就労移行支援	19	0.5
就労継続支援（A型・B型）	19	0.5
就労定着支援	18	0.5
地域活動支援センター	11	0.3
短期入所（ショートステイ）	20	0.5
日中一時支援	12	0.3
療養介護	9	0.2
居宅介護（ホームヘルプサービス）	9	0.2
重度訪問介護	9	0.2
行動援護	11	0.3
同行援護	9	0.2
訪問入浴サービス事業	9	0.2
共同生活援助（グループホーム）	17	0.5
施設入所支援（入所施設）	11	0.3
自立訓練（宿泊型）	8	0.2
自立生活援助	6	0.2
計画相談支援	10	0.3
地域移行支援	8	0.2
地域定着支援	7	0.2
障害児相談支援	10	0.3
児童発達支援	13	0.3
医療型児童発達支援	10	0.3
放課後等デイサービス	17	0.5
保育所等訪問支援	13	0.3
居宅訪問型児童発達支援	12	0.3
障害児入所支援	10	0.3
コミュニケーション支援事業	6	0.2
日常生活用具給付等事業	6	0.2
移動支援	5	0.1
通学・通所支援	12	0.3
無回答・該当なし	3,638	96.9

【前回】R4年度単純集計

利用を減らす・やめる

カテゴリー名	件数	割合
全 体	3593	100.0%
生活介護	11	0.3%
自立訓練（機能訓練・生活訓練）	15	0.4%
就労移行支援	20	0.6%
就労継続支援（A型・B型）	14	0.4%
就労定着支援	14	0.4%
地域活動支援センター	11	0.3%
短期入所（ショートステイ）	12	0.3%
日中一時支援	8	0.2%
療養介護	10	0.3%
居宅介護（ホームヘルプサービス）	12	0.3%
重度訪問介護	9	0.3%
行動援護	9	0.3%
同行援護	11	0.3%
訪問入浴サービス事業	11	0.3%
共同生活援助（グループホーム）	13	0.4%
施設入所支援（入所施設）	11	0.3%
自立訓練（宿泊型）	11	0.3%
自立生活援助	7	0.2%
計画相談支援	12	0.3%
地域移行支援	8	0.2%
地域定着支援	10	0.3%
障害児相談支援	11	0.3%
児童発達支援	18	0.5%
医療型児童発達支援	10	0.3%
放課後等デイサービス	15	0.4%
保育所等訪問支援	15	0.4%
居宅訪問型児童発達支援	11	0.3%
障害児入所支援	13	0.4%
コミュニケーション支援事業	13	0.4%
日常生活用具給付等事業	10	0.3%
移動支援	9	0.3%
通学・通所支援	12	0.3%
無回答	3506	97.6%

【今回】R7年度単純集計

問33-2 問33-1の1～32のサービスについて、今後、事業所やヘルパーの数を増やすなど、更に利用しやすくしてほしいサービスはありますか。(〇はいくつでも)
※特に該当のない場合は、そのまま問34にお進みください。

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
生活介護	424	11.3
自立訓練(機能訓練・生活訓練)	260	6.9
就労移行支援	197	5.2
就労継続支援(A型・B型)	262	7.0
就労定着支援	157	4.2
地域活動支援センター	195	5.2
短期入所(ショートステイ)	386	10.3
日中一時支援	274	7.3
療養介護	95	2.5
居宅介護(ホームヘルプサービス)	191	5.1
重度訪問介護	98	2.6
行動援護	199	5.3
同行援護	126	3.4
訪問入浴サービス事業	137	3.6
共同生活援助(グループホーム)	292	7.8
施設入所支援(入所施設)	257	6.8
自立訓練(宿泊型)	88	2.3
自立生活援助	99	2.6
計画相談支援	164	4.4
地域移行支援	43	1.1
地域定着支援	50	1.3
障害児相談支援	110	2.9
児童発達支援	136	3.6
医療型児童発達支援	50	1.3
放課後等デイサービス	229	6.1
保育所等訪問支援	41	1.1
居宅訪問型児童発達支援	26	0.7
障害児入所支援	67	1.8
コミュニケーション支援事業	90	2.4
日常生活用具給付等事業	150	4.0
移動支援	321	8.5
通学・通所支援	235	6.3
無回答	2,245	59.8

【前回】R4年度単純集計

問28-2 上記1～32のサービスについて、今後、事業所やヘルパーの数を増やすなど、更に利用しやすくしてほしいサービスはありますか。(〇はいくつでも)

カテゴリ名	件数	割合
全体	3593	100.0%
生活介護	376	10.5%
自立訓練(機能訓練・生活訓練)	257	7.2%
就労移行支援	225	6.3%
就労継続支援(A型・B型)	251	7.0%
就労定着支援	183	5.1%
地域活動支援センター	165	4.6%
短期入所(ショートステイ)	275	7.7%
日中一時支援	203	5.6%
療養介護	81	2.3%
居宅介護(ホームヘルプサービス)	172	4.8%
重度訪問介護	65	1.8%
行動援護	180	5.0%
同行援護	118	3.3%
訪問入浴サービス事業	121	3.4%
共同生活援助(グループホーム)	246	6.8%
施設入所支援(入所施設)	205	5.7%
自立訓練(宿泊型)	101	2.8%
自立生活援助	121	3.4%
計画相談支援	149	4.1%
地域移行支援	57	1.6%
地域定着支援	61	1.7%
障害児相談支援	96	2.7%
児童発達支援	127	3.5%
医療型児童発達支援	46	1.3%
放課後等デイサービス	166	4.6%
保育所等訪問支援	41	1.1%
居宅訪問型児童発達支援	27	0.8%
障害児入所支援	58	1.6%
コミュニケーション支援事業	89	2.5%
日常生活用具給付等事業	138	3.8%
移動支援	275	7.7%
通学・通所支援	153	4.3%
無回答	2173	60.5%

【今回】R7年度単純集計

問34 川崎市の障害福祉施策に関することで、あなたが要望したいことがあれば、関連が深いジャンルを次の「相談支援」～「その他」の中からお選びいただき、御自由にお書きください。（〇はいくつでも）

カテゴリ	件数	割合
全 体	3,755	100.0
相談支援	817	21.8
障害福祉サービス・施設全般	643	17.1
障害児関連（療育・保育・教育など）	295	7.9
住まい	478	12.7
施設・病院等から地域生活への移行	161	4.3
保健・医療	486	12.9
雇用・就労	436	11.6
障害のある方の権利擁護	345	9.2
情報アクセス・コミュニケーション	283	7.5
障害への地域・社会の理解	454	12.1
スポーツや文化芸術活動	229	6.1
外出・バリアフリー	434	11.6
災害時対策	482	12.8
その他	115	3.1
無回答	1,612	42.9

【問35は、御家族・親族などがあなたの介助をしている場合のみ、お答えください】

問35 将来、親や配偶者などの親族が病気などであなたの介助等ができなくなった場合、あなたはどのような生活を希望しますか。（〇は1つ）

カテゴリ	件数	割合
全 体	2,060	100.0
一人暮らしをしたい	289	14.0
その他の親族と生活したい	190	9.2
グループホームで生活したい	296	14.4
入所施設で生活したい	285	13.8
老人ホームなどの高齢者の施設に入って生活したい	136	6.6
病院に入院したい、入院を継続したい	44	2.1
その他	95	4.6
無回答	725	35.2

【問36は、福祉製品等を購入したことがある方や、購入を検討したことがある方のみ、お答えください】

問36 福祉製品等を購入・使用する際に、あなたが課題と感じていることはありますか。（〇はいくつでも）【変更・選択肢】

カテゴリ	件数	割合
全 体	3,755	100.0
何を見て選べば良いか、良い製品の探し方や判断基準が分からない	365	9.7
自身に合う福祉製品がない（支援ニーズが製品に反映されない）	129	3.4
値段が高い	472	12.6
欲しい製品が介護保険や障害福祉サービスの給付対象になっていない	218	5.8
製品を購入したが、自身に合っていない	54	1.4
故障した際の問い合わせ先が不明であるなど、購入後のサポート体制が不十分	61	1.6
製品を購入した後、企業からの製品に関するアップデート情報が不足している	48	1.3
購入しようと思った製品が販売終了となっている	31	0.8
試しに使う機会が不足しており、製品を購入した後に後悔することがある	147	3.9
その他	61	1.6
特になし	479	12.8
無回答	2,480	66.0

【前回】R4年度単純集計

問29 川崎市の障害福祉施策に関することで、あなたが要望したいことがあれば、関連が深いジャンルを次の1～14の中からお選びいただき、御自由にお書きください。（〇はいくつでも）

カテゴリ名	件数	割合
全 体	3593	100.0%
相談支援	671	18.7%
障害福祉サービス・施設全般	488	13.6%
障害児関連（療育・保育・教育など）	228	6.3%
住まい	393	10.9%
施設・病院等から地域生活への移行	141	3.9%
保健・医療	421	11.7%
雇用・就労	463	12.9%
障害のある方の権利擁護	288	8.0%
情報アクセス・コミュニケーション	255	7.1%
障害への地域・社会の理解	413	11.5%
スポーツや文化芸術活動	176	4.9%
外出・バリアフリー	413	11.5%
災害時対策	429	11.9%
その他	134	3.7%
無回答	1627	45.3%

【問30は、御家族・親族などがあなたの介助をしている場合のみ、お答えください】問30 将来、親や配偶者などの親族が病気などであなたの介助等ができなくなった場合、あなたはどのような生活を希望しますか。（〇は1つ）

カテゴリ名	件数	割合
全 体	1253	100.0%
一人暮らしをしたい	325	25.9%
その他の親族と生活したい	189	15.1%
グループホームで生活したい	212	16.9%
入所施設で生活したい	191	15.2%
老人ホームなどの高齢者の施設に入って生活したい	154	12.3%
病院に入院したい、入院を継続したい	46	3.7%
その他	101	8.1%
不明	35	2.8%

【問31は、福祉製品等を購入したことがある方や、購入を検討したことがある方のみ、お答えください】問31 福祉製品等を購入・使用する際に、あなたが課題と感じていることはありますか。（〇はいくつでも）

カテゴリ名	件数	割合
全 体	909	100.0%
何を見て選べば良いか、良い製品の探し方や判断基準が分からない	239	26.3%
自身に合う福祉製品がない（支援ニーズが製品に反映されない）	78	8.6%
値段が高い	314	34.5%
欲しい製品が介護保険や障害福祉サービスの給付対象になっていない	146	16.1%
製品を購入したが、自身に合っていない	36	4.0%
故障した際の問い合わせ先が不明であるなど、購入後のサポート体制が不十分	58	6.4%
製品を購入した後、企業からの製品に関するアップデート情報が不足している	46	5.1%
購入しようと思った製品が販売終了となっている	28	3.1%
その他	50	5.5%
特になし	359	39.5%
無回答	0	0.0%

【今回】R7年度単純集計

【問37と問38は、18歳未満のお子さんの保護者・御家族の方のみ、お答えください】
問37 お子さんの障害に気づいたきっかけは何ですか。（〇はいくつでも）

カテゴリ	件数	割合
全 体	493	100.0
妊娠中の健診などで知らされた	31	6.3
産まれて間もなく病院で知らされた	113	22.9
乳幼児健診で知らされた	117	23.7
医療機関を受診したときに知らされた	72	14.6
保育所・幼稚園等の職員が気づいた	61	12.4
学校の職員が気づいた	14	2.8
家族やまわりの人が気づいた	89	18.1
兄弟姉妹、周りの同年代の子と比べて違いが気になった	132	26.8
その他	30	6.1
無回答	34	6.9

問38 学校などの学びの場に望むことはありますか。（〇はいくつでも）

カテゴリ	件数	割合
全 体	493	100.0
就学相談など、相談体制の充実	250	50.7
能力や障害の状態に応じた指導の充実	330	66.9
職員の専門性の向上（障害特性の理解や指導力の向上など）	302	61.3
職員の増員	241	48.9
施設、設備、教材の充実	190	38.5
進路支援・進路指導の充実	231	46.9
療育指導（理学療法、言語や難聴指導など）が受けられること	272	55.2
医療的ケア（導尿、経管栄養、痰の吸引など）が受けられること	74	15.0
障害のある子供もいない子供も交流及び共同学習等を通して、理解を深めることのできるような機会の充実	198	40.2
障害を理由としたいじめや不登校などの対応	169	34.3
通学するための送迎や交通手段の充実	225	45.6
その他	32	6.5
特に望むことはない	10	2.0
無回答	32	6.5

【問39は、小学校入学前のお子さんの保護者・御家族の方のみ、お答えください】
問39 保育所や幼稚園に望むことはありますか。（〇はいくつでも）

カテゴリ	件数	割合
全 体	145	100.0
相談体制の充実	66	45.5
能力や障害の状態に応じた対応・支援の充実	108	74.5
職員の増員	68	46.9
施設、設備、教材の充実	47	32.4
まわりの保護者や子どもたちの理解を深めるような交流機会の充実	61	42.1
医療的ケア（導尿、経管栄養、痰の吸引など）が多くの施設で受けられること	30	20.7
保育所・幼稚園への入園の他に、短時間の預かりなどにも対応すること	62	42.8
その他	7	4.8
特に望むことはない	3	2.1
無回答	10	6.9

【前回】R4年度単純集計

【問32と問33は、18歳未満のお子さんの保護者・御家族の方のみ、お答えください】
問32 お子さんの障害に気づいたきっかけは何ですか。（〇はいくつでも）

カテゴリ一名	件数	割合
全 体	442	100.0%
妊娠中の健診などで知らされた	16	3.6%
産まれて間もなく病院で知らされた	89	20.1%
乳幼児健診で知らされた	102	23.1%
医療機関を受診したときに知らされた	80	18.1%
保育所・幼稚園等の職員が気づいた	60	13.6%
学校の職員が気づいた	13	2.9%
家族やまわりの人が気づいた	92	20.8%
兄弟姉妹、周りの同年代の子と比べて違いが気になった	140	31.7%
その他	50	11.3%
不明	0	0.0%

問33 学校などの学びの場に望むことはありますか。（〇はいくつでも）

カテゴリ一名	件数	割合
全 体	547	100.0%
就学相談など、相談体制の充実	243	44.4%
能力や障害の状態に応じた指導の充実	329	60.1%
職員の専門性の向上（障害特性の理解や指導力の向上など）	317	58.0%
職員の増員	243	44.4%
施設、設備、教材の充実	202	36.9%
進路支援・進路指導の充実	256	46.8%
療育指導（理学療法、言語や難聴指導など）が受けられること	245	44.8%
医療的ケア（導尿、経管栄養、痰の吸引など）が受けられること	58	10.6%
障害のある子供もいない子供も交流及び共同学習等を通して、理解を深めることのできるような機会の充実	229	41.9%
障害を理由としたいじめや不登校などの対応	193	35.3%
通学するための送迎や交通手段の充実	207	37.8%
その他	34	6.2%
特に望むことはない	67	12.2%
不明	0	0.0%

【問34は、小学校学前のお子さんの保護者・御家族の方のみ、お答えください】
問34 保育所や幼稚園に望むことはありますか。（〇はいくつでも）

カテゴリ一名	件数	割合
全 体	177	100.0%
相談体制の充実	73	41.2%
能力や障害の状態に応じた対応・支援の充実	103	58.2%
職員の増員	84	47.5%
施設、設備、教材の充実	59	33.3%
まわりの保護者や子どもたちの理解を深めるような交流機会の充実	66	37.3%
医療的ケア（導尿、経管栄養、痰の吸引など）が多くの施設で受けられること	24	13.6%
保育所・幼稚園への入園の他に、短時間の預かりなどにも対応すること	68	38.4%
その他	17	9.6%
特に望むことはない	28	15.8%
不明	0	0.0%

【今回】R7年度単純集計

【問40-1、問40-2は、18歳以上の方のみ、お答えください】
問40-1 あなたの主な収入は何ですか。(〇はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
全 体	3,143	100.0
給料・報酬・事業収入（企業や自営業などで働いている場合）	724	23.0
通所事業所などでの作業工賃	297	9.4
年金・手当	1,604	51.0
生活保護費	236	7.5
親族の扶養または援助	370	11.8
その他	95	3.0
無回答	707	22.5

問40-2 「問40-1」で回答した、主な収入のひと月の金額を教えてください。【新規】

カテゴリ	件数	割合
全 体	2,436	100.0
1万円未満	123	5.0
1～5万円未満	96	3.9
5～10万円未満	391	16.1
10～20万円未満	507	20.8
20～30万円未満	245	10.1
30万円以上	203	8.3
無回答	871	35.8

【問41-1～問41-3は、企業や自営業などで働いている方や、通所事業所・地域活動支援センターなどで働いている方（作業工賃などを得ている方）のみ、お答えください】

問41-1 1週間にどのくらい働いていますか。(〇は1つ)

カテゴリ	件数	割合
全 体	1,017	100.0
1～5時間	122	12.0
6～10時間	192	18.9
11～20時間	118	11.6
21～30時間	153	15.0
31時間以上	344	33.8
無回答	88	8.7

問41-2 どのような種類の仕事をしていますか。(〇はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
全 体	1,017	100.0
事務	245	24.1
販売・接客	69	6.8
調理・飲食	51	5.0
製造	144	14.2
建築・建設・土木関係	22	2.2
コンピューター・通信関係	92	9.0
医療・福祉・教育関係	77	7.6
清掃・警備関係	107	10.5
ドライバー・運送関係	23	2.3
その他	240	23.6
無回答	79	7.8

【前回】R4年度単純集計

【問35は、18歳以上の方のみ、お答えください】
問35 あなたの主な収入は何ですか。(〇はいくつでも)

カテゴリ一名	件数	割合
全 体	3071	100.0%
給料・報酬・事業収入（企業や自営業などで働いている場合）	648	21.1%
通所事業所などでの作業工賃	171	5.6%
年金・手当	1470	47.9%
生活保護費	251	8.2%
親族の扶養または援助	366	11.9%
その他	85	2.8%
無回答	802	26.1%

【問36-1～問36-3は、企業や自営業などで働いている方や、通所事業所・地域活動支援センターなどで働いている方（作業工賃などを得ている方）のみ、お答えください】問36-1 1週間にどのくらい働いていますか。(〇は1つ)

カテゴリ一名	件数	割合
全 体	1082	100.0%
1～5時間	182	16.8%
6～10時間	180	16.6%
11～20時間	136	12.6%
21～30時間	176	16.3%
31時間以上	397	36.7%
不明	11	1.0%

問36-2 どのような種類の仕事をしていますか。(〇はいくつでも)

カテゴリ一名	件数	割合
全 体	1082	100.0%
事務	267	24.7%
販売・接客	99	9.1%
調理・飲食	53	4.9%
製造	136	12.6%
建築・建設・土木関係	38	3.5%
コンピューター・通信関係	102	9.4%
医療・福祉・教育関係	86	7.9%
清掃・警備関係	99	9.1%
ドライバー・運送関係	35	3.2%
その他	262	24.2%
不明	40	3.7%

【今回】R7年度単純集計

問41-3 現在働いている中で、課題になっていることはありますか。(〇はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
全体	1,017	100.0
働く自信がなかなか持てない	99	9.7
体調や生活の自己管理が難しい	254	25.0
職場の人間関係がうまくいかない	128	12.6
体調の変化への配慮など、職場の理解が得にくい	120	11.8
自身に適した仕事ではない(業務内容のミスマッチ)	54	5.3
職場環境(バリアフリー、音、においなど)が合わない	35	3.4
通勤が難しい	78	7.7
介助が必要である	45	4.4
支給される給料、作業工賃が安い	213	20.9
特になし	339	33.3
その他	57	5.6
無回答	106	10.4

【問42～問43-3は、18歳以上の方で、現在働いていない方のみ、お答えください】

問42 あなたは、今後(将来)、働きたいですか。(〇は1つ)

カテゴリ	件数	割合
全体	1,947	100.0
企業や自営業などで働きたい	182	9.3
通所事業所・地域活動支援センターなどで働きたい(作業工員など)	113	5.8
家で家事などをしたい	75	3.9
病気や高齢、体力的な問題などのため働けない	346	17.8
働きたくない	177	9.1
分からない	178	9.1
その他	104	5.3
無回答	772	39.7

【問43-1～問43-3は、問42で「企業や自営業などで働きたい」「通所事業所・地域活動支援センターなどで働きたい(作業工員など)」とお答えの方のみ、お答えください】

問43-1 1週間にどのくらい働きたいですか。(〇は1つ)

カテゴリ	件数	割合
全体	295	100.0
1～5時間	46	15.6
6～10時間	48	16.3
11～20時間	55	18.6
21～30時間	45	15.3
31時間以上	42	14.2
まだ分からない	50	16.9
無回答	9	3.1

問43-2 どのような種類の仕事をしたいですか。(〇はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
全体	295	100.0
事務	89	30.2
販売・接客	45	15.3
調理・飲食	28	9.5
製造	63	21.4
建築・建設・土木関係	8	2.7
コンピューター・通信関係	58	19.7
医療・福祉・教育関係	32	10.8
清掃・警備関係	41	13.9
ドライバー・運送関係	16	5.4
その他	59	20.0
無回答	18	6.1

【前回】R4年度単純集計

問36-3 現在働いている中で、課題になっていることはありますか。(〇はいくつでも)

カテゴリ名	件数	割合
全体	1082	100.0%
働く自信がなかなか持てない	116	10.7%
体調や生活の自己管理が難しい	282	26.1%
職場の人間関係がうまくいかない	135	12.5%
体調の変化への配慮など、職場の理解が得にくい	129	11.9%
自身に適した仕事ではない(業務内容のミスマッチ)	66	6.1%
職場環境(バリアフリー、音、においなど)が合わない	37	3.4%
通勤が難しい	65	6.0%
介助が必要である	41	3.8%
支給される給料、作業工賃が安い	241	22.3%
特になし	407	37.6%
その他	74	6.8%
不明	65	6.0%

【問37～問38-3は、18歳以上の方で、現在働いていない方のみ、お答えください】

問37 あなたは、今後(将来)、働きたいですか。(〇は1つ)

カテゴリ名	件数	割合
全体	1233	100.0%
企業や自営業などで働きたい	202	16.4%
通所事業所・地域活動支援センターなどで働きたい(作業工員など)	59	4.8%
家で家事などをしたい	99	8.0%
病気や高齢、体力的な問題などのため働けない	374	30.3%
働きたくない	217	17.6%
分からない	169	13.7%
その他	75	6.1%
不明	38	3.1%

【問38-1～問38-3は、問37で「1」「2」とお答えの方のみ、お答えください】問38-1 週間にどのくらい働きたいですか。(〇は1つ)

カテゴリ名	件数	割合
全体	261	100.0%
1～5時間	49	18.8%
6～10時間	34	13.0%
11～20時間	43	16.5%
21～30時間	38	14.6%
31時間以上	48	18.4%
まだ分からない	43	16.5%
不明	6	2.3%

問38-2 どのような種類の仕事をしたいですか。(〇はいくつでも)

カテゴリ名	件数	割合
全体	261	100.0%
事務	104	39.8%
販売・接客	46	17.6%
調理・飲食	25	9.6%
製造	56	21.5%
建築・建設・土木関係	10	3.8%
コンピューター・通信関係	60	23.0%
医療・福祉・教育関係	39	14.9%
清掃・警備関係	30	11.5%
ドライバー・運送関係	10	3.8%
その他	48	18.4%
不明	8	3.1%

【今回】R7年度単純集計

問43-3 あなたが将来働くにあたり、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)【変更・選択肢】

カテゴリ	件数	割合
全体	295	100.0
就労体験・職場実習	101	34.2
仕事・業務内容のマッチング	132	44.7
短時間就労など、柔軟な働き方ができること	142	48.1
職場の理解(体調の変化への配慮など)	161	54.6
職場環境の配慮(バリアフリーなど)	61	20.7
体調や生活の自己管理に関する支援	88	29.8
通勤の支援	74	25.1
職場での介助	36	12.2
金銭トラブルに関する支援	38	12.9
特になし	13	4.4
まだ分からない	20	6.8
その他	6	2.0
無回答	17	5.8

【問43-4は、一般就労した後、退職した経験がある方にお答えください。】

問43-4 退職した理由と退職してすぐの生活状況について教えてください。(〇はいくつでも)【新規】
【退職した理由】

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
より良い条件の仕事が見つかった	73	1.9
業務が合わなかった	164	4.4
労働環境が悪かった	217	5.8
健康状態が悪化した	481	12.8
その他	202	5.4
無回答	2,900	77.2

【退職してすぐの生活状況】

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
障害福祉サービス(就労継続支援等)を利用した	73	1.9
ハローワークや就労援助センター等を利用した	264	7.0
再就職した	165	4.4
療養に専念した	389	10.4
その他	134	3.6
無回答	2,905	77.4

【問44は、入所施設に入所している方、病院に入院している方のみ、お答えください】

問44 あなたは、今後、入所施設や病院を退所・退院して、一人暮らしや家族との生活、グループホームでの生活など、地域の中で生活したいと思いますか。(〇は1つ)

カテゴリ	件数	割合
全体	223	100.0
とても思う	36	16.1
少し思う	21	9.4
どちらともいえない	24	10.8
あまり思わない	9	4.0
まったく思わない	43	19.3
分からない	41	18.4
その他	7	3.1
無回答	42	18.8

【前回】R4年度単純集計

問38-3 あなたが将来働くにあたり、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

カテゴリ名	件数	割合
全体	261	100.0%
就労体験・職場実習	90	34.5%
仕事・業務内容のマッチング	140	53.6%
短時間就労など、柔軟な働き方ができること	151	57.9%
職場の理解(体調の変化への配慮など)	170	65.1%
職場環境の配慮(バリアフリーなど)	42	16.1%
体調や生活の自己管理に関する支援	95	36.4%
通勤の支援	64	24.5%
職場での介助	22	8.4%
特になし	10	3.8%
まだ分からない	25	9.6%
その他	16	6.1%
不明	3	1.1%

【問39-1と問39-2は、入所施設に入所している方、病院に入院している方のみ、お答えください】

問39-1 あなたは、今後、入所施設や病院を退所・退院して、一人暮らしや家族との生活、グループホームでの生活など、地域の中で生活したいと思いますか。(〇は1つ)

カテゴリ名	件数	割合
全体	192	100.0%
とても思う	31	16.1%
少し思う	15	7.8%
どちらともいえない	18	9.4%
あまり思わない	13	6.8%
まったく思わない	24	12.5%
分からない	71	37.0%
その他	4	2.1%
無回答	16	8.3%

【今回】R7年度単純集計

【前回】R4年度単純集計

【問45は、障害福祉サービス等を利用している方のみ、お答えください】
 問45 次の障害福祉サービス等について、利用申込みを断られたことがある場合、その理由に○をつけてください。記載以外のサービスや理由で断られたことがある場合、「35その他」にお書きください。断られたサービスがない場合には○をつける必要はありません。【新規】
 利用定員のため

カテゴリ	件数	割合
全 体	3,755	100.0
生活介護	26	0.7
自立訓練（機能訓練）	10	0.3
自立訓練（生活訓練）	8	0.2
自立訓練（宿泊型）	4	0.1
就労移行支援	5	0.1
就労継続支援（A型）	7	0.2
就労継続支援（B型）	13	0.3
就労定着支援	5	0.1
就労選択支援	1	0.0
地域活動支援センター	8	0.2
短期入所	72	1.9
療養介護	6	0.2
グループホーム	38	1.0
施設入所支援	29	0.8
自立生活援助	7	0.2
居宅介護	5	0.1
重度訪問介護	3	0.1
行動援護	19	0.5
同行援護	8	0.2
計画相談支援	16	0.4
地域移行支援	4	0.1
地域定着支援	4	0.1
障害児相談支援	4	0.1
児童発達支援	37	1.0
医療型児童発達支援	6	0.2
放課後等デイサービス	94	2.5
保育所等訪問支援	5	0.1
居宅訪問型児童発達支援	1	0.0
福祉型障害児入所支援	3	0.1
医療型障害児入所支援	8	0.2
移動支援	23	0.6
通学・通所支援	23	0.6
日中一時支援	31	0.8
訪問入浴サービス事業	8	0.2
無回答・該当なし	3,462	92.2

【今回】R7年度単純集計

事業所の主たる対象者ではないため

カテゴリ	件数	割合
全 体	3,755	100.0
生活介護	11	0.3
自立訓練（機能訓練）	6	0.2
自立訓練（生活訓練）	8	0.2
自立訓練（宿泊型）	4	0.1
就労移行支援	15	0.4
就労継続支援（A型）	10	0.3
就労継続支援（B型）	8	0.2
就労定着支援	7	0.2
就労選択支援	7	0.2
地域活動支援センター	6	0.2
短期入所	15	0.4
療養介護	5	0.1
グループホーム	9	0.2
施設入所支援	9	0.2
自立生活援助	5	0.1
居宅介護	7	0.2
重度訪問介護	7	0.2
行動援護	5	0.1
同行援護	6	0.2
計画相談支援	4	0.1
地域移行支援	3	0.1
地域定着支援	3	0.1
障害児相談支援	5	0.1
児童発達支援	4	0.1
医療型児童発達支援	2	0.1
放課後等デイサービス	14	0.4
保育所等訪問支援	1	0.0
居宅訪問型児童発達支援	1	0.0
福祉型障害児入所支援	-	-
医療型障害児入所支援	-	-
移動支援	8	0.2
通学・通所支援	7	0.2
日中一時支援	10	0.3
訪問入浴サービス事業	2	0.1
無回答・該当なし	3,664	97.6

【前回】R4年度単純集計

【今回】R7年度単純集計

ケアの内容に対応できないため（医療的なケア等）

カテゴリ	件数	割合
全 体	3,755	100.0
生活介護	36	1.0
自立訓練（機能訓練）	11	0.3
自立訓練（生活訓練）	7	0.2
自立訓練（宿泊型）	7	0.2
就労移行支援	6	0.2
就労継続支援（A型）	4	0.1
就労継続支援（B型）	7	0.2
就労定着支援	4	0.1
就労選択支援	3	0.1
地域活動支援センター	5	0.1
短期入所	33	0.9
療養介護	3	0.1
グループホーム	16	0.4
施設入所支援	6	0.2
自立生活援助	3	0.1
居宅介護	4	0.1
重度訪問介護	4	0.1
行動援護	9	0.2
同行援護	4	0.1
計画相談支援	2	0.1
地域移行支援	1	0.0
地域定着支援	2	0.1
障害児相談支援	1	0.0
児童発達支援	6	0.2
医療型児童発達支援	3	0.1
放課後等デイサービス	19	0.5
保育所等訪問支援	7	0.2
居宅訪問型児童発達支援	2	0.1
福祉型障害児入所支援	4	0.1
医療型障害児入所支援	3	0.1
移動支援	8	0.2
通学・通所支援	9	0.2
日中一時支援	11	0.3
訪問入浴サービス事業	3	0.1
無回答・該当なし	3,634	96.8

【前回】R4年度単純集計

【今回】R7年度単純集計

送迎の範囲外のため

カテゴリ	件数	割合
全 体	3,755	100.0
生活介護	20	0.5
自立訓練（機能訓練）	3	0.1
自立訓練（生活訓練）	-	-
自立訓練（宿泊型）	1	0.0
就労移行支援	1	0.0
就労継続支援（A型）	-	-
就労継続支援（B型）	1	0.0
就労定着支援	3	0.1
就労選択支援	-	-
地域活動支援センター	-	-
短期入所	7	0.2
療養介護	1	0.0
グループホーム	2	0.1
施設入所支援	1	0.0
自立生活援助	-	-
居宅介護	-	-
重度訪問介護	-	-
行動援護	5	0.1
同行援護	4	0.1
計画相談支援	1	0.0
地域移行支援	-	-
地域定着支援	-	-
障害児相談支援	1	0.0
児童発達支援	11	0.3
医療型児童発達支援	1	0.0
放課後等デイサービス	47	1.3
保育所等訪問支援	1	0.0
居宅訪問型児童発達支援	1	0.0
福祉型障害児入所支援	1	0.0
医療型障害児入所支援	-	-
移動支援	6	0.2
通学・通所支援	11	0.3
日中一時支援	9	0.2
訪問入浴サービス事業	1	0.0
無回答・該当なし	3,654	97.3

【前回】R4年度単純集計

【今回】R7年度単純集計

わからない		
カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
生活介護	60	1.6
自立訓練（機能訓練）	61	1.6
自立訓練（生活訓練）	63	1.7
自立訓練（宿泊型）	66	1.8
就労移行支援	64	1.7
就労継続支援（A型）	65	1.7
就労継続支援（B型）	70	1.9
就労定着支援	64	1.7
就労選択支援	64	1.7
地域活動支援センター	64	1.7
短期入所	65	1.7
療養介護	66	1.8
グループホーム	71	1.9
施設入所支援	66	1.8
自立生活援助	65	1.7
居宅介護	65	1.7
重度訪問介護	67	1.8
行動援護	68	1.8
同行援護	62	1.7
計画相談支援	66	1.8
地域移行支援	63	1.7
地域定着支援	64	1.7
障害児相談支援	65	1.7
児童発達支援	62	1.7
医療型児童発達支援	61	1.6
放課後等デイサービス	60	1.6
保育所等訪問支援	64	1.7
居宅訪問型児童発達支援	64	1.7
福祉型障害児入所支援	62	1.7
医療型障害児入所支援	62	1.7
移動支援	67	1.8
通学・通所支援	60	1.6
日中一時支援	61	1.6
訪問入浴サービス事業	62	1.7
無回答・該当なし	3,630	96.7

【問46は、18歳以上の方で、特別支援学校または小中学校の特別支援学級を卒業している方のみ、お答えください】
 問46 あなたが現在の生活（社会参加や就労等）をする上で良い影響があったと思う学校での教育はありますか。もっともあてはまるものを1つ選んでください。（〇は1つ）【新規】

カテゴリ	件数	割合
全体	3,755	100.0
教科の学習	73	1.9
職業の学習	113	3.0
学校行事	132	3.5
部活動	25	0.7
その他	48	1.3
特になし	274	7.3
無回答	3,090	82.3

【前回】R4年度単純集計

障害のある方の生活ニーズ調査結果(速報・単純集計表) (事業者向け調査)

【今回】R7年度単純集計

問2 運営主体はどちらですか。(回答は1つのみ) **【変更・選択肢】**

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
医療法人	6	1.0
社会福祉法人	173	28.6
営利法人(株式会社、有限会社など)	278	46.0
NPO法人	102	16.9
その他の法人	44	7.3
無回答	2	0.3

問3 年間収支状況はどのようになっていますか。(回答は1つのみ)

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
黒字	162	26.8
おおむね均衡	226	37.4
現在は赤字だが、今後は黒字になる予定	61	10.1
赤字	133	22.0
無回答	23	3.8

問4 事業支出における人件費の割合はどのくらいですか。(回答は1つのみ)

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
30%未満	10	1.7
30%以上40%未満	30	5.0
40%以上50%未満	57	9.4
50%以上60%未満	124	20.5
60%以上70%未満	146	24.1
70%以上	182	30.1
無回答	56	9.3

問5 事業を行うにあたり、サービス提供を行う場や事務所など、物件の賃貸借契約を結んでいますか。あてはまる番号を1つ選択し、契約がある場合は、面積・賃貸借料を記載してください。

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
あり	478	79.0
いいえ	113	18.7
無回答	14	2.3

契約がある場合の面積 (㎡)

カテゴリ	件数	割合
全 体	399	100.0
平均	110	

契約がある場合の賃貸借料 (月額: 万円)

カテゴリ	件数	割合
全 体	417	100.0
平均	15,206	

【前回】R4年度単純集計

問2 運営主体はどちらですか。(回答は1つのみ)

カテゴリ名	件数	割合
全 体	577	100.0%
国・地方公共団体の直営	1	0.2%
医療法人	3	0.5%
社会福祉法人(民間)	167	28.9%
社会福祉法人(外郭団体)	1	0.2%
営利法人(株式会社、有限会社など)	251	43.5%
NPO法人	110	19.1%
その他の法人	41	7.1%
無回答	3	0.5%

問4 年間収支状況はどのようになっていますか。(回答は1つのみ)

カテゴリ名	件数	割合
全 体	577	100.0%
黒字	151	26.2%
おおむね均衡	210	36.4%
現在は赤字だが、今後は黒字になる予定	53	9.2%
赤字	136	23.6%
無回答	27	4.7%

問5 事業支出における人件費の割合はどのくらいですか。(回答は1つのみ)

カテゴリ名	件数	割合
全 体	577	100.0%
30%未満	10	1.7%
30%以上40%未満	33	5.7%
40%以上50%未満	49	8.5%
50%以上60%未満	106	18.4%
60%以上70%未満	128	22.2%
70%以上	202	35.0%
無回答	49	8.5%

問6 事業を行うにあたり、サービス提供を行う場や事務所など、物件の賃貸借契約を結んでいますか。契約のある場合、その面積と月額賃貸借料(およその金額)を御記入ください。

カテゴリ名	件数	割合
全 体	577	100.0%
あり	442	76.6%
いいえ	91	15.8%
無回答	44	7.6%

契約がある場合の面積 (㎡)

カテゴリ名	件数
全 体	387
平均	119.6

契約がある場合の賃貸借料 (月額: 万円)

カテゴリ名	件数
全 体	409
平均	1948.7

【今回】R7年度単純集計

問6 貴事業所はどの障害福祉サービス等を提供していますか。(回答はいくつでも)【変更・選択肢】

カテゴリ	件数	割合
全体	605	100.0
生活介護	80	13.2
自立訓練(機能訓練)	1	0.2
自立訓練(生活訓練)	13	2.1
自立訓練(宿泊型)	1	0.2
就労移行支援	22	3.6
就労継続支援(A型)	18	3.0
就労継続支援(B型)	60	9.9
就労定着支援	15	2.5
就労選択支援	5	0.8
地域活動支援センター	65	10.7
短期入所	18	3.0
療養介護	2	0.3
グループホーム	91	15.0
施設入所支援	5	0.8
自立生活援助	6	1.0
居宅介護	107	17.7
重度訪問介護	76	12.6
行動援護	44	7.3
同行援護	29	4.8
計画相談支援	86	14.2
地域移行支援	33	5.5
地域定着支援	13	2.1
障害児相談支援	30	5.0
児童発達支援	97	16.0
医療型児童発達支援	5	0.8
放課後等デイサービス	115	19.0
保育所等訪問支援	16	2.6
居宅訪問型児童発達支援	4	0.7
福祉型障害児入所支援	-	-
医療型障害児入所支援	2	0.3
移動支援	60	9.9
通学・通所支援	14	2.3
日中一時支援	23	3.8
訪問入浴サービス事業	1	0.2
その他	11	1.8
無回答	6	1.0

問7 障害福祉サービス等の提供について今後3年間程度の間に変更を検討・予定していますか。(あてはまる番号を1つ選択してください)
(変更を検討・予定している場合は、該当する欄のカッコ内に具体的なサービス名をお書きください)【変更・設問】

カテゴリ	件数	割合
全体	605	100.0
変更の予定はない(現在と同様にサービス提供予定)	532	87.9
変更を検討・予定している	62	10.2
無回答	11	1.8

【前回】R4年度単純集計

問7 貴事業所はどの障害福祉サービス等を提供していますか。(回答はいくつでも)

カテゴリ名	件数	割合
全体	577	100.0%
生活介護	86	14.9%
自立訓練(機能訓練)	1	0.2%
自立訓練(生活訓練)	11	1.9%
自立訓練(宿泊型)	1	0.2%
就労移行支援	21	3.6%
就労継続支援(A型)	14	2.4%
就労継続支援(B型)	47	8.1%
就労定着支援	15	2.6%
地域活動支援センター	57	9.9%
短期入所	16	2.8%
療養介護	1	0.2%
グループホーム	81	14.0%
施設入所支援	5	0.9%
自立生活支援	7	1.2%
居宅介護	109	18.9%
重度訪問介護	83	14.4%
行動援護	38	6.6%
同行援護	26	4.5%
計画相談支援	69	12.0%
地域移行支援	29	5.0%
地域定着支援	12	2.1%
障害児相談支援	33	5.7%
児童発達支援	80	13.9%
医療型児童発達支援	6	1.0%
放課後等デイサービス	105	18.2%
保育所等訪問支援	11	1.9%
居宅訪問型児童発達支援	2	0.3%
福祉型障害児入所支援	0	0.0%
医療型障害児入所支援	1	0.2%
移動支援、通学・通所支援	49	8.5%
日中一時支援	7	1.2%
訪問入浴サービス事業	1	0.2%
その他	9	1.6%
無回答	14	2.4%

問8 今後、障害福祉サービス等の提供について変更を検討・予定していますか。(あてはまる番号を1つ選択してください)
(変更を検討・予定している場合は、該当する欄のカッコ内に具体的なサービス名をお書きください)

カテゴリ名	件数	割合
全体	577	100.0%
変更の予定はない	492	85.3%
変更を検討・予定している	65	11.3%
無回答	20	3.5%

【今回】R7年度単純集計

問8 利用者の希望などを踏まえ、川崎市ではどの障害福祉サービス等が不足していると感じますか。（回答はいくつでも）【変更・選択肢】

カテゴリ	件数	割合
全体	605	100.0
生活介護	102	16.9
自立訓練（機能訓練）	14	2.3
自立訓練（生活訓練）	22	3.6
自立訓練（宿泊型）	32	5.3
就労移行支援	17	2.8
就労継続支援（A型）	33	5.5
就労継続支援（B型）	32	5.3
就労定着支援	19	3.1
就労選択支援	27	4.5
地域活動支援センター	35	5.8
短期入所	133	22.0
療養介護	24	4.0
グループホーム	221	36.5
施設入所支援	86	14.2
自立生活援助	30	5.0
居宅介護	63	10.4
重度訪問介護	76	12.6
行動援護	110	18.2
同行援護	56	9.3
計画相談支援	204	33.7
地域移行支援	36	6.0
地域定着支援	28	4.6
障害児相談支援	75	12.4
児童発達支援	38	6.3
医療型児童発達支援	33	5.5
放課後等デイサービス	57	9.4
保育所等訪問支援	13	2.1
居宅訪問型児童発達支援	16	2.6
福祉型障害児入所支援	25	4.1
医療型障害児入所支援	32	5.3
移動支援	203	33.6
通学・通所支援	141	23.3
日中一時支援	87	14.4
訪問入浴サービス事業	25	4.1
その他	21	3.5
特になし	59	9.8
無回答	22	3.6

【問9から問15までは特定相談支援事業所（障害者相談支援センターを含む）のみお答えください】【それ以外の事業所は問16にお進みください】

問9 どのような運営形態ですか。（回答は1つのみ）【変更・設問及び選択肢】

カテゴリ	件数	割合
全体	63	100.0
指定特定相談支援事業所及び指定障害児相談支援事業所（障害者相談支援センターを除く）	22	34.9
指定特定相談支援事業所（障害者相談支援センターを除く）	21	33.3
障害者相談支援センター	19	30.2
無回答	1	1.6

【前回】R4年度単純集計

問9 利用者の希望などを踏まえ、川崎市ではどの障害福祉サービス等が不足していると感じますか。（回答はいくつでも）

カテゴリ名	件数	割合
全体	577	100.0%
生活介護	94	16.3%
自立訓練（機能訓練）	15	2.6%
自立訓練（生活訓練）	27	4.7%
自立訓練（宿泊型）	28	4.9%
就労移行支援	26	4.5%
就労継続支援（A型）	38	6.6%
就労継続支援（B型）	51	8.8%
就労定着支援	18	3.1%
地域活動支援センター	43	7.5%
短期入所	136	23.6%
療養介護	21	3.6%
グループホーム	240	41.6%
施設入所支援	77	13.3%
自立生活支援	34	5.9%
居宅介護	67	11.6%
重度訪問介護	76	13.2%
行動援護	99	17.2%
同行援護	55	9.5%
計画相談支援	172	29.8%
地域移行支援	33	5.7%
地域定着支援	34	5.9%
障害児相談支援	72	12.5%
児童発達支援	35	6.1%
医療型児童発達支援	31	5.4%
放課後等デイサービス	25	4.3%
保育所等訪問支援	25	4.3%
居宅訪問型児童発達支援	16	2.8%
福祉型障害児入所支援	26	4.5%
医療型障害児入所支援	29	5.0%
移動支援、通学・通所支援	152	26.3%
日中一時支援	71	12.3%
訪問入浴サービス事業	21	3.6%
その他	23	4.0%
無回答	55	9.5%

問3 どのような運営形態ですか。（回答は1つのみ）

カテゴリ名	件数	割合
全体	140	100.0%
指定特定相談支援事業所及び指定障害児相談支援事業所	29	20.7%
指定特定相談支援事業所	30	21.4%
障害者相談支援センター	23	16.4%
障害者相談支援センター以外に指定管理・委託等を受けている事業所	52	37.1%
無回答	6	4.3%

【今回】R7年度単純集計

問10 計画相談支援の契約件数は、ひと月あたり何件ですか。また、相談支援専門員1人あたりの契約件数は何件ですか。

事業所全体

カテゴリ	件数	
全体	57	100.0
平均	10	

相談支援専門員1人あたりのひと月あたりの契約件数

カテゴリ	件数	
全体	57	100.0
平均	7	

問11 利用者や家族の要望・意向などについて、サービス等利用計画及び障害児支援利用計画にどの程度反映できていますか。(回答は1つのみ) 【変更・設問】

カテゴリ	件数	割合
全体	63	100.0
すべてのケースで反映できている	19	30.2
7～9割程度のケースで反映できている	30	47.6
4～6割程度のケースで反映できている	6	9.5
2～3割程度のケースで反映できている	-	-
ほとんど反映できていない	3	4.8
無回答	5	7.9

問12 サービス等利用計画及び障害児支援利用計画を作成するにあたり、利用者の課題の分析(アセスメント)をどの程度実施できていますか。(回答は1つのみ) 【変更・設問】

カテゴリ	件数	割合
全体	63	100.0
すべてのケースで実施できている	21	33.3
7～9割程度のケースで実施できている	27	42.9
4～6割程度のケースで実施できている	7	11.1
2～3割程度のケースで実施できている	-	-
ほとんど実施できていない	3	4.8
無回答	5	7.9

問13 サービス担当者会議に利用者本人は参加していますか。(回答は1つのみ)

カテゴリ	件数	割合
全体	63	100.0
すべてのケースで参加できている	14	22.2
7～9割程度のケースで参加できている	29	46.0
4～6割程度のケースで参加できている	5	7.9
2～3割程度のケースで参加できている	3	4.8
ほとんど参加できていない	6	9.5
無回答	6	9.5

【前回】R4年度単純集計

問10 計画相談支援の契約件数は、何件ですか。また、相談支援専門員1人あたりの契約件数は何件ですか。事業所全体

カテゴリ名	件数
全体	69
平均	60.1

相談支援専門員1人あたりの契約件数

カテゴリ名	件数
全体	62
平均	26.7

問11 利用者や家族の要望・意向などについて、サービス等利用計画にどの程度反映できていますか。(回答は1つのみ)

カテゴリ名	件数	割合
全体	140	100.0%
すべてのケースで参加できている	22	15.7%
7～9割程度のケースで参加できている	42	30.0%
4～6割程度のケースで参加できている	5	3.6%
2～3割程度のケースで参加できている	2	1.4%
ほとんど参加できていない	2	1.4%
無回答	67	47.9%

問12 サービス等利用計画を作成するにあたり、利用者の課題の分析(アセスメント)をどの程度実施できていますか。(回答は1つのみ)

カテゴリ名	件数	割合
全体	140	100.0%
すべてのケースで参加できている	36	25.7%
7～9割程度のケースで参加できている	26	18.6%
4～6割程度のケースで参加できている	7	5.0%
2～3割程度のケースで参加できている	2	1.4%
ほとんど参加できていない	2	1.4%
無回答	67	47.9%

問13 サービス担当者会議に利用者本人は参加していますか。(回答は1つのみ)

カテゴリ名	件数	割合
全体	140	100.0%
すべてのケースで参加できている	12	8.6%
7～9割程度のケースで参加できている	30	21.4%
4～6割程度のケースで参加できている	14	10.0%
2～3割程度のケースで参加できている	9	6.4%
ほとんど参加できていない	6	4.3%
無回答	69	49.3%

【今回】R7年度単純集計

問14 今後、より多くの計画相談支援を実施していくためには、どのような支援が必要だと考えますか。（回答はいくつでも）

カテゴリ	件数	割合
全 体	63	100.0
職員の新規採用に向けた支援	25	39.7
相談支援専門員の処遇改善に向けた運営支援（補助金や加算制度など）	45	71.4
相談支援専門員の資格取得に向けた支援	19	30.2
職員のスキルアップに向けた研修機会の充実	23	36.5
地域リハビリテーションセンターや基幹相談支援センターなどによる後方支援・バックアップ体制の充実	29	46.0
地域の関係機関や他事業所、学校等との連携ネットワーク体制の構築	24	38.1
障害福祉分野の仕事の魅力を伝えるための広報・啓発活動	14	22.2
計画相談支援事業に必要な情報の提供	35	55.6
その他	7	11.1
特にない	-	-
無回答	3	4.8

問15 令和7年10月1日現在、貴事業所の相談支援専門員（常勤換算人数）は何人ですか。（数値を御記入ください）

カテゴリ	件数	割合
全 体	63	100.0
0人	4	6.3
1人	11	17.5
2人	15	23.8
3人	8	12.7
4人	1	1.6
5人	-	-
6～9人	1	1.6
10～14人	-	-
15人以上	-	-
無回答	23	36.5

問16 どのような方法で利用者の意見・苦情などを受け付けていますか。（回答はいくつでも）

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
書面で受け付けている（郵送対応、意見箱の設置など）	248	41.0
電話で受け付けている	473	78.2
メールで受け付けている	316	52.2
面談、口頭などで直接受け付けている	525	86.8
苦情対応責任者・苦情受付担当者を配置している	489	80.8
事業者単独で第三者委員を設置している	77	12.7
複数事業所や複数法人が共同で第三者委員を設置している	100	16.5
その他	33	5.5
特に設けていない	3	0.5
無回答	12	2.0

【前回】R4年度単純集計

問14 今後、より多くの計画相談支援を実施していくためには、どのような支援が必要だと考えますか。（回答はいくつでも）

カテゴリ名	件数	割合
全 体	122	100.0%
職員の新規採用に向けた支援	17	13.9%
相談支援専門員の処遇改善に向けた運営支援（補助金や加算制度など）	38	31.1%
相談支援専門員の資格取得に向けた支援	15	12.3%
職員のスキルアップに向けた研修機会の充実	18	14.8%
地域リハビリテーションセンターや基幹相談支援センターなどによる後方支援・バックアップ体制の充実	23	18.9%
地域の関係機関や他事業所、学校等との連携ネットワーク体制の構築	17	13.9%
障害福祉分野の仕事の魅力を伝えるための広報・啓発活動	7	5.7%
計画相談支援事業に必要な情報の提供	22	18.0%
その他	4	3.3%
特にない	0	0.0%
無回答	71	58.2%

問23 令和4年10月1日現在、貴事業所の相談支援専門員（常勤換算人数）は何人ですか。

(71) 問23 ■相談支援専門員（常勤換算）... (S A)

カテゴリ名	件数	割合
全 体	151	100.0%
0人	8	5.3%
1人	33	21.9%
2人	21	13.9%
3人	17	11.3%
4人	0	0.0%
5人	3	2.0%
6～9人	4	2.6%
10～14人	0	0.0%
15人以上	0	0.0%
無回答	65	43.0%

問15 どのような方法で利用者の意見・苦情などを受け付けていますか。（回答はいくつでも）

カテゴリ名	件数	割合
全 体	577	100.0%
書面で受け付けている（郵送対応、意見箱の設置など）	238	41.2%
電話で受け付けている	464	80.4%
メールで受け付けている	274	47.5%
面談、口頭などで直接受け付けている	494	85.6%
苦情対応責任者・苦情受付担当者を配置している	474	82.1%
事業者単独で第三者委員を設置している	114	19.8%
複数事業所や複数法人が共同で第三者委員を設置している	72	12.5%
その他	23	4.0%
特に設けていない	3	0.5%
無回答	4	0.7%

【今回】R7年度単純集計

問17 どのような方法でサービスの質の向上に取り組んでいますか。(回答はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
利用者個々の状況に応じたサービス提供の充実に向けた取組	521	86.1
関係機関とのネットワーク構築、協力体制の確保	409	67.6
職員研修などの人材育成	489	80.8
提供サービスに関する定期的な自己評価	240	39.7
提供サービスに関する定期的な利用者による評価	213	35.2
提供サービスに関する定期的な第三者機関による評価	78	12.9
新規利用者の受け入れに向けた取組	262	43.3
行動障害や重度障害のある方の受け入れに向けた取組	114	18.8
医療的ケアが必要な方の受け入れに向けた取組	68	11.2
基幹相談支援センターなどによる助言・後方支援を受けている	114	18.8
地域自立支援協議会等への参加	126	20.8
その他	15	2.5
特に取り組んでいない	2	0.3
無回答	6	1.0

問18 障害者虐待防止に向けて、どのような取組を行っていますか。(回答はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
障害者虐待通報・届出受付専用ダイヤル・FAX に通報・届出している	106	17.5
市・区の障害者虐待対応窓口相談・通報している	204	33.7
従事者への研修を実施している	509	84.1
虐待防止委員会を設置している	493	81.5
虐待防止委員会での検討結果を従事者に周知徹底している	386	63.8
虐待防止担当者を設置している	417	68.9
虐待防止のための指針を作成している	436	72.1
その他	14	2.3
特に取り組んでいない	8	1.3
無回答	4	0.7

問19 事業を運営する上で、どのような課題がありますか。(回答はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
事業を開始・拡充したいが、整備費用を確保できない	121	20.0
収支状況の悪化など、運営費が不足している	198	32.7
職員の新規採用が困難	430	71.1
職員の離職が多い(定着率が低い)	134	22.1
職員の高齢化が進んでいる	230	38.0
職員の人材育成が難しい	265	43.8
事業所(営業拠点)の確保が困難	85	14.0
事業所(営業拠点)の老朽化への対応が困難	78	12.9
利用者が少ない	95	15.7
利用者の高齢化への対応が難しい	116	19.2
その他	40	6.6
特になし	22	3.6
無回答	3	0.5

【前回】R4年度単純集計

問16 どのような方法でサービスの質の向上に取り組んでいますか。(回答はいくつでも)

カテゴリ名	件数	割合
全 体	577	100.0%
利用者個々の状況に応じたサービス提供の充実に向けた取組	491	85.1%
関係機関とのネットワーク構築、協力体制の確保	382	66.2%
職員研修などの人材育成	447	77.5%
提供サービスに関する定期的な自己評価	256	44.4%
提供サービスに関する定期的な利用者による評価	212	36.7%
提供サービスに関する定期的な第三者機関による評価	60	10.4%
新規利用者の受け入れに向けた取組	276	47.8%
行動障害や重度障害のある方の受け入れに向けた取組	127	22.0%
医療的ケアが必要な方の受け入れに向けた取組	52	9.0%
基幹相談支援センターなどによる助言・後方支援を受けている	100	17.3%
地域自立支援協議会等への参加	80	13.9%
その他	17	2.9%
特に取り組んでいない	7	1.2%
無回答	7	1.2%

問17 障害者虐待防止に向けて、どのような取組を行っていますか。(回答はいくつでも)

カテゴリ名	件数	割合
全 体	577	100.0%
障害者虐待通報・届出受付専用ダイヤル・FAXに通報・届出している	83	14.4%
市・区の障害者虐待対応窓口相談・通報している	176	30.5%
従事者への研修を実施している	456	79.0%
虐待防止委員会を設置している	392	67.9%
虐待防止委員会での検討結果を従事者に周知徹底している	272	47.1%
虐待防止担当者を設置している	356	61.7%
虐待防止のための指針を作成している	304	52.7%
その他	8	1.4%
特に取り組んでいない	15	2.6%
無回答	10	1.7%

問18 事業を運営する上で、どのような課題がありますか。(回答はいくつでも)

カテゴリ名	件数	割合
全 体	577	100.0%
事業を開始・拡充したいが、整備費用を確保できない	98	17.0%
収支状況の悪化など、運営費が不足している	182	31.5%
職員の新規採用が困難	397	68.8%
職員の離職が多い(定着率が低い)	115	19.9%
職員の高齢化が進んでいる	204	35.4%
職員の人材育成が難しい	222	38.5%
事業所(営業拠点)の確保が困難	77	13.3%
事業所(営業拠点)の老朽化への対応が困難	64	11.1%
利用者が少ない	121	21.0%
利用者の高齢化への対応が難しい	91	15.8%
その他	34	5.9%
特になし	19	3.3%
無回答	14	2.4%

【今回】R7年度単純集計

問20 今後事業を運営していくにあたり、行政からの支援として、どのような支援を充実する必要があると考えますか。（回答はいくつでも）

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
施設の新規整備費に関する補助制度	191	31.6
サービス拡充（定員増加・新規サービス開始など）に向けた、既存施設の改修費に関する補助制度	201	33.2
運営の安定化や職員の処遇改善などを図るための各種加算制度や運営費補助	449	74.2
就職希望者と市内事業者とのマッチングに関する支援	244	40.3
業務に従事するために必要な資格取得に対する支援	226	37.4
研修の実施など、人材育成の機会の充実	253	41.8
市有地の貸与など、公有地を活用した整備用地・建替え用地の確保	113	18.7
老朽化に伴う施設の建て替え費用に関する補助制度	125	20.7
施設の長寿命化（大規模修繕）に対する支援	92	15.2
高齢障害者を受け入れる特別養護老人ホームなどの整備	113	18.7
その他	38	6.3
特にない	18	3.0
無回答	12	2.0

問21 令和7年9月の貴事業所の職員数の状況について、雇用・勤務形態別に御記入ください。（数値を御記入ください）【変更・選択肢】
正規職員（常勤）

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
0人	14	2.3
1人	96	15.9
2人	87	14.4
3人	85	14.0
4人	87	14.4
5人	66	10.9
6～9人	93	15.4
10～14人	33	5.5
15人以上	28	4.6
無回答	16	2.6

正規職員（非常勤）

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
0人	349	57.7
1人	86	14.2
2人	39	6.4
3人	18	3.0
4人	20	3.3
5人	16	2.6
6～9人	28	4.6
10～14人	17	2.8
15人以上	16	2.6
無回答	16	2.6

【前回】R4年度単純集計

問19 今後事業を運営していくにあたり、行政からの支援として、どのような支援を充実する必要があると考えますか。（回答はいくつでも）

カテゴリ名	件数	割合
全体	577	100.0%
施設の新規整備費に関する補助制度	186	32.2%
サービス拡充（定員増加・新規サービス開始など）に向けた、既存施設の改修費に関する補助制度	182	31.5%
運営の安定化や職員の処遇改善などを図るための各種加算制度や運営費補助	420	72.8%
就職希望者と市内事業者とのマッチングに関する支援	204	35.4%
業務に従事するために必要な資格取得に対する支援	216	37.4%
研修の実施など、人材育成の機会の充実	242	41.9%
市有地の貸与など、公有地を活用した整備用地・建替え用地の確保	132	22.9%
老朽化に伴う施設の建て替え費用に関する補助制度	112	19.4%
施設の長寿命化（大規模修繕）に対する支援	81	14.0%
高齢障害者を受け入れる特別養護老人ホームなどの整備	92	15.9%
その他	29	5.0%
特にない	8	1.4%
無回答	16	2.8%

問21 令和4年10月1日現在、貴事業所の職員数について、雇用形態別に御記入ください。（数値を御記入ください）

(49) 問21 ■正社員・正職員...(SA)

カテゴリ名	件数	割合
全体	577	100.0%
0人	3	0.5%
1人	80	13.9%
2人	105	18.2%
3人	97	16.8%
4人	76	13.2%
5人	55	9.5%
6～9人	87	15.1%
10～14人	36	6.2%
15人以上	29	5.0%
無回答	9	1.6%

【今回】R7年度単純集計

常勤換算

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
0人	433	71.6
1人	38	6.3
2人	39	6.4
3人	24	4.0
4人	9	1.5
5人	8	1.3
6～9人	27	4.5
10～14人	6	1.0
15人以上	5	0.8
無回答	16	2.6

パート・アルバイト（常勤）

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
0人	490	81.0
1人	37	6.1
2人	29	4.8
3人	7	1.2
4人	4	0.7
5人	5	0.8
6～9人	11	1.8
10～14人	3	0.5
15人以上	3	0.5
無回答	16	2.6

パート・アルバイト（非常勤）

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
0人	242	40.0
1人	55	9.1
2人	51	8.4
3人	41	6.8
4人	42	6.9
5人	37	6.1
6～9人	56	9.3
10～14人	27	4.5
15人以上	38	6.3
無回答	16	2.6

常勤換算

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
0人	370	61.2
1人	83	13.7
2人	58	9.6
3人	26	4.3
4人	13	2.1
5人	12	2.0
6～9人	15	2.5
10～14人	8	1.3
15人以上	4	0.7
無回答	16	2.6

【前回】R4年度単純集計

(51) 問21 ■パート常勤...(SA)

カテゴリ名	件数	割合
全 体	577	100.0%
0人	370	64.1%
1人	90	15.6%
2人	44	7.6%
3人	16	2.8%
4人	9	1.6%
5人	15	2.6%
6～9人	18	3.1%
10～14人	2	0.3%
15人以上	4	0.7%
無回答	9	1.6%

(53) 問21 ■パート非常勤...(SA)

カテゴリ名	件数	割合
全 体	577	100.0%
0人	116	20.1%
1人	65	11.3%
2人	61	10.6%
3人	45	7.8%
4人	54	9.4%
5人	30	5.2%
6～9人	86	14.9%
10～14人	51	8.8%
15人以上	60	10.4%
無回答	9	1.6%

【今回】 R 7 年度単純集計

派遣職員（常勤）

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
0人	580	95.9
1人	7	1.2
2人	2	0.3
3人	-	-
4人	-	-
5人	-	-
6～9人	-	-
10～14人	-	-
15人以上	-	-
無回答	16	2.6

派遣職員（非常勤）

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
0人	569	94.0
1人	9	1.5
2人	7	1.2
3人	3	0.5
4人	-	-
5人	-	-
6～9人	1	0.2
10～14人	-	-
15人以上	-	-
無回答	16	2.6

常勤換算

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
0人	582	96.2
1人	7	1.2
2人	-	-
3人	-	-
4人	-	-
5人	-	-
6～9人	-	-
10～14人	-	-
15人以上	-	-
無回答	16	2.6

合計（常勤換算）

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
0人	199	32.9
1人	17	2.8
2人	55	9.1
3人	44	7.3
4人	34	5.6
5人	42	6.9
6～9人	111	18.3
10～14人	33	5.5
15人以上	54	8.9
無回答	16	2.6

【前回】 R 4 年度単純集計

(55) 問21 ■合計... (SA)

カテゴリ名	件数	割合
全体	577	100.0%
0人	0	0.0%
1人	11	1.9%
2人	19	3.3%
3人	45	7.8%
4人	35	6.1%
5人	44	7.6%
6～9人	166	28.8%
10～14人	108	18.7%
15人以上	140	24.3%
無回答	9	1.6%

【今回】R7年度単純集計

問22 令和7年10月1日現在の貴事業所の職員数（正規職員、パート・アルバイト※派遣職員は含みません。）について、経験年数別に御記入ください。（数値を御記入ください）【変更・設問】

6か月未満

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
0人	375	62.0
1人	114	18.8
2人	40	6.6
3人	21	3.5
4人	10	1.7
5人	12	2.0
6～9人	7	1.2
10～14人	1	0.2
15人以上	1	0.2
無回答	24	4.0

6か月～1年未満

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
0人	347	57.4
1人	112	18.5
2人	62	10.2
3人	26	4.3
4人	13	2.1
5人	9	1.5
6～9人	8	1.3
10～14人	1	0.2
15人以上	3	0.5
無回答	24	4.0

1年～3年未満

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
0人	192	31.7
1人	102	16.9
2人	92	15.2
3人	72	11.9
4人	38	6.3
5人	29	4.8
6～9人	37	6.1
10～14人	11	1.8
15人以上	8	1.3
無回答	24	4.0

3年～5年未満

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
0人	241	39.8
1人	126	20.8
2人	83	13.7
3人	46	7.6
4人	29	4.8
5人	19	3.1
6～9人	30	5.0
10～14人	4	0.7
15人以上	3	0.5
無回答	24	4.0

【前回】R4年度単純集計

問22 令和4年10月1日現在、貴事業所の職員数について、経験年数別に御記入ください。（数値を御記入ください）

(57) 問22 ■6か月未満...(SA)

カテゴリ名	件数	割合
全 体	577	100.0%
0人	369	64.0%
1人	96	16.6%
2人	47	8.1%
3人	12	2.1%
4人	17	2.9%
5人	5	0.9%
6～9人	8	1.4%
10～14人	4	0.7%
15人以上	1	0.2%
無回答	18	3.1%

(59) 問22 ■6か月～1年未満...(SA)

カテゴリ名	件数	割合
全 体	577	100.0%
0人	309	53.6%
1人	125	21.7%
2人	56	9.7%
3人	20	3.5%
4人	20	3.5%
5人	11	1.9%
6～9人	16	2.8%
10～14人	0	0.0%
15人以上	2	0.3%
無回答	18	3.1%

(61) 問22 ■1年～3年未満...(SA)

カテゴリ名	件数	割合
全 体	577	100.0%
0人	186	32.2%
1人	130	22.5%
2人	60	10.4%
3人	57	9.9%
4人	32	5.5%
5人	24	4.2%
6～9人	49	8.5%
10～14人	13	2.3%
15人以上	8	1.4%
無回答	18	3.1%

(63) 問22 ■3年～5年未満...(SA)

カテゴリ名	件数	割合
全 体	577	100.0%
0人	223	38.6%
1人	109	18.9%
2人	71	12.3%
3人	54	9.4%
4人	40	6.9%
5人	21	3.6%
6～9人	27	4.7%
10～14人	6	1.0%
15人以上	8	1.4%
無回答	18	3.1%

【今回】R7年度単純集計

5年～10年未満

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
0人	220	36.4
1人	111	18.3
2人	72	11.9
3人	50	8.3
4人	27	4.5
5人	32	5.3
6～9人	40	6.6
10～14人	18	3.0
15人以上	11	1.8
無回答	24	4.0

10年以上

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
0人	245	40.5
1人	86	14.2
2人	68	11.2
3人	33	5.5
4人	37	6.1
5人	16	2.6
6～9人	49	8.1
10～14人	27	4.5
15人以上	20	3.3
無回答	24	4.0

合計

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
0人	84	13.9
1人	15	2.5
2人	19	3.1
3人	44	7.3
4人	39	6.4
5人	39	6.4
6～9人	149	24.6
10～14人	86	14.2
15人以上	106	17.5
無回答	24	4.0

問23 1年間（令和6年10月1日から令和7年9月30日まで）の採用者数及び離職者数（正規職員、パート・アルバイト ※派遣職員は含みません。）をお答えください。また、離職者数を勤続年数別にお答えください。（数値を御記入ください）【変更・設問及び選択肢】
採用者数

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
0人	218	36.0
1人	128	21.2
2人	79	13.1
3人	46	7.6
4人	25	4.1
5人	17	2.8
6～9人	30	5.0
10～14人	12	2.0
15人以上	9	1.5
無回答	41	6.8

【前回】R4年度単純集計

(65) 問22 ■5年～10年未満...(SA)

カテゴリ名	件数	割合
全 体	577	100.0%
0人	170	29.5%
1人	92	15.9%
2人	86	14.9%
3人	53	9.2%
4人	52	9.0%
5人	24	4.2%
6～9人	50	8.7%
10～14人	15	2.6%
15人以上	17	2.9%
無回答	18	3.1%

(67) 問22 ■10年以上...(SA)

カテゴリ名	件数	割合
全 体	577	100.0%
0人	235	40.7%
1人	84	14.6%
2人	51	8.8%
3人	41	7.1%
4人	22	3.8%
5人	16	2.8%
6～9人	51	8.8%
10～14人	27	4.7%
15人以上	32	5.5%
無回答	18	3.1%

(69) 問22 ■合計...(SA)

カテゴリ名	件数	割合
全 体	577	100.0%
0人	0	0.0%
1人	11	1.9%
2人	19	3.3%
3人	43	7.5%
4人	33	5.7%
5人	46	8.0%
6～9人	167	28.9%
10～14人	104	18.0%
15人以上	136	23.6%
無回答	18	3.1%

問24 貴事業所の令和3年度における退職者数は何人ですか。（数値を御記入ください）

カテゴリ名	件数	割合
全 体	577	100.0%
0人	228	39.5%
1人	114	19.8%
2人	66	11.4%
3人	42	7.3%
4人	20	3.5%
5人	12	2.1%
6～9人	12	2.1%
10～14人	5	0.9%
15人以上	4	0.7%
無回答	74	12.8%

【今回】 R 7年度単純集計

離職者数
6か月未満

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
0人	451	74.5
1人	63	10.4
2人	22	3.6
3人	14	2.3
4人	6	1.0
5人	3	0.5
6～9人	3	0.5
10～14人	1	0.2
15人以上	1	0.2
無回答	41	6.8

6か月～1年未満

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
0人	469	77.5
1人	61	10.1
2人	26	4.3
3人	6	1.0
4人	1	0.2
5人	-	-
6～9人	1	0.2
10～14人	-	-
15人以上	-	-
無回答	41	6.8

1年～3年未満

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
0人	430	71.1
1人	80	13.2
2人	25	4.1
3人	20	3.3
4人	6	1.0
5人	1	0.2
6～9人	1	0.2
10～14人	1	0.2
15人以上	-	-
無回答	41	6.8

3年～5年未満

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
0人	495	81.8
1人	48	7.9
2人	12	2.0
3人	5	0.8
4人	2	0.3
5人	2	0.3
6～9人	-	-
10～14人	-	-
15人以上	-	-
無回答	41	6.8

【前回】 R 4年度単純集計

【今回】 R 7 年度単純集計

5年～10年未満

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
0人	501	82.8
1人	44	7.3
2人	11	1.8
3人	6	1.0
4人	-	-
5人	2	0.3
6～9人	-	-
10～14人	-	-
15人以上	-	-
無回答	41	6.8

10年以上

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
0人	513	84.8
1人	37	6.1
2人	6	1.0
3人	2	0.3
4人	3	0.5
5人	-	-
6～9人	2	0.3
10～14人	1	0.2
15人以上	-	-
無回答	41	6.8

合計

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
0人	300	49.6
1人	101	16.7
2人	65	10.7
3人	37	6.1
4人	19	3.1
5人	19	3.1
6～9人	12	2.0
10～14人	9	1.5
15人以上	2	0.3
無回答	41	6.8

問24 EPA（経済連携協定）、技能実習、在留資格「特定技能」、在留資格「介護」の外国人労働者を雇用していますか。

【新規】

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
はい	19	3.1
いいえ	578	95.5
無回答	8	1.3

問25 介護・福祉現場で働く職員が、利用者・家族等からカスタマーハラスメントを受けた場合の相談窓口（川崎市介護・障害福祉サービス事業所向けカスタマーハラスメント相談窓口）があることを知っていますか。【新規】

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
知っている	463	76.5
知らない	136	22.5
無回答	6	1.0

【前回】 R 4 年度単純集計

【今回】R7年度単純集計

問26 職員の採用募集を行う場合、具体的にどのようなルート・手法を活用していますか。(回答はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
ハローワークを通じた募集	343	56.7
求人広告やチラシの配布、ポスターの掲示など	330	54.5
事業所のホームページ	347	57.4
学校訪問・学校への求人	72	11.9
職員からの紹介	358	59.2
知人からの紹介	237	39.2
人材派遣・人材紹介の利用	235	38.8
福祉人材サービスの利用	145	24.0
その他	22	3.6
無回答	11	1.8

問27 職員の新規採用や離職防止に向けて、どのような取組を実施していますか。(回答はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
多様なルート・手法を活用して採用募集を行っている	306	50.6
経営方針やケア方針、業務内容、必要な能力等を詳細に説明するなど、就労ニーズとのミスマッチの解消に努めている	219	36.2
賃金、労働時間、休暇の取りやすさなど、労働条件の改善に努めている	428	70.7
職員の業績、スキル、勤務経験等を適正に評価し、給与や配置等に反映している	265	43.8
労働時間や仕事内容などについて職員の希望をヒアリングし、可能な限り配慮するよう努めている	343	56.7
新人の指導担当・アドバイザーを設置している	147	24.3
社内研修の実施や社外講習の受講支援など、職員のスキルアップ機会の充実に努めている	346	57.2
管理職員向けの研修(マネジメントや部下育成など)を実施している	137	22.6
職員の悩みや不安・不満、疑問点等についての相談体制を確保している	294	48.6
福利厚生事業の実施など、職場内の交流やコミュニケーションの活性化を図っている	165	27.3
休憩室の整備、メンタルヘルス対策など、働きやすい環境づくりに努めている	157	26.0
非正規職員から正規職員へ転換する機会を設けている	292	48.3
その他	8	1.3
特に何もしていない	27	4.5
無回答	11	1.8

問28 職員の育成に向けて、どのような取組を実施していますか。(回答はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
社内研修の実施	499	82.5
外部の研修への参加支援	400	66.1
日常的なOJTの実施	353	58.3
業績評価や目標管理制度の導入	173	28.6
その他	3	0.5
特に何もしていない	12	2.0
無回答	9	1.5

【前回】R4年度単純集計

問25 職員の採用募集を行う場合、具体的にどのようなルート・手法を活用していますか。(回答はいくつでも)

カテゴリ名	件数	割合
全 体	577	100.0%
ハローワークを通じた募集	306	53.0%
求人広告やチラシの配布、ポスターの掲示など	294	51.0%
事業所のホームページ	273	47.3%
学校訪問・学校への求人	52	9.0%
職員からの紹介	300	52.0%
知人からの紹介	174	30.2%
人材派遣・人材紹介の利用	182	31.5%
福祉人材サービスの利用	99	17.2%
その他	24	4.2%
無回答	34	5.9%

問26 職員の新規採用や離職防止に向けて、どのような取組を実施していますか。(回答はいくつでも)

カテゴリ名	件数	割合
全 体	577	100.0%
多様なルート・手法を活用して採用募集を行っている	253	43.8%
経営方針やケア方針、業務内容、必要な能力等を詳細に説明するなど、就労ニーズとのミスマッチの解消に努めている	185	32.1%
賃金、労働時間、休暇の取りやすさなど、労働条件の改善に努めている	391	67.8%
職員の業績、スキル、勤務経験等を適正に評価し、給与や配置等に反映している	238	41.2%
労働時間や仕事内容などについて職員の希望をヒアリングし、可能な限り配慮するよう努めている	326	56.5%
新人の指導担当・アドバイザーを設置している	132	22.9%
社内研修の実施や社外講習の受講支援など、職員のスキルアップ機会の充実に努めている	305	52.9%
管理職員向けの研修(マネジメントや部下育成など)を実施している	119	20.6%
職員の悩みや不安・不満、疑問点等についての相談体制を確保している	261	45.2%
福利厚生事業の実施など、職場内の交流やコミュニケーションの活性化を図っている	143	24.8%
休憩室の整備、メンタルヘルス対策など、働きやすい環境づくりに努めている	122	21.1%
非正規職員から正規職員へ転換する機会を設けている	269	46.6%
その他	6	1.0%
特に何もしていない	20	3.5%
無回答	19	3.3%

問27 職員の育成に向けて、どのような取組を実施していますか。(回答はいくつでも)

カテゴリ名	件数	割合
全 体	577	100.0%
社内研修の実施	449	77.8%
外部の研修への参加支援	354	61.4%
日常的なOJTの実施	316	54.8%
業績評価や目標管理制度の導入	154	26.7%
その他	10	1.7%
特に取組はしていない	26	4.5%
無回答	15	2.6%

【今回】R7年度単純集計

問29 今後、どのような内容の研修を職員に受けさせたいですか。(回答はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
生活支援の技術・知識	259	42.8
就労支援の技術・知識	125	20.7
緊急時対応・事故対策	329	54.4
相談対応・カウンセリングの技術・知識	278	46.0
感染症対策	266	44.0
権利擁護・虐待防止	358	59.2
行動障害	228	37.7
意思決定支援	287	47.4
ストレスマネジメント	284	46.9
個人情報・プライバシー	214	35.4
その他	17	2.8
特になし	7	1.2
無回答	7	1.2

問30 現在、貴事業所で職員は不足していますか。(あてはまる番号を1つ選択)
(「不足している」を選択した場合、職種別に具体的な不足人数の目安を記載してください)

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
不足している	270	44.6
特に不足していない	326	53.9
無回答	9	1.5

不足している場合の管理者の不足人数

カテゴリ	件数	割合
全 体	270	100.0
0人	206	76.3
1人	40	14.8
2人	3	1.1
3人	-	-
4人	-	-
5人	-	-
6～9人	-	-
10～14人	-	-
15人以上	-	-
無回答	21	7.8

生活支援員の不足人数

カテゴリ	件数	割合
全 体	270	100.0
0人	139	51.5
1人	58	21.5
2人	28	10.4
3人	13	4.8
4人	2	0.7
5人	7	2.6
6～9人	2	0.7
10～14人	-	-
15人以上	-	-
無回答	21	7.8

【前回】R4年度単純集計

問28 今後、どのような内容の研修を職員に受けさせたいですか。(回答はいくつでも)

カテゴリ名	件数	割合
全 体	577	100.0%
生活支援の技術・知識	258	44.7%
就労支援の技術・知識	111	19.2%
緊急時対応・事故対策	293	50.8%
相談対応・カウンセリングの技術・知識	245	42.5%
感染症対策	243	42.1%
権利擁護・虐待防止	357	61.9%
行動障害	204	35.4%
意思決定支援	259	44.9%
ストレスマネジメント	250	43.3%
個人情報・プライバシー	158	27.4%
その他	16	2.8%
特になし	6	1.0%
無回答	19	3.3%

問29 現在、貴事業所で職員は不足していますか。(あてはまる番号を1つ選択) (「1不足している」を選択した場合、職種別に具体的な不足人数の目安を記載してください)

カテゴリ名	件数	割合
全 体	577	100.0%
不足している	265	45.9%
特に不足していない	259	44.9%
無回答	53	9.2%

(88) 問29 ■管理者...(SA)

カテゴリ名	件数	割合
全 体	265	100.0%
0人	219	82.6%
1人	34	12.8%
2人	0	0.0%
3人	0	0.0%
4人	0	0.0%
5人	0	0.0%
6～9人	0	0.0%
10～14人	0	0.0%
15人以上	0	0.0%
C-10	0	0.0%
無回答	12	4.5%

(90) 問29 ■生活支援員...(SA)

カテゴリ名	件数	割合
全 体	265	100.0%
0人	158	59.6%
1人	38	14.3%
2人	35	13.2%
3人	8	3.0%
4人	2	0.8%
5人	4	1.5%
6～9人	2	0.8%
10～14人	3	1.1%
15人以上	2	0.8%
C-10	0	0.0%
無回答	13	4.9%

【今回】R7年度単純集計

看護師の不足人数

カテゴリ	件数	割合
全 体	270	100.0
0人	229	84.8
1人	18	6.7
2人	-	-
3人	2	0.7
4人	-	-
5人	-	-
6～9人	-	-
10～14人	-	-
15人以上	-	-
無回答	21	7.8

相談支援専門員の不足人数

カテゴリ	件数	割合
全 体	270	100.0
0人	210	77.8
1人	24	8.9
2人	13	4.8
3人	2	0.7
4人	-	-
5人	-	-
6～9人	-	-
10～14人	-	-
15人以上	-	-
無回答	21	7.8

その他の不足人数

カテゴリ	件数	割合
全 体	270	100.0
0人	122	45.2
1人	47	17.4
2人	41	15.2
3人	21	7.8
4人	2	0.7
5人	13	4.8
6～9人	1	0.4
10～14人	1	0.4
15人以上	1	0.4
無回答	21	7.8

【前回】R4年度単純集計

(92) 問29 ■看護師...(SA)

カテゴリ名	件数	割合
全体	265	100.0%
0人	235	88.7%
1人	17	6.4%
2人	1	0.4%
3人	0	0.0%
4人	0	0.0%
5人	0	0.0%
6～9人	0	0.0%
10～14人	0	0.0%
15人以上	0	0.0%
C-10	0	0.0%
無回答	12	4.5%

(94) 問29 ■相談支援専門員...(SA)

カテゴリ名	件数	割合
全体	265	100.0%
0人	214	80.8%
1人	27	10.2%
2人	10	3.8%
3人	2	0.8%
4人	0	0.0%
5人	0	0.0%
6～9人	0	0.0%
10～14人	0	0.0%
15人以上	0	0.0%
C-10	0	0.0%
無回答	12	4.5%

(97) 問29 ■その他...(SA)

カテゴリ名	件数	割合
全体	265	100.0%
0人	109	41.1%
1人	50	18.9%
2人	38	14.3%
3人	21	7.9%
4人	5	1.9%
5人	15	5.7%
6～9人	4	1.5%
10～14人	2	0.8%
15人以上	1	0.4%
C-10	0	0.0%
無回答	20	7.5%

【今回】R7年度単純集計

【問31は問30で「不足している」と回答した事業所のみお答えください】

問31 今後、職員の不足を解消するためには、どのような支援が必要だと考えますか。（回答は1つのみ）

カテゴリ	件数	割合
全 体	270	100.0
職員の新規採用や処遇改善に向けた運営支援（補助金や加算制度など）	91	33.7
介護業務の負担軽減、労働環境の改善、生産性の向上等の身体的・精神的負担に対する支援	24	8.9
業務に従事するために必要な資格取得に対する支援	14	5.2
就職希望者と市内事業者とのマッチングに関する支援	33	12.2
職員のスキルアップに向けた研修機会の充実	7	2.6
障害福祉分野の仕事の魅力を伝えるための広報・啓発活動	24	8.9
関係機関とのネットワーク化の促進（関係機関からのフォローアップ体制の充実）	6	2.2
その他	11	4.1
特になし	2	0.7
無回答	58	21.5

【問32は福祉製品等を購入したことがある事業所や、購入を検討している事業所のみお答えください】

問32 福祉製品等を購入・導入する際に生じた問題や課題などがありますか。（回答はいくつでも）

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
何を見て選べば良いか、良い製品の探し方や判断基準が分からない	65	10.7
現場のニーズに対応する福祉製品がない	39	6.4
値段が高い	111	18.3
欲しい製品が障害福祉分野における導入支援・補助金等の対象になっていない	33	5.5
欲しい製品がレンタルの対象になっていない	35	5.8
試しに使う機会が不足しており、製品を購入した後に後悔することがある	36	6.0
故障した際の問い合わせ先が不明であるなど、購入後のサポート体制が不十分	14	2.3
製品購入後の企業からの製品に関するアップデート情報が不足している	12	2.0
購入しようと思った製品が販売終了となっている	7	1.2
その他	8	1.3
特になし	134	22.1
無回答	304	50.2

問33 次の選択肢「移乗介護（介助者のパワーアシストを行う装着型又は非装着型の機器等）」から「入浴支援（ロボット技術を用いて浴槽に入浴する際の一連の動作を支援する機器等）」の中で、導入しているロボット・機器等がありますか。導入していないまたは他の機器等を導入している場合は「その他」もしくは「ロボットの導入はしていない」を選択してください。【新規】

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
移乗介護（介助者のパワーアシストを行う装着型又は非装着型の機器等）	19	3.1
移動支援（障害者の外出をサポートし、荷物等を安全に運搬できるロボット技術を用いた歩行支援機器等）	3	0.5
排泄支援（排泄物の処理にロボット技術を用いた設置位置の調整可能なトイレや排泄のタイミングを予測する装着型のデバイスを活用した排泄誘導機器等）	7	1.2
見守り・コミュニケーション支援（センサーや外部通信機能を備えたロボット技術を用いた機器のプラットフォーム等）	6	1.0
入浴支援（ロボット技術を用いて浴槽に入浴する際の一連の動作を支援する機器等）	12	2.0
その他	4	0.7
ロボットの導入はしていない	491	81.2
無回答	74	12.2

【前回】R4年度単純集計

問30 今後、職員の不足を解消するためには、どのような支援が必要だと考えますか。（回答はいくつでも）

カテゴリ名	件数	割合
全 体	265	100.0%
職員の新規採用や処遇改善に向けた運営支援（補助金や加算制度など）	188	70.9%
介護業務の負担軽減、労働環境の改善、生産性の向上等の身体的・精神的負担に対する支援	112	42.3%
業務に従事するために必要な資格取得に対する支援	94	35.5%
就職希望者と市内事業者とのマッチングに関する支援	107	40.4%
職員のスキルアップに向けた研修機会の充実	79	29.8%
障害福祉分野の仕事の魅力を伝えるための広報・啓発活動	102	38.5%
関係機関とのネットワーク化の促進（関係機関からのフォローアップ体制の充実）	48	18.1%
その他	7	2.6%
特になし	3	1.1%
無回答	5	1.9%

問20 福祉製品等を購入・導入する際に生じた問題や課題などがありますか。（回答はいくつでも）

カテゴリ名	件数	割合
全 体	226	100.0%
何を見て選べば良いか、良い製品の探し方や判断基準が分からない	45	19.9%
現場のニーズに対応する福祉製品がない	30	13.3%
値段が高い	113	50.0%
欲しい製品が障害福祉分野における導入支援・補助金等の対象になっていない	31	13.7%
欲しい製品がレンタルの対象になっていない	18	8.0%
試しに使う機会が不足しており、製品を購入した後に後悔することがある	29	12.8%
故障した際の問い合わせ先が無回答であるなど、購入後のサポート体制が不十分	11	4.9%
製品購入後の企業からの製品に関するアップデート情報が不足している	11	4.9%
購入しようと思った製品が販売終了となっている	1	0.4%
その他	6	2.7%
特になし	71	31.4%
無回答	0	0.0%

【今回】R7年度単純集計

問34 導入の有無にかかわらず、従業者の身体的負担や業務負担の軽減に効果があると思いませんか。

【新規】

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
移乗介護（介助者のパワーアシストを行う装着型又は非装着型の機器等）	156	25.8
移動支援（障害者の外出をサポートし、荷物等を安全に運搬できるロボット技術を用いた歩行支援機器等）	101	16.7
排泄支援（排泄物の処理にロボット技術を用いた設置位置の調整可能なトイレや排泄のタイミングを予測する装着型のデバイスを活用した排泄誘導機器等）	113	18.7
見守り・コミュニケーション支援（センサーや外部通信機能を備えたロボット技術を用いた機器のプラットフォーム等）	176	29.1
入浴支援（ロボット技術を用いて浴槽に出入りする際の一連の動作を支援する機器等）	107	17.7
特になし	256	42.3
無回答	64	10.6

問35 障害福祉サービスに係る事務（加算申請事務、請求事務等）は誰が行っていますか。

※兼務等している場合には、より小さい数字の選択肢に○をしてください。【新規】

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
管理者	322	53.2
相談支援専門員	24	4.0
生活支援員・児童指導員等の直接処遇職員	38	6.3
事務職員	138	22.8
その他	48	7.9
無回答	35	5.8

問36 問35の事務に要するひと月あたりの時間はどれくらいですか。【新規】

時間

カテゴリ	件数	割合
全 体	528	100.0
平 均	28	

分

カテゴリ	件数	割合
全 体	528	100.0
平 均	2	

問37 定員超過以外の理由でサービスの利用申込みを断ったことがありますか。【新規】

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
ある	257	42.5
ない	337	55.7
無回答	11	1.8

【前回】R4年度単純集計

【今回】R7年度単純集計

問38 「問37」で「ある」と答えた場合、理由を選んでください。【新規】

カテゴリ	件数	割合
全 体	257	100.0
人員不足のため	76	29.6
適切な支援が困難なため	146	56.8
通常の事業の実施地域外なため	57	22.2
その他	36	14.0
無回答	8	3.1

問39 「問38」で「適切な支援が困難なため」と答えた場合、理由を選んでください。【新規】

カテゴリ	件数	割合
全 体	146	100.0
医療的なケアが必要なため	50	34.2
障害特性（強度行動障害等）のため	71	48.6
その他	39	26.7
無回答	9	6.2

問40 災害時の対策を実施・計画していますか。（回答はいくつでも）

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
業務継続計画（BCP）を作成している	538	88.9
非常災害計画・避難確保計画を作成している	447	73.9
災害対策マニュアル等（上記を除く）を作成している	304	50.2
災害時の備蓄対策をしている	462	76.4
施設の耐震対策（ガラスの飛散防止・棚類の転倒防止など）を実施している	258	42.6
防災訓練などで近隣の住民組織（町内会、自主防災組織）と連携したことがある	96	15.9
その他	14	2.3
特に何もしていない	1	0.2
無回答	5	0.8

問41 災害発生時において、貴事業所ではどのような協力が可能ですか。（回答はいくつでも）【変更・選択肢】

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
障害福祉サービスを利用した長期的な受入れ	54	8.9
障害福祉サービスを利用した一時的な受入れ	219	36.2
事業所の空きスペース（会議室等）を避難場所として提供	198	32.7
避難先への職員の派遣	100	16.5
障害者への医療的ケアの提供	41	6.8
利用者の安否確認とその情報提供	444	73.4
障害者に関する物資の提供	129	21.3
その他	8	1.3
無回答	28	4.6

問42 障害福祉サービスを提供する上での課題や利用者からの要望などを踏まえ、川崎市の障害福祉施策について要望したいことがあれば、関連が深いジャンルを次の「事業の運営について」～「その他」の中からお選びいただき、御自由にお書きください。（回答はいくつでも）

カテゴリ	件数	割合
全 体	605	100.0
事業の運営について	208	34.4
施設の整備・維持管理（老朽化対策）について	104	17.2
人材確保・育成について	252	41.7
障害への地域・社会の理解について	137	22.6
防災・災害時対応について	102	16.9
障害のある方の権利擁護について	67	11.1
その他	39	6.4
無回答	167	27.6

【前回】R4年度単純集計

問31 災害時の対策を実施・計画していますか。（回答はいくつでも）

カテゴリ名	件数	割合
全 体	577	100.0%
業務継続計画（BCP）を作成している	252	43.7%
非常災害計画・避難確保計画を作成している	350	60.7%
災害対策マニュアル等（上記を除く）を作成している	256	44.4%
災害時の備蓄対策をしている	338	58.6%
施設の耐震対策（ガラスの飛散防止・棚類の転倒防止など）を実施している	175	30.3%
防災訓練などで近隣の住民組織（町内会、自主防災組織）と連携したことがある	59	10.2%
その他	30	5.2%
特に何もしていない	18	3.1%
無回答	39	6.8%

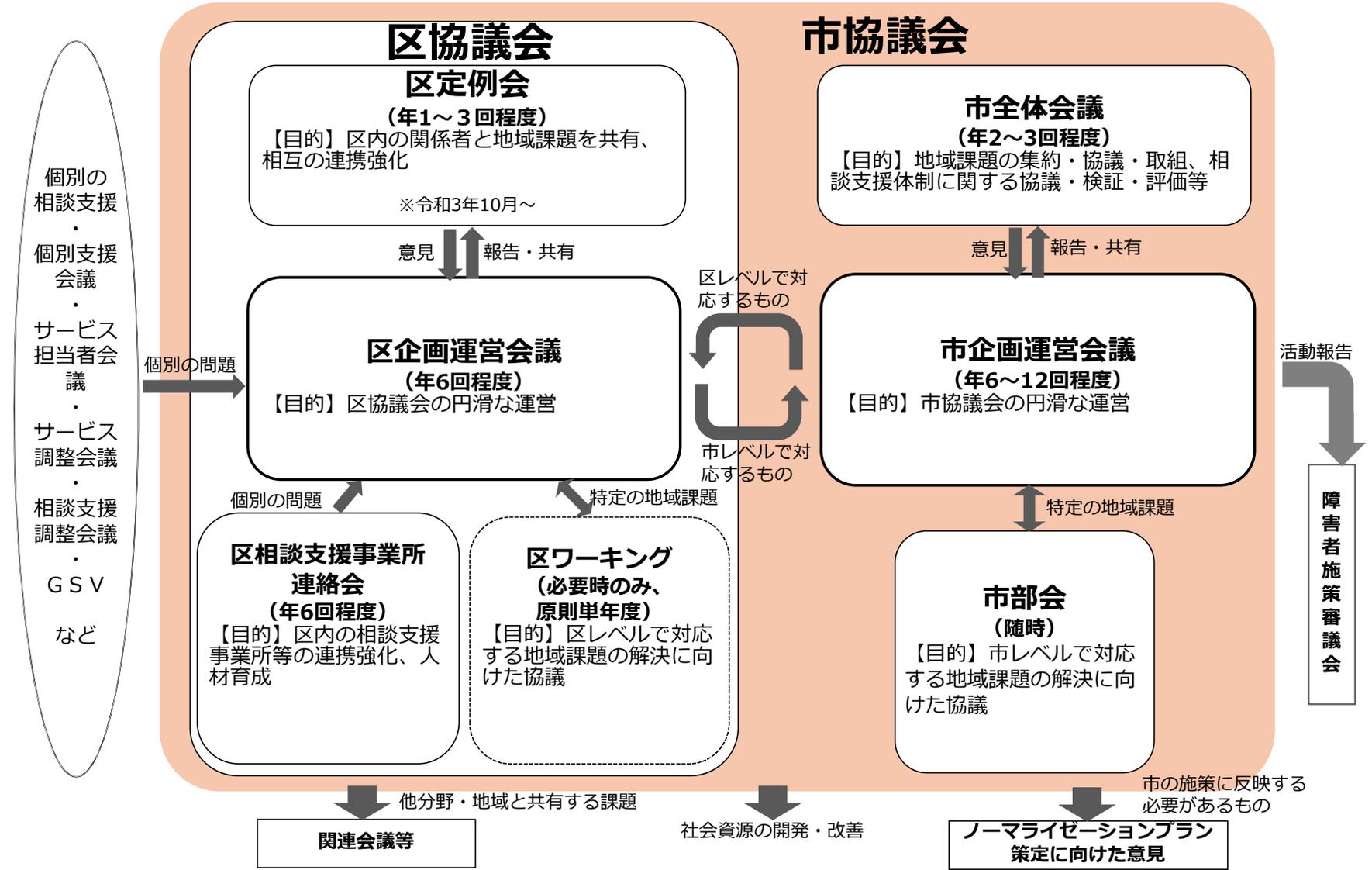
問32 災害発生時において、貴事業所ではどのような協力が可能ですか。（回答はいくつでも）

カテゴリ名	件数	割合
全 体	577	100.0%
障害者の長期的な受入れ	29	5.0%
障害者の一時的な受入れ	174	30.2%
避難先への職員の派遣	112	19.4%
障害者への医療的ケアの提供	37	6.4%
利用者の安否確認とその情報提供	410	71.1%
障害者に関する物資やサービスの一時的な提供	162	28.1%
その他	14	2.4%
無回答	60	10.4%

問33 障害福祉サービスを提供する上での課題や利用者からの要望などを踏まえ、川崎市の障害福祉施策について要望したいことがあれば、関連が深いジャンルを次の1～7の中からお選びいただき、御自由にお書きください。（回答はいくつでも）

カテゴリ名	件数	割合
全 体	577	100.0%
事業の運営について	162	28.1%
施設の整備・維持管理（老朽化対策）について	85	14.7%
人材確保・育成について	175	30.3%
障害への地域・社会の理解について	117	20.3%
防災・災害時対応について	91	15.8%
障害のある方の権利擁護について	75	13.0%
その他	27	4.7%
無回答	216	37.4%

川崎市地域自立支援協議会の体制



各会議等の概要（市協議会）

名称		目的	具体的な内容	主な参加者	頻度 (/年)
市協議会	市全体会議	市協議会の活動全般に関する協議調整	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市協議会の取組に関する意見聴取 ・ 地域における関係機関の連携強化 ・ かわさきノーマライゼーションプランの策定・改定に向けた意見作成 ・ 相談支援体制の評価・検証 ・ 日中サービス支援型共同生活援助事業の評価 	<p>【委員】 障害者等及びその家族、学識経験者、関係機関等</p> <p>【事務局】 地域包括ケア推進室、基幹相談支援センター、区役所、各専門部会の事務局、市役所関係部署等</p>	2～3回程度
	市企画運営会議	市協議会の円滑な運営	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市協議会の年間実施計画の作成、活動を実施、振り返り、評価 ・ 市レベルで対応する地域課題に対する取組手法の決定、取組状況の進捗管理 ・ 市部会の設置、廃止の決定、協議内容の進捗管理 ・ 区協議会の情報交換 	<p>【委員】 基幹相談支援センター、全区役所（R6年度より参加）、企画・連携推進課、地域支援室</p> <p>【事務局】 地域包括ケア推進室</p>	6～12回程度
	市部会	市レベルで対応する地域課題の解決に向けた協議	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市レベルで対応する特定の地域課題に関する協議 	<p>【委員】 課題解決に必要な委員</p> <p>【事務局】 地域包括ケア推進室 または地域課題に関する所管部署、基幹相談支援センター</p>	随時

各会議等の概要（区協議会）

名称	目的	具体的な内容	主な参加者	頻度 (/年)	
区 協 議 会	区定例会	区内の関係者と地域課題の共有、相互の連携強化等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区レベルで対応する地域課題の共有、意見聴取 ・ 区企画運営会議、区ワーキングにおける協議事項についての報告、共有 ・ 情報伝達、研修 ・ 参加者間の交流、ネットワークづくり 等 	【参加者】相談支援事業者、障害福祉サービス事業者、障害者等及びその家族、地域住民、関係機関、その他 【事務局】区役所、基幹相談支援センター、地域相談支援センター、地域支援室等	1～3回 程度
	区相談支援事業所連絡会	区内の相談支援事業所等の連携強化、人材育成等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業所間の交流 ・ 相談支援に関する情報伝達 ・ 研修 ・ 事例検討 等 	【参加者】指定特定相談支援事業所等、地域相談支援センター 【事務局】区役所、基幹相談支援センター等	年6回 程度
	区ワーキング	区レベルで対応する地域課題の解決に向けた協議	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区レベルで対応する特定の地域課題に関する協議 ※必要時のみ、原則単年度 	【委員】課題解決に必要な委員 【事務局】区役所、基幹相談支援センター、地域相談支援センター等	随時
	区企画運営会議	区協議会の円滑な運営	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区協議会の運営管理 ・ 年間実施計画の作成、振り返り ・ 区レベルで対応する地域課題に対する取組手法の決定、取組状況の進捗管理 ・ 区ワーキングの設置、廃止の決定、協議内容の進捗管理 等 	【事務局】区役所、基幹相談支援センター、地域相談支援センター、地域支援室等	年6回 程度

川崎市地域自立支援協議会設置要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成17年第123号）第89条の3の規定に基づき、障害者等への支援の体制の整備を図ることを目的として設置する地域自立支援協議会（以下「協議会」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

(組織)

第2条 協議会は、全市を統括する協議会（以下「市協議会」という。）及び各区に設置する協議会（以下「区協議会」という。）で構成する。

2 市協議会は、全体会議（以下「市全体会議」という。）、企画運営会議（以下「市企画運営会議」という。）及び部会（以下「市部会」という。）により組織する。

3 区協議会は、企画運営会議（以下「区企画運営会議」という。）、定例会（以下「区定例会」という。）、相談支援事業所連絡会（以下「区相談支援事業所連絡会」という。）及びワーキング（以下「区ワーキング」という。）により組織する。

(名称)

第3条 市協議会の名称は、「川崎市地域自立支援協議会」とする。

2 区協議会の名称は、別表のとおりとする。

(市協議会の所掌事項)

第4条 市協議会は、次に掲げる事項を所掌する。

(1) 区協議会の統括

(2) 区協議会の活動を通じて明らかになった地域の課題の集約及びその解決に向けた協議・取組

(3) 市全体の相談支援体制に関する協議、検証及び評価

(4) 神奈川県障害者自立支援協議会との調整

(5) その他、必要と認められる事項

(市全体会議の構成)

第5条 市全体会議は、関係機関、障害者及び学識経験者その他開催趣旨に照らし、必要と認められた者を委員として構成する。

(市全体会議委員の任期)

第6条 市全体会議の委員の任期は、2年を越えない範囲とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(市協議会の会長及び副会長)

第7条 市協議会に会長及び副会長各1人を置き、市全体会議の委員の互選により定める。

2 会長は、市協議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(市全体会議)

第8条 市全体会議は、市協議会の所掌事務に関する協議調整及び相談支援体制の評価・検証等を行う。

2 市全体会議は、市協議会会長が招集し、その議長となる。

3 市全体会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

4 議長が必要と認めるときは、関係者の出席を求め、意見を聴くことができる。

5 市全体会議は、原則傍聴を可とし、傍聴を希望する者は、事前に市協議会会長に申し出るものとする。

(市企画運営会議)

第9条 市協議会の円滑な運営を図るため、市企画運営会議を置く。

2 市企画運営会議は、基幹相談支援センター、区役所地域みまもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）（以下「区地域みまもり支援センター」という。）、健康福祉局総合リハビリテーション推進センター（以下「総合リハビリテーション推進センター」という。）及び健康福祉局地域包括ケア推進室（以下「地域包括ケア推進室」という。）その他開催趣旨に照らし必要と認められた者で構成する。

(市部会)

第10条 市協議会は、第4条に規定する所掌事項のうち、特定の事項について課題解決に向けた協議等を行う必要があると認められるときは、市部会を置くことができる。

2 市部会は、基幹相談支援センター及び健康福祉局その他開催主旨に照らし、必要と認められた者で構成する。

3 市部会に部会長1人を置き、当該市部会の委員の互選により定める。

(報告)

第11条 市協議会は、協議会全体の活動について、川崎市障害者施策審議会に報告しなければならない。

(市協議会の庶務)

第12条 市協議会の庶務は、地域包括ケア推進室において処理し、基幹相談支援センターはこれを補佐する。

(区協議会の所掌事項)

第13条 区協議会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 個別の相談支援を通じて明らかになった地域の課題の集約及びその解決に向けた協議・取組
- (2) 個別事例への支援のあり方に関する協議・調整
- (3) 地域における関係機関の連携強化
- (4) 市協議会との調整
- (5) その他、必要と認められる事項

(区企画運営会議)

第14条 区協議会の円滑な運営を図るため、区企画運営会議を置く。

- 2 区企画運営会議は、基幹相談支援センター、地域相談支援センター、区地域みまもり支援センター及び総合リハビリテーション推進センターその他開催趣旨に照らし、必要と認められた者で構成する。

(区定例会)

第15条 区内の関係者と地域課題の共有及び相互の連携強化等を図るため、区定例会を置く。

- 2 区定例会は、相談支援事業者、障害福祉サービス事業者、障害者等やその家族、地域住民及び関係機関その他開催趣旨に照らし、必要と認められた者で構成する。

(区相談支援事業所連絡会)

第16条 区内の相談支援事業所等の連携強化及び人材育成等を図るため、区相談支援事業所連絡会を置く。

- 2 区相談支援事業所連絡会は、基幹相談支援センター、地域相談支援センター、指定特定相談支援事業所及び区地域みまもり支援センターその他開催趣旨に照らし、必要と認められた者で構成する。

(区ワーキング)

第17条 区協議会は、第13条に規定する所掌事項のうち、特定の事項について課題解決に向けた協議等を行う必要があると認められるときは、区ワーキングを置くことができる。

- 2 区ワーキングは、基幹相談支援センター、地域相談支援センター及び区地域みまもり支援センターその他開催主旨に照らし、必要と認められた者で構成する。
- 3 区ワーキングの設置期間は、原則として当該年度末までとする。ただし、年度を超えて継続する必要がある場合には、継続する理由及び目標を区企画運営会議で確認した上で、継続して設置することができる。

(報告)

第18条 区協議会は、区協議会全体の活動について、市協議会に報告しなければならない。

(区協議会の庶務)

第19条 区協議会の庶務は、各区地域みまもり支援センターにおいて処理し、基幹相談支援センターはこれを補佐する。

(個人情報)

第20条 協議会において知り得た個人情報については、その取扱いを十分留意し、協議会活動を通じて知り得た秘密を漏らしてはならない。協議会の構成員を退いた後も、また、同様とする。

(その他)

第21条 この要綱に定めるほか、必要な事項は健康福祉局長が定める。

附 則

本要綱は、平成18年8月1日をもって施行する。

附 則

この要綱は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成22年9月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成30年4月2日から施行する。

附 則

この要綱は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和7年4月1日から施行する。

別表（第3条関係）

区	名称
川崎区	川崎区地域自立支援協議会
幸区	幸区地域自立支援協議会
中原区	中原区地域自立支援協議会
高津区	高津区地域自立支援協議会
宮前区	宮前区地域自立支援協議会
多摩区	多摩区地域自立支援協議会
麻生区	麻生区地域自立支援協議会